

アーツカウンシル東京

令和 7 (2025) 年度事業報告書

アーツカウンシル東京

令和 7 (2025) 年度事業報告書

目次

I. 横断的取組の推進

01 TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト	04
02 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]	05
03 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー	10
04 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー TURN LAND プログラム	12

II. 芸術文化の支援

05 東京芸術文化創造発信助成	14
06 芸術文化による社会支援助成	23
07 地域芸術文化活動応援助成	25
08 スタートアップ助成	28
09 伝統芸能体験活動助成	35
10 芸術文化魅力創出助成	37
11 芸術文化魅力創出助成 TOKYO CITY CANVAS助成	39
12 ライフウィズアート助成	40
13 東京ライブ・ステージ応援助成	41
14 東京芸術文化鑑賞サポート助成	48
15 東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会	52
16 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノート」	53
17 アーティストの創作環境の整備事業 「START Box」	56
18 Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)	59
19 タレンツ・トーキョー2025	61
20 アートマネジメント人材等海外派遣プログラム	63
21 子供向け芸術文化体験コーディネーター 「ことととて」養成プログラム	65

III. 芸術文化の魅力創出・発信

22 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2025～	66
23 東京大茶会2025	68
24 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025	69

25 六本木アートナイト2025	71
26 Shibuya StreetDance Week 2025	74
27 TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム ろう者と聴者が遭遇する舞台作品 『黙るな 動け 呼吸しろ』	75
28 TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム 「TOKYO わっしょい」	76
29 キッズ伝統芸能体験	77
30 子供のための伝統文化・芸能体験事業	79
31 パフォーマンスキッズ・トーキョー	81
32 ネクスト・クリエイション・プログラム キッズユースオープンキャンパス	84
33 ネクスト・クリエイション・プログラム こどもファッションプロジェクト	86
34 ネクスト・クリエイション・プログラム ファンタジスタ～アートとデザインで切り拓く 未来のキャンパス～	88
35 ネクスト・クリエイション・プログラム 映画と夏の7日間	90

東京アートポイント計画	91
36 ACKT (アクト／アートセンタークニタチ)	93
37 多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting	96
38 カロクリサイクル	98
39 KINO ミーティング	102
40 めとてラボ	104
41 アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「キタ！千住の1010人」	107
42 Artpoint Meeting	109
43 Tokyo Art Research Lab (TARL)	110
44 東京都・区市町村連携事業	113

IV. 事業運営の基盤強化

45 芸術文化領域に関する調査分析	115
46 アーツカウンシル・フォーラム	116
47 区市町村等職員向け文化行政講座	118
48 広報・プロモーション	119

01 TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト

【事業概要】

都立文化施設における情報通信基盤整備、データベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験等により、魅力的なコンテンツを創造・発信。良質な芸術文化の鑑賞・参加・体験機会をリアル（オンライン、オフライン）に加え、デジタルでの提供も拡充することにより、オンラインによる参加機会やグローバルな文化交流等の拡大を実現する。

【事業趣旨（目的）】

都立文化施設が有する収蔵品や、展覧会・公演等の活動の文化資源をデジタル化し、記録・保存するとともに、多様な形態での鑑賞体験を提供することで、都立文化施設のデジタルシフトにより、誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境を実現する。また、文化資源のオンライン公開、最先端技術による新しい鑑賞体験の創出とそれに伴う都立文化施設の情報通信基盤整備を一体的に推進する。

【実施状況】

項目	コンテンツ名	内容
収蔵品利活用	Tokyo Museum Collection (ToMuCo) 東京都立博物館・美術館収蔵品検索	6つの都立ミュージアム（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館）の収蔵資料をオンライン上で公開するためのシステム構築と資料情報を拡充した。また、前年度から継続して東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都庭園美術館の3Dデータ画像を公開した。さらに、著作権保護期間満了後の一部作品を対象に、画像提供サービスを開始した。
プログラム企画開発	スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」	デジタル技術を活用し、博物館の収蔵品の新たな鑑賞体験を提供することを目的にスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」を開発した。第1弾「江戸両国編」第2弾「明治銀座編」第3弾「日本橋繁昌記 江戸のお金編」第4弾「大正口マン浅草編」の公開に引き続き、AR・VRを通じて常設展示室および関連する館外のスポットをより深く楽しめる鑑賞アプリ「ハイパー江戸博 XRミュージアム」を第5弾として開発した。
	鑑賞サポートを取り入れたコンサート「Visual Harmony for All 〜クラシック音楽とデジタルアートが織りなす、新たな芸術体験〜」	東京文化会館が主催した「Visual Harmony for All 〜クラシック音楽とデジタルアートが織りなす、新たな芸術体験〜」は、クラシック音楽とデジタルアートを融合したコンサート。会場とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で開催され、音が聞こえない方や聞こえにくい方も音楽を視覚的に楽しめるよう、音楽の可視化をはじめ、手話、字幕、ヒアリングループ、音を振動に変換する手持ち型のデバイスなど、多様な鑑賞支援を提供した。
	鑑賞支援Webアプリ「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」	園内で展示する30棟の復元建造物および29点の屋外展示物について、音声とテキストによる解説を提供する「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」は、より多くの来園者が利用できるよう多言語対応を拡充し、日本語・英語に加え、新たに韓国語、中国語（繁体字・簡体字）に対応した計5言語で公開した。また、本アプリを活用した教材づくりのワークショップを実施し、その成果を学習用コンテンツとして公開した。
	マイグレーション修復を行った東京都コレクション作品の展示・シンポジウム「恵比寿映像祭2026」	東京都コレクションのフィルム、ビデオ、スライド、オーディオ、コンピュータなどのタイムベースト・メディアを用いた収蔵品を対象に、長期保存のためのメディア移行や変換作業等を実施。その成果を「恵比寿映像祭2026」で公開した。あわせて、メディアアート作品の保存・修復に関する知見や課題を共有するシンポジウムを実施し、メディアアート作品の保存・継承に関する重要性を発信した。

02 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

【事業概要】

所在地 東京都渋谷区神宮前1-14-4 1/1 (ONE) HARAJUKU "K" B1・3F
開館時間 13:00~19:00
休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）
主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点として、令和4（2022）年10月に渋谷に開所し、令和7年（2025）年12月に原宿に移転。実験と創作のための開かれたラボとして、多彩なプログラムを展開し、クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える原動力となっていく。

<ステートメント>

○Co-Creative Transformation of Tokyo

クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える

<ミッション>

○発見 ~ Inspire ~

アート&テクノロジーに出会い、創造的に生きるための学びの場を創出

○共創 ~ Co-Creat ~

多様な人々が協働して未来の東京について考え、これからの社会を共にデザイン

○開発 ~ Incubate ~

アーティストやクリエイターをパートナーに迎え、新たなアート表現を創造、発信

○連携 ~ Network ~

街や人とつながり、国内外でのネットワークを形成し、デジタルクリエイティブの拠点を創出

【実施状況】

1. アート・インキュベーション

令和7（2025）年4月に企画公募を行い、122件の応募のうち5組をアーティスト・フェローとして採択。「これからのコモンズ」を思考するアイデアや姿勢、ナラティブを、市民を巻き込んで実験・触発（インスパイア）する、クリエイティブな企画・表現活動を異なる領域で活躍する次世代のクリエイターを選出。

フェローの創作活動に市民が参加する機会としてワークショップ、トークイベント等を全23回開催。

<アーティスト・フェロー プロフィール等>

（1）上田麻希（アーティスト）

2005年以来、嗅覚とアートの融合を試み、匂いをマテリアルとした作品を発表。欧米の嗅覚アート界の先駆者的アーティストのひとりとなる。2009年よりオランダ王立美術大学など世界各地にて教鞭を取り、多くの嗅覚アーティストを輩出。世界的な嗅覚アートの殿堂、アート・アンド・オルファクション・アワード・エクスperimental・カテゴリーに5回連続ノミネート。2022年には最優秀賞を受賞。令和6年度文化庁長官表彰。現在は石垣島に嗅覚アート研究所を構え、嗅覚教育や嗅覚ツーリズムに取り組む傍ら、世界各地で展示やワークショップを展開する。

（2）岸裕真（アーティスト）

AIを「Alien Intelligence（エイリアンの知性）」と捉え直し、人間とAIによる創発的な関係「エイリアンの主体」を掲げて、自ら開発したAIと協働して絵画、彫刻、インスタレーションの制作を行う。2023年よりほぼすべての制作において、AIモデル「MaryGPT」がキュレーションを担当。主な活動として、個展「Oracle Womb」（2025年、√K Contemporary）、参加展覧会「DXP2」（2024年、金沢21世紀美術館）など。受賞歴に「CAF賞2023」入選など。主な著書に『未知との創造:人類とAIのエイリアンの出会いについて』（誠文堂新光社）がある。

（3）土井樹（音楽家、複雑系研究者）

社会性生物の群れの同期現象などをテーマに研究を行うとともに、人工システムを含む「他者」が持つ固有の経験

I. 横断的取組の推進

や感じ方を、その存在自身の立場から理解するための手段をテーマとして作品制作を行っている。主な展覧会に「ALTERNATIVE MACHINE」(2021年、WHITEHOUSE)、「海の見方を忘れた」(2022年、Jinnan House)、「MONAURALS」(2023年、WHITEHOUSE)、「Harsh Listening」(2025年、LEESAYA)。主な音楽作品に『Peeling Blue』(CD、2017年)。

(4) 藤嶋咲子 (アーティスト)

アート×ゲーム×社会問題を軸に、絵画やインタラクティブな手法を用いて、現代社会との関係性を探る多面的な表現を試みている。代表作「WRONG HERO」では、RPG的構造を通じてジェンダーや社会的役割に潜むステレオタイプを問い直し、鑑賞者を“プレイヤー”として巻き込む批評的体験を構築。仮想空間で声を集め、現実の「出来事」として立ち上げた「バーチャルデモ」では、鑑賞者の主体性ととともに、現実と仮定の境界そのものを揺さぶっている。

(5) 山内祥太 (アーティスト)

自己と世界との関係性や、現実と空想の裂け目を探る表現を試みている。映像、彫刻、パフォーマンスに加え、近年では「匂い」を用いたインスタレーションなど、多様なメディアを横断しながら制作を行う。

※関連のミートアップ、ワークショップを含む。

開催日	プログラム名	アーティスト等	入場者数 (人)
9/19,20	藤嶋咲子 ワークショップ「SAVE 0 : マインドクエスト」	ファシリテーター：藤嶋咲子、大空理人 会場：CCBT	49
11/8,9,14	上田麻希 嗅覚ゼミ「SMELL LAB」	ファシリテーター：上田麻希 会場：CCBT	49
11/15	シンポジウム「匂いが意味をもつとき～美学×化学×デジタル技術の視座から～」	登壇者：上田麻希、楠尚子（調香師、嗅覚アーティスト）、岩崎陽子（嵯峨美術短期大学教授）、東原和成（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、農学部部長）、氏本勝也（株式会社リコー） 会場：CCBT	54
12/6,14	土井樹「天気をつくる」	講師：土井樹 登壇者：土井樹、船川翔司（アーティスト） 会場：東京都写真美術館	63
12/13	都市は、想像力を要求する。—CCBTで「つくる」こととは	登壇者：上田麻希（嗅覚アーティスト）、岸裕真（アーティスト）、土井樹（音楽家、複雑系研究者、Alternative Machine Inc. シニアリサーチャー）、藤嶋咲子（アーティスト）、山内祥太（アーティスト） モデレーター：SIDE CORE（アーティスト・コレクティブ） 会場：LIFORK HARAJUKU	31
1/25	シンポジウム「Botanical／Artificial Intelligence 植物とAIから考える知性のかたち」	登壇者：長谷川祐子（キュレーター、美術批評家）、徳井直生（アーティスト／研究者）、豊田正嗣（埼玉大学大学院理工学研究科教授）、岸裕真 モデレーター：水野幸司（美術家） 会場：LIFORK HARAJUKU	67
1/30～2/1	上田麻希 展覧会「Aerosculpture ver.2『匂う森』」	企画・制作：上田麻希 会場：夢の島熱帯植物館	914
2/7	山内祥太 公開ミーティング「リゾーム的制作の実施と公開」	企画・制作：山内祥太 メンバー：荒井優作、金秋雨、神道朝子、曾根光輝、高見澤峻介、田上碧、三好彼流、山内祥太 ほか 会場：CCBT	11
2/13～3/1	上田麻希 展覧会「嗅覚の力学～メディアとしての空気～」	企画・制作：上田麻希 会場：CCBT	481
2/20～3/1	土井樹 展覧会「あたらしい天気」	企画・制作：土井樹 会場：東京都文京区千駄木3-35-12	611
3/7～21	藤嶋咲子 展覧会「Re: Play」	企画・制作：藤嶋咲子 会場：CCBT	360
3/7	トーク&ワークショップ「『小さなコエ』をプレイする——効率化の都市を、あそびがハック」	登壇者：藤嶋咲子（アーティスト）、堀潤（ジャーナリスト、キャスター）、吉田寛（東京大学教授） 講師：藤嶋咲子（アーティスト） 会場：CCBT	21
3/13～15	山内祥太 展覧会「In Between…Us?」	企画・制作：山内祥太 パフォーマー：インジツカユウ、小倉笑、キヨスヨネスク、ソー・ソウエン、田上碧、三好彼流 会場：メイン__中目黒公園、サテライト__青山目黒	2,348
3/14	山内祥太×小崎哲哉クロストーク「In Between…Us? とは何か」	企画・制作：山内祥太 登壇者：小崎哲哉（著述家、アーツプロデューサー）、山内祥太（アーティスト） 会場：青山目黒	25
3/13～15	岸裕真 展覧会「平行森林 Parallel Forests」	企画・制作：岸裕真 会場：海の森公園	405

開催日	プログラム名	アーティスト等	入場者数 (人)
3/22	2025年度 CCBT アーティスト・フェロー活動報告会「『これからの commons』への応答」	登壇者：CCBT アーティスト・フェロー 上田麻希（嗅覚アーティスト）、岸裕真（アーティスト）、土井樹（音楽家、複雑系研究者、Alternative Machine Inc. シニアリサーチャー）、藤嶋咲子（アーティスト）、山内祥太（アーティスト） 本年度メンター：四方幸子（キュレーター、批評家）、清水知子（文化理論、東京藝術大学教授）、津川恵理（建築家、ALTEMY 代表）、関治之（一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事）、水野祐（法律家/シティライツ法律事務所） モデレーター：布施琳太郎（アーティスト） 会場：CCBT	75 ☆

☆オンライン配信あり

2. 未来提案型キャンプ ※関連のミートアップを含む。

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
8/9	シンポジウム「見えない都市をさわる方法」(Future Ideations Camp Vol.6 関連企画)	登壇者：津川恵理（建築家、ALTEMY 代表）、南後由和（社会学者、法政大学デザイン工学部教授）、水野祐（法律家/シティライツ法律事務所）、谷頭和希（都市ジャーナリスト、チェーンストア研究家）、川島優志（Niantic Spatial, Inc. 副社長）	77
8/9～11	Future Ideations Camp Vol.6：見えないルールの中で都市を取り戻す	プログラムディレクター：津川恵理（建築家、ALTEMY 代表） 講師・ファシリテーター：川島優志（Niantic Spatial, Inc. 副社長）、南後由和（社会学者、法政大学デザイン工学部教授）、おおつきしゅうと（ポストシティボーイ）、木原共（メディアアーティスト、ゲーム開発者）、小西隆仁（アーキテクト/ALTEMY 株式会社）、杉田真理子（都市デザイナー/一般社団法人 for Cities 共同代表）、谷頭和希（都市ジャーナリスト、チェーンストア研究家）、戸村陽（デジタルデザイナー/ALTEMY 株式会社）、水野祐（法律家/シティライツ法律事務所）、宮内康乃（作曲家、つむぎね主宰、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）、酒井瑛作（ライター、エディター）	24
8/13～17	成果展示「Future Ideations Camp Vol.6：見えないルールの中で都市を取り戻す」	プログラムディレクター：津川恵理（建築家、ALTEMY 代表） 講師・ファシリテーター：川島優志（Niantic Spatial, Inc. 副社長）、南後由和（社会学者、法政大学デザイン工学部教授）、おおつきしゅうと（ポストシティボーイ）、木原共（メディアアーティスト、ゲーム開発者）、小西隆仁（アーキテクト/ALTEMY 株式会社）、杉田真理子（都市デザイナー/一般社団法人 for Cities 共同代表）、谷頭和希（都市ジャーナリスト、チェーンストア研究家）、戸村陽（デジタルデザイナー/ALTEMY 株式会社）、水野祐（法律家/シティライツ法律事務所）、宮内康乃（作曲家、つむぎね主宰、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）、酒井瑛作（ライター、エディター）	87
10/1～12	Super Sober Shamanism：同期・共在・模倣を演劇とテクノロジーの両岸から考える	プログラムディレクター：江口正登（研究者）、ゴッドスコピオン（メディアアーティスト）、篠田千明（演劇作家、演出家、学童指導員、観光ガイド） 講師・ファシリテーター：岸裕真（アーティスト）、JACKSON kaki（アーティスト、DJ、VJ、映像作家、グラフィックデザイナー）、中井悠（音楽その他、東京大学副産物ラボ）、円香（現代魔女、アーティスト）、山本浩貴（小説家、デザイナー、批評家、編集者、いぬのせなか座主宰）、涌井智仁（美術家、音楽家、WHITEHOUSE ディレクター・キュレーター）	25
10/1	【基調講演01】 テオ・トリアンタフィリディス「制御なきシステム：テオ・トリアンタフィリディスによるアーティスト・トーク」	テオ・トリアンタフィリディス（アーティスト）	52
10/2	【基調講演02】 エレナ・ノックス「テクネ、ダイモン、そして未知のスーパーファクター！」	エレナ・ノックス（アーティスト、キュレーター、リサーチャー）	57
10/4	【基調講演03】 ロロロル「崩壊の振り付け」	ロロロル（アーティスト・コレクティブ）	42
10/12 成果発表 10/15～19 成果展示	Future Ideations Camp Vol.7：Super Sober Shamanism	プログラムディレクター：江口正登（研究者）、ゴッドスコピオン（メディアアーティスト）、篠田千明（演劇作家、演出家、学童指導員、観光ガイド） 講師・ファシリテーター：岸裕真（アーティスト）、JACKSON kaki（アーティスト、DJ、VJ、映像作家、グラフィックデザイナー）、中井悠（音楽その他、東京大学副産物ラボ）、円香（現代魔女、アーティスト）、山本浩貴（小説家、デザイナー、批評家、編集者、いぬのせなか座主宰）、涌井智仁（美術家、音楽家、WHITEHOUSE ディレクター・キュレーター）	292

3. ワークショップ

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
4/26,27	「ひらめく☆道場」デジタルファブリケーション入門	平瀬ミキ（CCBT テクニカルスタッフ/美術作家）	10
5/18,25	「ひらめく☆道場」電子工作入門	中路景暁（CCBT テクニカルスタッフ/アーティスト、エンジニア）	15
6/28,29	「ひらめく☆道場」プログラミング入門	三浦大輝（CCBT テクニカルスタッフ/エンジニア）	12
8/16,17	夏季特別ワークショップ「きこえるデザイン、みえるリズム」	角田創（デザイナー、エンジニア）、 芹澤碧（メディアアーティスト、VJ）	28

I. 横断的取組の推進

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
10/4,5	「ひらめく☆道場」スペシャル☆出張 Maker Faire 2025編	小さなベルトコンベアをつくって、デジタルファブリケーションでできることを学ぶ。	96
11/2	CCBTx SOCIAL INNOVATION WEEK 2025 ひらめく☆道場 特別編	三浦大輝 (CCBTテクニカルスタッフ/エンジニア)	13
12/13,14	「ひらめく☆道場」サウンドデザイン 入門：知らない音を見つけにいこう！	木村悠介 (CCBTテクニカルスタッフ/演出家、パフォーマー)	15
12/20,21	Urban Ink — 街がインクになる	NEW Creators Club	13

4. ミートアップ

開催日	プログラム名	実施内容、出演者等	入場者数 (人)
12/13	シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] Phase 2—東京に社会実験を引き起こす	CCBTに関わるキーパーソンが、それぞれの視点から目指す方向性を議論。新しい拠点で始まるCCBTがPhase 2で見据える未来の可能性を考える。 登壇者：津川恵理 (建築家、ALTEMY代表)、野原佳代子 (東京科学大学環境・社会理工学院副院長・教授)、宮坂学 (東京都副知事、CCBTスーパーバイザー) モデレーター：小川秀明 (CCBTクリエイティブディレクター)	43
12/13	都市は、想像力を要求する。—CCBT で「つくる」こととは	アーティストをはじめとする「つくり手」と「これからのCCBT」による協働が、社会に果たしうる役割についてディスカッション。 登壇者：上田麻希 (嗅覚アーティスト)、岸裕真 (アーティスト)、土井樹 (音楽家、複雑系研究者、Alternative Machine Inc. シニアリサーチャー)、藤嶋咲子 (アーティスト)、山内祥太 (アーティスト) モデレーター：SIDE CORE (アーティスト・コレクティブ)	44
12/14	こんにちは、原宿—CCBTと想像する 少し先の未来	竹の子族からカワイイまで、時代ごとに独自のカルチャーが生まれてきた原宿。地域に根差すキーパーソンと共に、原宿の「これから」を語り合う。 登壇者：長田新子 (一般社団法人渋谷未来デザイン理事、事務局長)、楠本正幸 (NTT都市開発株式会社エグゼクティブアドバイザー)、小池ひろよ (一般財団法人渋谷区観光協会理事・事務局長) 他 モデレーター：齋藤精一 (CCBT共創戦略アドバイザー、パノラマティクス主宰)	30
12/14	創造性をひらく仕掛けづくり—世界の 都市における実践	枠組・仕組をつくる文化実践者、アーティスト、都市デザイナー—それぞれの立場から、異なる手法やアプローチによる実践を紹介。 登壇者：Alistair Hudson (ZKM館長) *オンライン、Kimchi and Chips (アートコレクティブ)、Melissa Mongiat (Daily tous les jours 共同創設者) モデレーター：小川秀明 (CCBTクリエイティブ・ディレクター)	32

5. ショーケース ※関連のミートアップ、ワークショップを含む

開催日	プログラム名	実施内容	入場者数 (人)
12/12~31, 1/6~25	SIDE CORE 特別展「新道路」	SIDE COREの日々の営みと実践を、展示や関連イベントを通して共有し、CCBTが新たに拠点を置く原宿から、さらに異なる都市へとつながる新たな道路をひらく。	1,910
12/13	Sound Atlas #1「極地からの音」	響き・漏れ・伝わっていく「音」の本質を、ライブ、パフォーマンス、DJ、インスタレーション、トークなど、領域を越えたコラボレーションと重なり合いから探求。場と空間をひらき、「音」の可能性をひらく。	214
12/26,1/6	SIDE CORE「night walk in Harajuku」	特別展「新道路」に関連し、SIDE COREと共に夜の街を歩き、CCBTの新拠点である原宿周辺を再発見するツアーを開催	14

6. CCBTx (シーシービーティー・エックス)

CCBTxは、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] のステートメント「クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市(まち)に変える」のもと、ミッション「発見」「共創」「開発」「連携」を体現することを目指すとしたプログラム。国内外の分野を超えた多様なパートナーと連携し、創造的な社会モデルを提示する取組を進めている。

開催日	プログラム名	連携先	実施概要
4/18	CCBTx Roof Park Fes & Walk ライブパフォーマンス「高速電磁盆踊り in Roof Park」	東京都(都市整備局) / 東京高速道路(株)	約60年の歴史に幕を下ろした東京高速道路(KK線)再生方針にもとづき、歩行者中心の公共的空間へと再生するプロジェクトの一環として開催するイベント「Roof Park Fes & Walk」内、「Roof Park Talk & Live」の1プログラムとして、2023年度CCBTアーティスト・フェロー「ELECTRONICOS FANTASTICOS!」が、東京高速道路(KK線)の上で「高速電磁盆踊り in Roof Park」を実施。

開催日	プログラム名	連携先	実施概要
9/3～9/7	CCBTx ARS ELECTRONICA 2025 "Dystopia Land"	ARS ELECTRONICA	2024年度CCBTアーティスト・フェロー「市原えつこ」が、世界最大規模のメディア・アートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」へ出展。「最悪な時代に、人はどのようにしぶとく生きられるのか？」という問いを起点に、ディストピア化したパラレルワールドの日本を描いた没入型インスタレーションを展開。
10/10～10/13	CCBTx MEET YOUR ART FESTIVAL 2025 ART EXHIBITION ANNEX MVMNT 「TOKYO [UN]REAL ESTATE」	MEET YOUR ART FESTIVAL 実行委員会 共催：東京都	2024年度CCBTアーティスト・フェロー「MVMNT」が、東京・天王洲運河エリアで開催される国内最大級のアートとカルチャーの祭典「MEET YOUR ART FESTIVAL 2025」のアートエキシビジョン・サテライト企画に出展。都市に暮らす人びとの「ありのままの暮らし」を3Dスキャンで記録・アーカイブし、その空間データを新たな「[不]不動産」として活用するアートプロジェクト「TOKYO [UN]REAL ESTATE」を展示。
11/2	CCBTx SOCIAL INNOVATION WEEK 2025 ひらめく☆道場 特別編 アルゴリズムで絵を描こう！	一般社団法人 渋谷未来デザイン	多様なアイデアと社会の未来をつなぐ出会いの場を創出し、渋谷から新たな文化・産業を生み出す「SOCIAL INNOVATION WEEK 2025」との連携により、通常よりも参加人数を大幅に拡大した特別編として実施。
12/13,14	CCBTx ARS ELECTRONICA Art for Participation "Citizen Manifesto"	ARS ELECTRONICA	CCBTの2025年度のテーマである「これからのコモンズ」とアルスエレクトロニカが開発した「シチズン・マニフェスト」のコラボレーションとして実施。原宿を訪れたみなさんが未来の都市（原宿）の「コモンズ」について語り合い、オリジナルのマニフェスト（宣言）を作成した。
2/13～2/15	CCBTx DIG SHIBUYA 2026	SHIBUYA CREATIVE TECH 実行委員会（共催：渋谷区）	AIP成果展（上田麻希 展覧会「嗅覚の力学～メディウムとしての空気～」）を「DIG SHIBUYA 2026」の連携プログラムに位置づけて実施。
2/13～3/1	CCBTx 恵比寿映像祭2026	東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／日本経済新聞社	AIP成果展（上田麻希 展覧会「嗅覚の力学～メディウムとしての空気～」）を「恵比寿映像祭2026」の地域連携プログラムに位置づけて実施。

03 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

【事業概要】

実施期間 令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月

実施場所 東京都の文化施設（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、トーキョーアーツアンドスペース本郷、トーキョーアーツアンドスペースレジデンス、東京都渋谷公園通りギャラリー、東京文化会館、東京芸術劇場）、東京都内各所

主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

都立文化施設や文化事業の資源を通して、誰もが芸術文化にアクセスし、楽しめる環境の構築を目指し、高齢者、障害のある方、乳幼児、海外にルーツをもつ人等、様々な人たちが文化事業に参加し、共に創造していくための環境整備の拡充とともに、プログラムの検証やモデル開発、現場での実践や調査に取り組む。また、芸術文化による共生社会の実現に向けた取組を共有するとともに、交流と新たな連携を促進するため、「だれもが文化でつながる会議」を開催する。

【実施状況】

1. 基盤・環境整備

都立文化施設やアーツカウンシル東京で展開する文化事業におけるアクセシビリティ向上に取り組んだ。本事業は、令和5年度から7年度までを基盤整備期と設定し、5年度は施設や事業にアクセスするための情報サポート重点期、6年度は展覧会やワークショップ、公演などへの参加を促す鑑賞サポート拡充期、と当事者のアクセスを段階的に進めてきた。最終年度となる7年度は参画サポート期と位置づけ、当事者の参加体験を豊かにする取組を推進した。

- （1）都立文化施設、文化事業におけるアクセシビリティ整備
- （2）情報保障の整備
- （3）調査
- （4）発信

2. アクセシビリティ向上に関わる人材育成

毎月開催の各館社会共生担当連絡会の時間を活用して、感覚過敏やディスレクシアと文化施設、海外のアクセシビリティ状況等についての事例共有や勉強会を実施し、職員のアクセシビリティに関わる知見向上を図った。

また、筑波技術大学と連携し、盲ろう当事者であり情報保障の専門家による都立文化施設の調査・検証等を実施し、各館の環境整備につなげた。

アクセシビリティ向上に関わる以下の事業を実施した。

（1）芸術文化分野の手話通訳研修プログラム

- ・開 催 日：令和7（2025）年6月21日（土）、22日（日）、7月13日（日）、26日（土）、27日（日）、8月9日（土）、10日（日）、23日（土）
- ・主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- ・開催場所：アーツカウンシル東京会議室 他
- ・受 講 料：無料
- ・参加者数：延べ86人

（2）アーツカウンシル東京 アクセシビリティコーディネーター講座 ＜スタート編＞

- ・開 催 日：令和8（2026）年2月28日（土）、3月1日（日）、7日（土）全6回
- ・開催場所：アーツカウンシル東京
- ・対 象 者：芸術文化の団体においてアクセシビリティ向上の環境整備を担当する方
- ・受 講 料：無料
- ・講座内容：「芸術文化のアクセシビリティに関する考え方」「手話通訳活用のための入門講座」「感覚過敏と文化施設」「視覚だけに頼らない芸術文化の楽しみ」「文字表示支援の考え方」他
- ・参加者数：延べ135人

3. アクセシビリティ向上に関わる調査・検証・開発

アクセシビリティ向上に関わるモデル開発として以下のプログラムを実施した。

- (1)「ミュージアム処方東京モデルの開発ー認知症フレンドリーな社会づくりのための連携事業」
- (2)「鑑賞体験を拡張させる鑑賞サポートのデザイン」
- (3)「多文化共生に向けたプログラムと担い手育成におけるモデル開発」
- (4)「ろう者によるろうガイド養成プログラムのモデル開発」

4. 国内外の発信・ネットワークの醸成

「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」テーマ「居場所とわたし」

- ・開催日：令和7（2025）年10月20日（月）～23日（木）
- ・主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- ・会場：自由学園明日館（東京都豊島区西池袋2丁目31-3）
- ・料金：無料
- ・参加者数：延べ2,800人

開催日	会場	プログラム名	登壇者	展示等
10/20	講堂	オープニングセッション 「生活圏」とアート	小泉元宏、中崎透、宮永愛子、森司	【展示】 （10/20・21・22・23） 展示1 都立文化施設の社会共生の取り組み 会場：大教室としま 展示2 カームダウンスペースの試み 会場：東外廊下 展示3「居場所とわたし」 会場：講堂、ミニミュージアム（食堂）、ホール、大教室タリアセン 展示4 アクセシビリティ整備に活用できるデバイス 会場：ホール
10/21	講堂	セッション1 文化的なケアの実践	天野未知、唐川恵美子、田中真実	
	講堂	セッション2 アートの気配がある居場所	青木彬、松浦千恵、富塚絵美	
	大教室タリアセン	ワークショップ1 触知図をつくるには	上野智義	
	ホール	自由学園明日館 建物解説ツアー	—	
	食堂	セミナー1 アクセシブルなウェブデザインとは何か	伊敷政英、萩原俊矢	
	講堂	セミナー2 バリアフリー活弁士による鑑賞体験	檀鼓太郎、石井健介、関場理生	
	食堂	セミナー3 手話通訳の基本と理論の重要性	飯泉菜穂子、那須映里	
10/22	講堂	セッション3 更新された美術館の役割	大政愛、木内真由美、駒井由理子	
	講堂	セッション4 居場所の見つけ方	砂連尾理、松本雅隆、齋藤紘良	
	食堂	セミナー4 学習障害と支援教材	高田裕美、加藤甫	
	食堂	セミナー5 カームダウンスペースをつくる	佐藤慎也、綿貫愛子	
	大教室タリアセン	ワークショップ2 伝わるフォントと文字組を知る	高田裕美	
	ホール	自由学園明日館 建物解説ツアー	—	
	ホール	テーブルトーク1 動画における情報保障	二瓶剛、平塚千穂子	
10/23	講堂	セッション5 世界と対話するための身体	田畑真由美、和田令子、郡司明子	
	食堂	セミナー6 日常をアートでデザインする	仲幸蔵、福田忍、佐藤李青	
	食堂	セミナー7 文化事業と評価	清水潤子、渡辺龍彦	
	大教室タリアセン	ワークショップ3 「やさしい日本語」で話す	戸嶋浩子、清水エド	
	ホール	自由学園明日館 建物解説ツアー	—	
	ホール	テーブルトーク2 盲ろうの世界に触れる	田畑快仁、森敦史	
	講堂	クロージングセッション わたしの居場所ー未来のあたりまえを考える	石原保志、小山田徹、森司	

04 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー TURN LAND プログラム

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
開催場所	都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人谷中のおかって
参加者数	延べ1,792人

【事業趣旨（目的）】

福祉事業所・施設や社会的支援を行う団体がアーティストとともにアートプロジェクトを企画し、実践するプログラム。プロジェクトの実践を通して多様な価値観や特性への理解を深めながら、より魅力的な活動を日常の中に生み出す。また、福祉現場の職員やアーティストたちが集い、知見の共有をする場を設けることにより、豊かに共生できる社会の実現に向けて協力し合う仲間とのネットワークを醸成する。

【実施状況】

1. TURN LAND

福祉施設や社会的支援を行う団体がアーティストとともに、地域や協力者たちと連携しながらアートプロジェクトの実践を行った。参加施設や団体が継続的な展開を視野に活動できるよう、運営体制づくりに重点をおきながらコーディネーターが企画運営をサポートした。

・参加者数：延べ743人

参画施設・団体	プロジェクト名	プロジェクト運営メンバー
高齢者在宅サービスセンター 西荻ふれあいの家（杉並区）	Macaroni／Body（伊勢克也） ふれあいの歌カード（SKANK）	伊勢克也、SKANK（アーティスト）、西荻ふれあいの家 施設長、もの会 理事
豊島区立心身障害者福祉ホーム さくらんぼ（豊島区）	NEW面（ニューメン）	アオキ裕キ（アーティスト）、さくらんぼ職員
放課後等デイサービス フェイト（杉並区）	オーロラ・フロア	大黒健嗣（アーティスト）、フェイト職員

2. プレLAND

TURN LANDに取り組む準備段階として、アーティストと出会いアートプログラムを実施する経験を通じて、それぞれの現場に合ったアートプログラムを構想する機会をつくった。

・参加者数：延べ923人

参画施設・団体	プロジェクト名	プロジェクト運営メンバー
障害者施設 浅草みらいど（台東区）	山谷堀大茶湯かぞく	きむらとしろうじんじん（アーティスト）、浅草みらいど職員
グループホーム 東京東浅草の家（台東区）	お手舞い	大西健太郎（アーティスト）、東京東浅草の家 館長
翔和学園（中野区）	音楽つくりやさん	井川丹、田中文久（アーティスト）、翔和学園職員
グループホーム はなまるホーム浅草北（台東区）	はなまる社交界	島田明日香、松岡美弥子、サカタアキコ（アーティスト）、はなまるホーム浅草北 施設長

3. TURN LAND ミーティング

本プログラムに参加する福祉施設の職員やアーティスト、コーディネーター等が集い、互いの活動について報告し合う場。仲間がいることを実感してもらい、新しいことに挑戦する勇気を育て合った。

・参加人数：延べ43人

開催日	会場	プログラム名	ゲスト
7/5（土）	クラフト工房 La Mano（町田市）	第1回 TURN LAND ミーティング	高野賢二（クラフト工房 La Mano 施設長）、宮崎裕司（大田区立しいき園 施設長）、田村将理（アーティスト、研究者）
2/27（金）	りばあさいど原宿（渋谷区）	第2回 TURN LAND ミーティング	—

4. TURN LAND ミーティング+

初めての公開イベントとして「TURN LAND ミーティング+」を実施し、一般参加者を含めた形で本事業の実践を広く共有する機会を創出した。イベントでは、事業主旨や各プロジェクトの紹介に加え、施設および現場の視点か

らの説明を行うことで、取り組みの背景や意義への理解を深める場となった。

・参加人数：83人

開催日	会場	プログラム名	ゲスト
9/28（日）	りばあさいど原宿（渋谷区）	TURN LAND ミーティング+	綿祐二（社会福祉法人 睦月会理事長）、井川丹、田中文久、島田 明日香、松岡美弥子（アーティスト）

05

東京芸術文化創造発信助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体等を対象とし、映画分野を支援する新カテゴリーを設置し、4つのカテゴリーに分けて助成を行う。

「カテゴリーⅠ【単年助成】」では、都内において実施される上演・コンサート・展示・上映・アートプロジェクト等の創造活動や、都内または海外で実施される国際的な芸術交流活動の助成を行う。

「カテゴリーⅡ【長期助成】」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、最長3年間の支援を実施する。

「カテゴリーⅢ【長期助成】【単年助成】創造環境向上活動」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動について最長3年間の支援を実施する。

「カテゴリーⅣ【長期助成】海外映画祭参加活動」では、東京を拠点とする団体及び個人を対象として、映画作品のポストプロダクション及び国際映画祭への参加を2年間又は3年間にわたり支援する。

【事業趣旨（目的）】

東京の都市の魅力向上に寄与する多様な創造活動や芸術創造環境の課題に取り組む活動を助成し、その担い手を支援することを目的とする。

【採択概況】

〈令和 7（2025）年度実績〉

- ・申請件数：カテゴリーⅠ【単年助成】659 件、カテゴリーⅡ【長期助成】23 件、カテゴリーⅢ【長期助成】【単年助成】創造環境向上活動 56 件（【長期助成】16 件、【単年助成】40 件）、カテゴリーⅣ【長期助成】21 件
- ・採択件数：カテゴリーⅠ【単年助成】121 件、カテゴリーⅡ【長期助成】2 件、カテゴリーⅢ【長期助成】【単年助成】創造環境向上活動 7 件（【長期助成】3 件、【単年助成】4 件）、カテゴリーⅣ【長期助成】9 件
- ・交付決定総額：231,934 千円

■カテゴリーⅠ【単年助成】

〈第1期 採択結果概況〉

●音楽分野 申請件数：103件 採択件数：11件

第1期として過去2番目に多い103件の申請があり、初申請が全体の約6割となりました。これまで助成制度を活用してこなかったジャンルや事業者からの多様な申請が増えました。この傾向は活動ステージにも表れており、活動基盤形成期が5割、活動拡大・発展期が3割強となり、新たな取り組みのきっかけや活動のステップアップを図る事業が多くみられました。また、国際的な芸術交流活動の採択金額が、音楽分野の採択総額の5割を超えました。

●演劇分野 申請件数：138件 採択件数：17件

申請件数138件は、過去最多だった2024年度第1期の160件を下回ったものの、依然として分野別で最多の申請数でした。活動ステージ別に見ると活動基盤形成期、活動拡大・発展期の申請者が多く、併せて78%にのびりました。ジェンダーやマイノリティ、格差、クオリティ・オブ・ライフといった社会的テーマや他者に目を向けて関心を持ち、作品を通して観客に考える機会を提供しようとする試みが多く申請されました。

創作テーマや創作・制作の核となる人物だけではなく、日時・会場はもとより出演者やスタッフなど創作・制作体制が整えられ、事業内容が具体的で、かつ取り組みと目的・目標が適合している事業が採択となっています。

●舞踊分野 申請件数：24件 採択件数：9件

申請件数は、2024年度第1期より増加し、24件でした。今期は活動基盤形成期と活動拡大・発展期の申請の比率が高く、公演を重ねながらリサーチや表現における独自の手法を磨いている団体による、作品のテーマを掘り下げて創作する事業が採択となりました。リサーチ対象はアジアでのフィールドワークや古典文学、装い等、多岐にわたっています。また、活動成熟・トップ期の団体による後進育成の視点を持った事業やスタートアップ助成から次のステージに活動を進める若手団体からの申請も採択になっています。国際的な芸術交流活動の採択は3件で、いずれも波及力が見込まれます。申請の多くを舞踊の公演形式の活動が占めましたが、ジャンルを超えたアーティストが参加するフェスティバル事業も1件採択となっています。

●美術・映像分野 申請件数：61件 採択件数：7件

申請件数及び採択件数は2024年度第1期と比較して増加し、活動基盤形成期と活動拡大・発展期にある個人や団

体からの申請の割合が大きくなっています。また初申請は58件で全体の85%を占め、2024年度第1期よりも10%増えました。採択となった事業は7件で、その内容は若手作家や若手キュレーター・研究者が企画する展覧会や、実験映画や個人映画に関する批評家育成ワークショップと上映等が採択されました。また美術大学や大学教員からの申請があり、大学設立125周年を記念した展覧会事業や、個人からの申請の中では、海外での芸術祭参加や海外でのリサーチと発表等、作家活動の中で今後の発展が見込める事業が採択となりました。

●伝統芸能分野 申請件数：39件 採択件数：13件

申請件数は第1期としては過去2番目に多い39件でした。当分野の採択率は例年5割程度と他分野より高い傾向にありますが、今期の採択件数は13件で、採択率は約3割と例年を下回りました。要因として、例年は数件程度の個人からの申請が14件に増加した一方、内容で未定部分が多いものや事業実施後の展開が曖昧なもの、書類の書き方を間違えているものが目立ち、個人の採択は1件に留まったことが挙げられます。また、初申請は21件で、全体の約5割を占めました。活動ステージ別で見ると、活動基盤形成期と活動拡大・発展期がそれぞれ約4割、活動成熟・トップ期が約2割でした。種目別では、邦楽、能楽、日本舞踊、演芸（落語）、雅楽ほか幅広い申請がありました。これまでの活動の課題と今後の展望が具体的に検証され、申請事業の計画が明確で、独自性と継承性をあわせ持った事業を採択としています。

●複合分野 申請件数：80件 採択件数：11件

今期は、当分野として過去最多の80件の申請があり、11件が採択となりました。申請内容は多岐にわたり、複数分野の要素を融合させた事業や、アーティストがジャンルを超えて協働する企画などが見られました。また、分野全体の21%が国際的な芸術交流活動での申請で、特に伝統芸能分野に関連する複数の申請があったことは今期の特徴的な傾向です。その中から、街全体を舞台に日常の中でアートに触れる機会を創出する事業や、現代サーカスとメディアアートを組み合わせた事業、海外での挑戦的な創造活動が期待される事業など、革新性や独創性が高く、かつ実現の見込める事業が採択となりました。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和 7（2025）年7月1日以降に開始し、令和 8（2026）年6月30日までに終了する事業
- ・申請件数：445 件 採択件数：68 件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
音楽	都内での芸術創造活動	団体	イタリア同時代芸術を広める会	イヴァン・フェデーレ in Giappone 2025!	
			ジェルジ・リゲティ生誕100年記念レクチャー&コンサート実行委員会	ジェルジ・リゲティ生誕100年記念レクチャー&コンサート vol.3	
			アートアンドメディア株式会社	大井浩明ピアノリサイタル ～ビエール・ブーレーズ全ピアノ作品による（生誕100周年記念）	
			一般社団法人もんでん	両国橋のほとりで音楽祭2025	
			CIRCUIT	1938→現在へ ～日本の5人の作曲家たち～	
			Novanta Quattro	Creatively Optimized Opera プロジェクト R.シュトラウス《ばらの騎士》（仮）	
			イーストエンド国際ギターフェスティバル	ギターの系譜 Vol.3/Vol.4	
		個人	田中悠美子	田中悠美子音楽実験室2025～義太夫三味線音響エクスペリメンタル	
	国際的な芸術交流活動	団体	イル・マドリガローネ	アドリアーノ・パンキエーリ『邸宅での愉しみ』における表現と演劇性の狭間のポリフォニー	
			合同会社EACH STORY 実行委員会	EACH STORY presents Urban Echo's	
			合同会社na	EIKO ISHIBASHI 2025 AUTUMN EUROPEAN TOUR	
演劇	都内での芸術創造活動	団体	岡崎藝術座	岡崎藝術座 新作演劇公演『森之宮二ーナのお哀しみ旅』（仮）	
			劇団アンバサンド	劇団アンバサンド第10回本公演「デンジャラス・ドア」	○
			遊星D	書店から来た女	
			特定非営利活動法人劇団印象 indian elephant	『藤田嗣治～白い暗闇～』	○
			ももちの世界	ももちの世界 #11『人魚』（仮）	
			東葛スポーツ	第307752415×××号	
			ポウジュ	ポウジュ	○
			合同会社口口	Podcast演劇	○
			理性的な変人たち	理性的な変人たち vol.5『口いっぱい鳥たち』（仮）	○
			劇壇ガルバ	劇壇ガルバ第7回公演『THE WEIR（堰）』	

Ⅱ. 芸術文化の支援

活動分野	活動内容	団体／個人	申請者名	申請事業名	サポート費※	
演劇	都内での芸術創造活動	団体	サルメカンパニー	サルメカンパニー第10回公演『黒い十人の女』		
			ホエイ	『(新作タイトル未定・仮)』	○	
			ヌトミック	ヌトミック『真っ白な線の先にある朝たち』(仮)	○	
			ぱぶりか	ぱぶりか第8回公演「try (仮)」	○	
	国際的な芸術交流活動		合同会社アルシュ	「温泉街の按摩師」香港公演	○	
			合同会社わをん企画	祝福 (仮)		
			一般社団法人Q	『キティ』パリ公演		
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人オフィスアルプ	Xstream project 2 (仮)		
			一般社団法人ボディアーツラボラトリー	Whenever Wherever Festival 2026 オルタ“ナラティブ”と living space (s)		
			燦然CAMP	燦然CAMP舞踏公演「火／形象」		
			合同会社AtZOO	ブッシュマン新作公演『タイトル未定』(仮)	○	
			水中めがね∞	水中めがね∞ 新作公演 タイトル未定		
			一般社団法人Co.山田うん	Co.山田うん 2026 新作	○	
	国際的な芸術交流活動		特定非営利活動法人山海塾	山海塾ソウル公演		
			大森瑤子	大森瑤子欧州ツアー2025		
			合同会社モダンタイムス	CHAIroiPLIN おどる小説『橋づくし』(仮)		
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	学校法人女子美術大学	女子美術大学創立125周年記念展 この世界に生きること	○	
			「有楽町からヤンゴンへ」研究会	ことばを超えて——神保町の歴史と翻訳について考える「霊屋」プロジェクト (仮)		
			イメージフォーラム	映画批評家育成ワークショップ+上映2025 (仮)		
			一般社団法人日本美術継承協会	三上晴子没後10年記念展「Regenerating Seiko Mikami」(仮)		
	国際的な芸術交流活動	個人	アベイルラボ	時間を過ごす家		
			辻梨絵子	ベルリンにてクィアに関する現代アートについてのリサーチの発表		
			大坂秩加	Graphica Creativa		
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	理春会能	第三回理春会能		
			Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble	Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble 2025公演 伝統と革新3～古典を紐解き、未来の伝統を創造する～	○	
			一般社団法人日本尺八演奏家ネットワーク	第六回定期公演「千紫万紅 一尺八音楽の進化と多様性ー」		
			創邦21	創邦21 第21回作品演奏会		
			お囃子ライブ	お囃子ライブ vol.20		
			能・狂言鑑賞の会	第17回「桂諷會」		
			宮城道雄全作品連続演奏会実行委員会	宮城道雄全作品連続演奏会26		
			公益社団法人観世九皋会	矢来能楽堂普及公演 はじめての矢来能楽堂Special		
			藝〇座	第8回 藝〇座公演		
			「徹の笛」実行委員会	第十五回 福原 徹 演奏会「徹の笛」		
			有限会社コースケ事務所	新作能「白雪姫」		
		個人	小濱明人	第7回 小濱明人 尺八リサイタル		
	国際的な芸術交流活動	団体	邦楽女子鑑	邦楽女子鑑 IV フランス公演		
複合	都内での芸術創造活動	団体	MICHIYO YAGI TALON Hyper-Koto Ensemble	MICHIYO YAGI TALON Hyper - Koto Ensemble Vol.6		
			Stilllive	Stilllive 2025: Living Intimacy (親密さの現在)		
			Room Kids	Room Kids 新作公演 (作品名未定)		
			合同会社絶対的	川口智子・新作 コンテンポラリー・パンク・オペラ『鏡の向こうに見えない私の顔 (仮)』	○	
			一般社団法人Open Art Lab	YOTSUYA ART CROSSING		
			86B210	86B210 30周年記念公演		
			合資会社ノーベルセルボエム	おもちゃ楽器オーケストラで楽しむくみ割り人形公演 (仮)		
	国際的な芸術交流活動	個人	橋本ロマンズ	若手アーティストによるマルチメディア・アートイベント		
			団体	チーム・チープロ	松本奈々子&アンチー・リン (チワス・タホス)「ねばねばの手、ぬわれた山々」台北公演	
				蓮沼執太『unpeople』実行委員会	SHUTA HASUNUMA "unpeople" WORLD TOUR 2026	○
	個人	四家卯大	「水宮～Sugung-ga Other Side of the World」			

※ 創作環境サポート費

〈第2期 採択結果概況〉

●音楽分野 申請件数：41件 採択件数：13件

41件の申請があり、13件が採択されました。初申請は全体の半数を占めましたが、そのうち2件のみが採択となりました。また、今回採択された事業は、活動成熟・トップ期の申請が多くなりましたが、事業内容の傾向としては、演奏者と作曲家等とが協働し、国際的な視座において新たなレパートリーを開拓する創造的活動が多くなりました。また、新たな工夫や視点を加えた再演を主とする事業も採択となっています。

●演劇分野 申請件数：87件 採択件数：13件

第2期の申請件数は過去最多の87件となり、2024年度第2期より17件増加しました。申請の内訳では、活動基盤形成期が約半数と最も多く、活動拡大・発展期と合わせて全体の8割を占めました。内容面では戦争やジェンダーといった社会課題を、演劇を通じて問い直そうとする申請や、コロナ禍以降、地域や国際社会へと創作の視野を広げた作品が多く見られました。スタートアップ助成を経て次の段階へ進む団体や、コンセプトや上演プランの深化によって新たな表現に挑む事業、活動規模拡大の契機となり得る事業が採択されています。一方で、再演や既存戯曲のリクリエーションは多く見られましたが、創作面でのアップデートが十分に確認できず、影響力や波及力の点でも向上が見込めない事業は採択に至りませんでした。

●舞踊分野 申請件数：10件 採択件数：5件

申請件数は10件で、全て団体からの申請でした。活動ステージは活動拡大・発展期の団体が申請の7割を占めました。スタートアップ助成や、東京芸術文化創造発信助成の単年助成や長期助成の支援を受けながら継続的に活動を発展させてきた団体による、独自の表現を更に探求する公演事業等が採択となっています。また、アメリカの複数都市をまわる波及力の見込める国際的な芸術交流活動2件が採択となりました。

●美術・映像分野 申請件数：27件 採択件数：3件

今期は活動ステージ別にみると、活動基盤形成期、活動拡大・発展期の申請者が全体を占め、活動成熟・トップ期からの申請がみられませんでした。第1期と比較し、初申請の割合が85%から60%に減少し、これまでに申請のあった個人や団体からの新規事業の取り組みについての申請がありました。国内での事業では、着実に実績を重ねている団体からの新たな試みに取り組む事業が採択となり、国際的な芸術交流活動としては、3か国の作家が展覧会と出版物の共同制作を行うもの、また多様な文化背景を持つ人々と協働してパフォーマンスを実施し、革新性が見込まれる事業が採択になっています。

●伝統芸能分野 申請件数：18件 採択件数：11件

今期の申請件数は18件と例年並みで、そのうち約3割にあたる6件が初申請でした。当分野の採択率は例年5割程度と他分野より高い傾向にありますが、今期は革新性と継承性の両面から評価できる事業が多く、申請事業の約6割にあたる11件が採択となりました。一方、当助成では、活動基盤形成期及び活動拡大・発展期にあると思われる芸術団体等への助成を優先していますが、活動基盤形成期の採択は1件に留まりました。要因として、事業計画に未定の部分が多く、申請書類の記述が不明瞭で、事業の水準を見通せないものが少なくなかったことが挙げられます。種目別では、邦楽、日本舞踊、能楽、雅楽、演芸（落語）など多岐にわたりました。また採択事業には、海外作曲家への委嘱とストリングカルテットとの共演を行う邦楽団体による公演、ドイツの国際的な音楽祭のフィナーレを飾る能楽公演など、国際性が高い事業が複数あったことも特徴的でした。

●複合分野 申請件数：31件 採択件数：8件

今期は31件の申請があり、活動ステージ別にみると活動基盤形成期が約半数、活動拡大・発展期と活動成熟・トップ期がそれぞれ四分の一程度となりました。申請内容は、VRやメディアアートを活用した企画や、展示・パフォーマンス・レクチャー・上映を行う国際芸術祭、芸術分野を横断した実験的な取り組み等、複合分野ならではの多様な申請がありました。その中から、既存の芸術分野の枠組みでは捉えられない創作に取り組む企画や、独自性のあるドキュメンタリー映像の上映会、アジアの複数都市からの参加者で共同制作を行う国際的なコラボレーション事業など、実現性が高く、独創的と認められる事業が採択となりました。

Ⅱ. 芸術文化の支援

〈第2期 採択事業一覧〉

・対象期間：令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 8（2026）年12月31日までに終了する事業

・申請件数：214 件 採択件数：53 件

活動分野	活動内容	団体／個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
音楽	都内での芸術創造活動	団体	夢枕	夢枕2026年公演「ユーラシア草原からの響き」	
			松平敬&工藤あかね	テキストによる音楽（仮題）	
			一般社団法人東京室内歌劇場	オペラ「恐るべき子供たち」	
			vocalconsort initium	vocalconsort initium；11th concert——いのりの深層（仮）	
			オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2026	
			イーストエンド国際ギターフェスティバル	饗賢奏和	
			一般社団法人エクス・ノーヴォ	エクス・ノーヴォ vol.23 & vol.24	○
			一般社団法人アンサンブル室町	アンサンブル室町による愛と死	
			一般社団法人Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2026 New Music Theater	
	国際的な芸術交流活動	個人	間宮匠	藤元高輝&間宮匠ジョイントコンサート（仮）	
木村恵理香			Bamboo Beyond Borders ～尺八、世界の作曲家たちと今、吹き渡る～		
台信遼			Contemporary Piano Showcase #3		
小森邦彦	XXIV INTERNATIONAL PATAGONIA PERCUSSION FESTIVAL				
演劇	都内での芸術創造活動	団体	バンケーキの会	バンケーキの会二本立て公演『ある夜をめぐって』	○
			特定非営利活動法人ぼこぼこクラブ	ぼこぼこクラブ新春公演'26 AOMORI×POCOPOCO「home」	
			一般社団法人なかふら	中野成樹＋フランケンズ2026 演劇作品集『居場所・ドラマの基礎と応用』（2プログラム）	
			劇団スポーツ	劇団スポーツ #13『九蓮宝燈の夜』	○
			合同会社口口	劇と短歌2	
			ベベベの会	『破恩 -pa-own-』	○
			ウンゲツィーフア	演劇公演『8hのメビウス』（仮）	
			ルサンチカ	ゴドーを待ちながら	○
			玉田企画	玉田企画新作公演	
			東京にここにちゃん	東京にここにちゃん新作公演	
	合同会社風姿花伝プロデュース	「現代語版『ハムレット』」（仮）			
	国際的な芸術交流活動	合同会社アルシュ	庭劇団ベニノ「埋火」ウィーン公演	○	
		一般社団法人Port B	RINGBAHN PROJECT（仮）		
舞踊		都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人Co. Ruri Mito	Co.Ruri Mito 2025 新作公演『Echoes』
	Arche			Dance Company Arche 新作公演「Hear Me, If you can」（仮）	
	合同会社他力			モモンガ・コンプレックス本公演Vol.14「遠くから見ていたのに見えない。2」（仮）	○
	国際的な芸術交流活動	合同会社S20	梅田宏明＋Somatic Field Project アメリカツアー		
		一般社団法人ケダゴロ	「代が君・ペロペロ・ケルペロス」USツアー（仮称）		
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会	第17回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	
	有限会社タカ・イシイギャラリー		ヴェネチア・ビエンナーレ日本館でのパフォーマンス	○	
	Nest-A株式会社（CAVE-AYUMI GALLERY）		Columns & Colonnades 2026		
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人松の会	第38回檀の会	
			松永鉄九郎事務所	長唄の会 vol.43	
			都山流尺八峰山会竹の新撰組	野村峰山と竹の新撰組～伝統と創造～Vol.4	
			邦楽四重奏団	邦楽四重奏団 concert vol.15	
			Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble	Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble 2026公演 伝統と革新4～古典を紐解き、未来の伝統を創造する～	○
			一般社団法人伶楽舎	伶楽舎雅楽コンサートno.44 雅楽で新春を寿ぐ	
			邦楽ぐるーぷ 翔の会	第8回 翔の会	
			藤本昭子の会	伝承の力 古典の現在	
			若獅子会	第十五回若獅子会	
			個人	山本亜美	Thoughts～その先へ 山本亜美二十五絃箏リサイタル

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
伝統芸能	国際的な芸術交流活動	団体	一般財団法人観世文庫	「ベルリン音楽祭2026 フィナーレ」観世宗家特別公演	
複合	都内での芸術創造活動	団体	バストリオ	バストリオ新作本公演 音楽演劇『ワン・プラス・ワン』（仮）	
			全生新舎	野口晴哉記念音楽室「触れの効用」シリーズ	
			ドキュ・メメント実行委員会	ドキュ・メメント2026 この地上をどう愛するか	
			紙カンパニーproject	『紙カンパニーの宇宙戦争』の捏造とアーカイブ制作事業（仮）	○
	国際的な芸術交流活動	個人	村田厚生	mut8.AI (trombone)	
		団体	東雲舞踏	The Chaos Tree	
			一般財団法人エルスール財団	ロルカ・フェスティバル2026 in グラナダ ～ロルカ、フラメンコ、そして日本～（仮題）	
			特定非営利活動法人アジア・ミーツ・アジア	アジア9都市共同創作公演「Unbearable Dreams 15- Silent Voice」（ワークショップ、シンポジウム）	

※ 創作環境サポート費

■カテゴリーⅡ【長期助成】

〈採択結果概況〉

今年度より公募期間が7月に変更になった「カテゴリーⅡ【長期助成】芸術創造活動」には、23件の申請がありました。活動ステージでは、活動基盤形成期の団体からの申請が5割以上を占めました。審査の結果、演劇分野と舞踊分野で1件ずつ採択となり、いずれも海外で芸術家等と共創し、複数年かけて国際共同制作を行う意欲的な事業です。一方で、計画内容が具体性に欠ける事業や、過去に実施した事業の反復的な要素が強い事業等は採択に至りませんでした。

〈採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 9（2027）年12月31日までに終了する事業（2年間）
又は、令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 10（2028）年12月31日までに終了する事業（3年間）
- ・ 申請件数：23件 採択件数：2件

活動分野	活動内容	申請団体名	合同会社 Projectumi
演劇	芸術創造活動	プロジェクト・活動名	When Does Time Become Beauty?
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	本事業は、月経、妊娠、出産といった原始的な時間をそのまま残す女性の身体を通して、絶えず変化する社会の時間性を問うパフォーマンスである。生産性至上主義に基づく資本主義的な時間性は、私たちの動物的本能、とりわけ生殖のメカニズムにどのような影響を与えているのだろうか。日仏協働体制のもとフランスにて創作を行い、国内外で上演、観客の身体感覚と時間認識に揺さぶりを与える没入型の舞台を創出する。
活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人魁文舎
舞踊	芸術創造活動	プロジェクト・活動名	ヨルダン×日本 国際共同制作「ヨルダンDance Project 2026-2027」（仮）
		実施予定年数	2年
		申請活動の概要	ヨルダンの歴史や生活文化、祭事等の背景や、その土壌から生まれた身体表現の Recherche を行い、作品を創作・発表する。Research の過程では、ヨルダンと日本の両国のダンサーによる相互のワークショップや、現地の難民キャンプの子供たちを対象としたワークショップを実施する。1年目は作品の創作過程を公開、2年目に作品を発表し、ダンスの可能性や芸術の意義を、コラボレーションによって追求することを目指す。

■カテゴリーⅢ 創造環境向上活動（【長期助成】【単年助成】）

【長期助成】

〈採択結果概況〉

16件の申請があり、特に人材育成に取り組む事業の申請が多くありました。そのうち、公演情報や批評を発信する情報環境整備事業、舞台芸術のマネジメント人材育成事業、そして東京都とりわけ新宿区における映画上映環境の調査、制度検証、政策提言に取り組む事業が採択に至りました。いずれも長期的な展望に基づいて具体的に事業を計画し、新たな発想で課題の解決に実践的に取り組む事業です。本カテゴリーでは、特定団体の内部課題の解決ではなく、分野全体を広く見渡した芸術創造環境の向上に繋がる取り組みが対象となります。

Ⅱ. 芸術文化の支援

〈採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 9（2027）年12月31日までに終了する事業（2年間）
又は、令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 10（2028）年12月31日までに終了する事業（3年間）
- ・申請件数：16件 採択件数：3件

活動分野	活動内容	申請団体名	「紙背」編集部
演劇	創造環境向上活動	プロジェクト・活動名	舞台芸術をめぐる言説を発信するプラットフォーム形成プロジェクト「紙背」第二期
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	演劇批評誌「紙背」を主宰する「紙背」編集部による3か年のプロジェクト。現在発行している「紙背WEB」の活動を継続するとともに、劇場等との連携による伴走・協働型発信、執筆者公募による若手批評家への執筆機会提供、舞台芸術に関する時評的記事の発信、公募アーティストへの長期的伴走型発信等に取り組む。
活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人Explat
演劇	創造環境向上活動	プロジェクト・活動名	特定非営利活動法人Explat×一般社団法人ベンチ アートマネージャー・メンターシッププログラム『バッテリー』
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	特定非営利活動法人Explatと一般社団法人ベンチが連携し、舞台芸術分野の制作者・アートマネージャーをメンターとして選出、経験豊富なメンターが実際の制作現場に寄り添うメンターシップを実施する。メンターシップに加えて中間報告会、共有会、公開レクチャー、成果発表を実施するほかアーカイブ作成にも取り組む。既存参加者を含むコミュニティを形成し、持続可能な舞台芸術のアートマネージャー人材育成システムの構築を目指す。 ※創作環境サポート費
活動分野	活動内容	申請団体名	一般社団法人コミュニティシネマセンター
美術・映像	創造環境向上活動	プロジェクト・活動名	“映画館都市・東京”から、「映画館」（ルビ：コミュニティシネマ）を再起動する
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	映画祭、映画館等の制作・運営を行う志尾睦子が代表理事を務める申請団体による3か年のプロジェクト。日本の映画上映文化の現在地を把握するため、豊かさや複雑性を持つ「映画都市・東京」の魅力と課題を探り、整理する。そのリサーチの結果を受けて、現在の上映活動を取り巻く制度や慣習、公的な支援制度等を検証し、課題を考える。これらのリサーチ成果を基に、上映振興・支援策を策定し、広く公開して議論する。

【単年助成】

〈第1期 採択結果概況〉

過去最大の26件の申請がありました。その中から、批評のプラットフォームを構築して演劇分野の情報環境整備を推進する事業と、国際芸術祭の開催に伴いアートインタープリターの育成に取り組む事業の2件が採択となり、いずれも課題を的確に捉えかつその解決策として、申請者ならではの独自の手法が計画されているとともに、他の分野への波及が期待できる事業が採択に至りました。一方で、「カテゴリーⅢ」の趣旨に合致しない申請も複数見受けられました。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和7（2025）年7月1日以降に開始し、令和8（2026）年6月30日までに終了する事業
- ・申請件数：26件 採択件数：2件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
演劇	創造環境向上活動	団体	「紙背」編集部	舞台芸術をめぐる言説を発信するプラットフォーム形成プロジェクト「紙背」第二期	
美術・映像			一般社団法人東京ピエンナーレ	アートインタープリター育成講座プログラム	○

※創作環境サポート費

〈第2期 採択結果概況〉

14件の申請があり、2件が採択となっています。申請事業のうち、音楽分野では申請団体が創立以来継続的に実施してきた演奏会の資料を整理してオンライン上に公開する事業を、美術・映像分野ではメディアアーティストの活動を同時代の芸術家や関係者等のインタビュー映像製作を通じてアーカイブ化する事業を採択しています。いずれも、課題を的確に捉えて、申請者ならではの手法で課題に取り組むもので、分野全体への波及が期待できる事業として採択に至りました。一方で、「カテゴリーⅢ」の趣旨に合致しない申請や、課題設定や解決への取り組みが不明瞭な事業は採択には至りませんでした。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和8（2026）年1月1日以降に開始し、令和8（2026）年12月31日までに終了する事業
- ・申請件数：14 件 採択件数：2 件

活動分野	活動内容	団体／個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
音楽	創造環境向上活動	団体	新交響楽団	新交響楽団過去資料アーカイブ事業	
美術・映像			特定非営利活動法人デザイン史リサーチセンター東京	山口勝弘と同時代の芸術に関するインタビュー映画製作及びアーカイブ事業	

■カテゴリーⅣ【長期助成】

〈採択結果概況〉

申請件数は、団体・個人を合わせて21件ありました。活動ステージ別にみると、活動基盤形成期と活動拡大・発展期からの申請比率が高く、8割以上を占めました。また、申請事業のジャンル別では、ドキュメンタリーが3割、劇映画が5割と大半を占めました。採択に至ったのは、ジャンルや作品の長さに関わりなく、題材に独自性のあるもの、ポストプロダクションで目指す表現手法が明確なもの、海外映画祭の計画が具体的に練られているものなどでした。一方で、不確定要素の多い事業や資料に不備のある事業については、不採択となりました。

〈採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 9（2027）年12月31日までに終了する事業（2年間）
又は、令和 8（2026）年1月1日以降に開始し、令和 10（2028）年12月31日までに終了する事業（3年間）
- ・申請件数：21件 採択件数：9件

活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	高橋慎一
映画	海外映画祭参加活動	個人	プロジェクト・活動名	ハバナの奇跡
			実施予定年数	3年
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の高橋慎一による、ジャズを通じて日本とキューバをつなぐ長編ドキュメンタリー映画。編集・MA・英語字幕製作を行い、海外映画祭での上映を目指す。「キューバで革命後初めてのジャズクラブが建設される」という事実を追いつつ、キューバの豊かな文化をコラージュした映画に仕上げることで、世界中の音楽家・映像作家・芸術愛好者の交流の起点となることを目標とする。
活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	松井至
映画	海外映画祭参加活動	個人	プロジェクト・活動名	走馬灯
			実施予定年数	2年
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の松井至が「山村の消滅」を描く長編ドキュメンタリー映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。福島県西会津の山村を舞台に、消滅の目前にある暮らしを描き、国籍を超えて多くの人が人間の還るべきふるさとを想起する時間をつくる。
活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	株式会社東京シネマ新社
映画	海外映画祭参加活動	団体	プロジェクト・活動名	The Space Bears 4 Ever
			実施予定年数	2年
			申請活動の概要	申請事業はプロデューサーを岡田一男が、ディレクターを鈴木由紀が務め、クマムシの生きたままの実像に迫る中編科学映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。2018年から顕微鏡・接写で撮りためてきた3種のクマムシの摂食・繁殖・成長・乾眠などの克明な記録から、集大成として1本の映画に仕上げる。
活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	合同会社 JyaJya Films
映画	海外映画祭参加活動	団体	プロジェクト・活動名	記憶の向こう側へ
			実施予定年数	3年
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の島田隆一が、生きづらさを抱えながらも誇りを持って生きる一人の女性を追った長編ドキュメンタリー映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。「女性」「元ハンセン病患者」「日系ブラジル人移民」における集合的記憶を探る。

Ⅱ. 芸術文化の支援

活動分野	活動内容	団体/個人	申請団体名	ML9合同会社
映画	海外映画祭参加活動	団体	プロジェクト・活動名	『さきちゃんたちの夜』
			実施予定年数	3年
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の西原孝至が、吉本ばななの小説を実写化する長編劇映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。現代社会の周縁を生きるシングル女性が、消えない悲しみから再生していく姿を描くロード・ムービー。
活動分野	活動内容	団体/個人	申請団体名	田中夢
映画	海外映画祭参加活動	個人	プロジェクト・活動名	家族だった私たちは
			実施予定年数	3年
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の田中夢が、自身の体験をとおりて家族の問題を描く長編ドキュメンタリー映画。編集・MA・英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。生きつらさの根底にある家族の問題、個人的で身近な問題が社会の問題に繋がっていることを映画を通して伝える。
活動分野	活動内容	団体/個人	申請団体名	一般社団法人PFF
映画	海外映画祭参加活動	団体	プロジェクト・活動名	メイメイ
			実施予定年数	3年
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督のスー・ユチュンによる、言葉を越えたコミュニケーションをテーマにした長編劇映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。家族関係をベースに描かれる、コミュニケーションの不確かさや人と人とのつながりの不可思議さを、実の姉妹である台湾の俳優のふたりが日本を舞台に演じる。
活動分野	活動内容	団体/個人	申請団体名	株式会社ゴーストイッチ
映画	海外映画祭参加活動	団体	プロジェクト・活動名	男の部屋の女（仮）
			実施予定年数	2年
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の森ガキ侑大による短編劇映画。編集、翻訳及び英語字幕制作を行い、海外映画祭での上映を目指す。本作では、「デジタル社会における監視や匿名性」「女性の多面性」「創作行為に内在する共依存性や歪み」といった主題を扱う。
活動分野	活動内容	団体/個人	申請団体名	高野徹
映画	海外映画祭参加活動	個人	プロジェクト・活動名	楽園（仮）
			実施予定年数	2年
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の高野徹が「生き方の自由」をテーマにドキュメンタリーとフィクションを融合させて描く長編映画。翻訳及び英語字幕制作を行い、海外映画祭での上映を目指す。本作はタイ南部を舞台に、秘めた欲望を持つバーテンダー、恋と友情に揺れるトランスジェンダー女性、孤独に生きるマッサージ師という三者の人生を描き、現代的な孤独や欲望の在り方を問う。

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

06

芸術文化による社会支援助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体や福祉団体、NPO等を対象とし、様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を助成する。また、長期的な計画を持つ事業を最長3年間、優先的に支援する。

【事業趣旨（目的）】

社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人にひらかれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動や、長期的視点を持ち着実に課題解決に資する活動の支援を目的とする。

【採択概況】

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・ 申請件数：99件
- ・ 採択件数：28件
- ・ 交付決定総額：34,980千円

〈第1期 採択結果概況〉

今期の申請件数は過去2番目に多い58件で、その7割を超える43件が初申請の団体でした。今年度は、子供の芸術鑑賞や体験機会の格差解消に取り組む事業を重点的に支援する方針を設けており、申請件数全体の6割強にあたる36件が該当しました。それ以外には、人々の精神・身体のエンパワメント、障害者の表現活動や鑑賞環境整備、孤独や孤立の解消など、多岐にわたる社会課題が取り上げられていました。審査の結果16件を採択し、そのうち重点支援事業は10件です。また、複数年の優先的支援事業の採択は5件で、ダンスを通じて多様な子供たちの交流と共生を図る事業、障害当事者が主体的に参加できる公演のモデルを創出する事業の2件を新規採択としています。

審査にあたっては、計画性、先駆性・独創性、効果の広がり、継続的発展性の観点を総合的に判断しました。また重点支援事業では、対象となる子供の状況を事前に掴んでいるか、対象者にリーチするための仕組みが十分に構築されているか、課題の改善に向けた確かつ合理的な事業内容となっているかに注目しました。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和7（2025）年7月1日以降に開始し、令和8（2026）年6月30日までに終了する事業
- ・ 申請件数：58件 採択件数：16件

申請者名	申請事業名
合同会社カタリスト	多文化共生のためのレッスン 一非/常識と手をつなぐプロジェクト ※3年計画事業採択の2年目
一般社団法人プレイキッズシアター	だれもがみんなアーティスト 子ども創作舞台プロジェクト
おどのま	スペシャルニーズの子どもたちのための舞台芸術 いろ（仮）
NiEW株式会社	tomoto
STAND Still 東京	STAND Still: 性暴力サバイバービジュアルボイス ※3年計画事業採択の3年目
nosmosis 実行委員会	nosmosis research 2025
一般財団法人八島花文化財団	「誰もが参加できる未来の身体表現へのアプローチ」～ありのままの身体（からだ）こそが表現だ～ ※3年計画事業採択の2年目
くちびるの会	親子のための「紙おしぼい」～府中で年間上演プロジェクト～
一般社団法人北沢おせっかいクラブ	ハロー！ミュージカル！×プロジェクション
特定非営利活動法人LAND FES	ふかがわオドリバ！
一般社団法人IROHAMO	OTOMIC Lab. vol.2 学びと実践を繰り返し、新たなユニバーサル・コンサートをつくるプロジェクト ※3年計画事業採択の1年目
ああ99ピビ	インクルーシブ環境で行う、ノンバーバルなダンスワークショップ ※2年計画事業採択の1年目
一般社団法人Prison Arts Connections	刑務所アート展～壁を超える対話とコラボレーションの創出
社会福祉法人ふるさと福祉会 東京多摩学園	同じ町に住むいろんな人たちと摩訶不思議な生き物を創造～おくたま森のオモシロ動物園～
居間 theater	赤ちゃん観察プロジェクト（仮）
学校法人桜美林学園	One dayワークショップ ダンスで音を描こう！

Ⅱ. 芸術文化の支援

〈第2期 採択結果概況〉

申請件数は、第2期としては過去最多の41件となりました。今年度は、子供の芸術鑑賞や体験機会の格差解消に取り組む事業を重点支援対象としており、全体の約6割強にあたる27件が該当しました。また、申請事業者の約8割が当助成への初申請でしたが、取り組む社会課題が曖昧で、事業計画や実施体制の説明が不明瞭なものが散見されました。

審査では、計画性、先駆性・独創性、効果の広がり、継続的发展性を総合的に判断しました。また、事業対象者の特性や個別・具体的な要望を事前に掴んでいるか、対象者にリーチするための仕組みや事業の実施体制が十分に構築されているか、事業の内容が設定した社会課題の解決に適合しているかに着目しました。

審査の結果、重点支援に該当する事業のほか、共生社会の推進を目指す活動、障害者等の表現活動や鑑賞環境整備事業など12件を採択としました。また採択事業のうち、外部組織や地域住民と協働して子供の芸術体験の格差解消を図る事業2件を、新たに複数年の優先的支援事業としています。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和8（2026）年1月1日以降に開始し、令和8（2026）年12月31日までに終了する事業
- ・申請件数：41件 採択件数：12件

申請者名	申請事業名
Tokyo ラブリエコレクション	Tokyo ラブリエコレクション
株式会社 CSLI	CSLI 公開シンポジウム
特定非営利活動法人 International Antique Institute	「みえないから、みえること」～茶道で五感と対話する～
株式会社 precog	GOOD DIALOGUE LABORATORY
特定非営利活動法人地球対話ラボ	ミャンマー人学校との VR 協働事業
エブリモーメント合同会社	キッズ認知症教室
北浜プロジェクト	インクルーシブアート・ワークショップ
一般社団法人シマクラス神津島	島しょ部こどもアート体験プロジェクト
株式会社文学座	みんなのアトリエ～創造する子どもたちの未来を守る～演劇による創造性のセーフティーネット構築事業～ ※3年計画事業採択の1年目
特定非営利活動法人音まち計画	イミグレーション・ミュージアム・東京
一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL	だれでも劇場うらおもて探検 ～子どもの体験格差解消を目指して（仮）
武州青梅金刀比羅神社崇敬会	きっかけの扉ーアートでつなぐ、みんなの未来ー ※3年計画事業採択の1年目

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

07

地域芸術文化活動応援助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体、保存会、継承団体等を対象とし、都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援する。

【事業趣旨（目的）】

東京における地域の芸術文化に誰もが触れ、参加できるような環境づくり、芸術文化を通じた地域の活性化や地域振興を目的とする。

【採択概況】

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・ 申請件数：154件
- ・ 採択件数：62件
- ・ 交付決定総額：59,760千円

〈第1期 採択結果概況〉

令和7（2025）年度第1期で初めて申請された団体は19団体と、全体の約3割でした。申請事業の実施会場は地域のホール、店舗、古民家、お寺、公園など様々で、実演ジャンルにとらわれない事業の申請がありました。対象となる4つの事業種別においては、「地域の文化魅力づくり事業」が全体の約6割、「地域文化資源活用事業」が約2割と、半数以上が「地域の文化魅力づくり事業」を選択しており、東京都内各地域の文化的魅力を高める取り組みが多いことが伺われます。

※区分1：初めて実施する企画でも申請可能。区分2：特に、多くの人々（1,000人以上を目途）が地域の芸術文化に触れ、参加できる事業を対象とし、申請団体の実績として、申請する事業と同じ内容の事業を同地域で1回以上主催している。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和7（2025）年4月1日以降に開始し、令和8（2026）年3月31日までに終了する活動
- ・ 申請件数：71件 採択件数：32件

区分	申請団体名	申請事業名
区分1	代々木果迺会	一之輔落語×竹灯籠能「橋弁慶」及び前夜祭 能狂言「菊慈童」「魚説法」
区分1	明暮れ小唄	北斎小唄 そぞろ歩き すみだの節気
区分1	セレナタ・デ・スギナミ	音楽で旅するアフタヌーン・コンサート 中南米編
区分1	下北沢音楽祭実行委員会	第34回下北沢音楽祭
区分1	Tumbling Dice Records	RWF Dance Live Show 2025 -小笠原-
区分1	合同会社音の家	おやこ音会話シリーズ
区分1	特定非営利活動法人千住すみだ川	南千住ぶらり下町芸術散歩
区分1	一般社団法人もんでん	ストリートピアノすみだ川2025
区分1	せたがや梅まつり実行委員会	第47回せたがや梅まつり
区分1	有限会社ブーク人形劇場	第5回国際文化交流 アホイ伊豆大島2025
区分1	青梅舞台芸術フェスティバル実行委員会	第3回青梅っぼいコンサート
区分1	一般社団法人 Theatre Ort	昭和記念公園 花とみどりの演劇フェスティバル（仮）
区分1	声のコンサート体験会	第7回声のコンサート体験会
区分1	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	結城座旗揚げ390周年記念公演第二弾 「タクボク 雲は旅のミチツレ」（仮）
区分1	特定非営利活動法人 中央区第九記念合唱団	2025年度 中央区第九記念合唱団演奏会
区分1	うたのわ	お座敷LIVE 大うたのわプロジェクト
区分2	かんだ歌宴	第8回ちよだ芸術祭
区分2	「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会	第38回荻窪音楽祭
区分2	高円寺演芸振興協会	第16回高円寺演芸まつり
区分2	町田時代祭り実行委員会	町田時代祭り2025
区分2	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2025

Ⅱ. 芸術文化の支援

区分	申請団体名	申請事業名
区分2	元八王子地区町会自治会連合会	北条氏照まつり
区分2	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会	KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」
区分2	特定非営利活動法人武州のよりあい	第8回八王子流鏑馬
区分2	飛鳥山新能実行委員会	渋沢栄一翁・顕彰能「青淵」
区分2	一般社団法人Co-production of art Works-M	Center line art festival Tokyo 2025
区分2	BONIN ISLAND JAZZ 実行委員会	BONIN ISLAND JAZZ days（仮）
区分2	一般社団法人ジャパニリユージョンエンターテインメント協会	夢と魔法の江戸川公演5 幻想師
区分2	としま文化創造プロジェクト実行委員会	としまアート夏まつり2025
区分2	キノセイ合同会社	Kids = Artists ～すべてのキッズはアーティスト～
区分2	LiL	JUHLA FESTIVAL 2025 テラノオト
区分2	一般社団法人クリエイティブクラスター	あきがわアートストリーム2025

〈第2期 採択結果概況〉

2025年度第2期では、採択事業30件のうち、初めて申請を行った団体が15団体となり、全体の5割を占めました。対象となる4つの事業種別の内訳は、無形民俗文化財活用事業1件、有形文化財（建造物）・歴史的建造物活用事業6件、地域文化資源活用事業6件、地域の文化魅力づくり事業17件です。

採択された事業は、有形文化財を活用した伝統芸能の上演、公園を舞台としたコンテンポラリーダンス、文化財住宅の公開イベント、地域文化施設と協働するオペレッタ公演、季節外観光にも寄与する海辺での展覧会など、ジャンルや場所も様々ですが、地域の特色を独自の視点で取り上げた企画でした。また、地域住民の参画や企業との連携を図る等、地域の活性化や地域振興につながるように計画されている事業も多く見受けられました。継続している事業では、実績を踏まえた課題への対応や、新たな展開を盛り込んだ申請内容も複数見られ、企画を発展させたいという事業者の方々の意欲が感じられました。なお、採択には至りませんでした。地域メディアの運営に関する申請が複数寄せられました。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和7（2025）年10月1日以降に開始し、令和8（2026）年9月30日までに終了する事業
- ・申請件数：83件 採択件数：30件

区分	申請団体名	申請事業名
区分1	大江戸楽笑会	大江戸楽笑会 50周年記念寄席
区分1	公益財団法人早稲田奉仕団	スコットホール公開イベント（仮）
区分1	延寿会（清元宗家高輪会）	清元会（仮）
区分1	府中市の遺産の活用を考える会	武蔵府中郷土かるた選手権
区分1	「新富座こども歌舞伎」の会	新富座こども歌舞伎 錦秋公演
区分1	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	第24回多摩川流域郷土芸能フェスティバル
区分1	公益財団法人十四世六平太記念財団	第10回 品川能楽鑑賞会
区分1	生田流地歌箏曲紅葉會	第二回「糸の声舞の色」
区分1	特定非営利活動法人International Antique Institute	グローバル茶会
区分1	染の小道実行委員会	染の小道2026
区分1	特定非営利活動法人子ども文化NPO江戸川子ども劇場	すてきな音をみつけよう～ロバの音楽座 ガランビーな音楽会～
区分1	「富士見台ものがたり」実行委員会	カラダ×FSXホール ～この場所に生まれるダンス／みんなて劇場に成る
区分1	Breathe project	Living in ARAKAWA
区分1	王子狐の行列の会	第33回 王子狐の行列
区分1	有限会社次郎吉Live Music JIROKICHI	Feel the World's Groove in Koenji! -高円寺で世界のグルーブを感じよう！-
区分1	目白台の家再生プロジェクトチーム	第二回おうちひらきー文化財住宅での地域文化・歴史を知り・体験する参加型イベントー
区分1	musicotta	紡ぎ奏でる 青梅
区分1	家劇場 むかしむかし計画	家劇場の三回忌「ピクニックパフォーマンス（仮）」
区分1	武州青梅金刀比羅神社崇敬会	青梅アートパフォーマンス -街と人が交差する音と身体の実験劇場-
区分1	海の中の美術館	JUAM 2025（仮）
区分1	小径のノエル実行委員会	小径のノエルvol.16 「小径のノエル 冬至のキャンドルナイト2025」
区分1	Novanta Quattro	Novanta Quattro×福生市民会館共同制作 又吉秀樹のオペレッタ《こうもり》

区分	申請団体名	申請事業名
区分2	国技館通り商店会	第20回両国にぎわい祭り
区分2	特定非営利活動法人武州のよりあい	第8回八王子流鏑馬
区分2	24時間チャレンジ八丈太鼓実行委員会	第16回24時間チャレンジ八丈太鼓
区分2	立川シアタープロジェクト実行委員会	子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台 vol.9「プレーメンの音楽隊」
区分2	PLAY-WORK 実行委員会	Let's make PLAY-WORK TOWN!
区分2	一般社団法人キネコ・フィルム	一般社団法人キネコ・フィルム
区分2	すみだパークシネマフェスティバル実行委員会	すみだパークシネマフェスティバル2025
区分2	Commons Archive Collective	渋谷アーカイブ写真展2025

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

08

スタートアップ助成

【事業概要】

東京を拠点とし、東京の芸術シーンの次代を担うことが期待される新進の芸術家や芸術団体等を対象とし、東京都内又は海外で実施される公演、展示、アートプロジェクト、国際フェスティバルへの参加、国際コラボレーション等を助成する。

【事業趣旨（目的）】

東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体がチャレンジする新たな芸術創造活動を助成し、若い才能が今後の芸術活動への地歩を築くためのスタートアップを後押しすることを目的とする。

【採択概況】

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・ 申請件数：632件
- ・ 採択件数：146件
- ・ 交付決定総額：97,312千円

〈第1回 採択結果概況〉

第1回の本公募では、232件の申請があり、46件の採択となりました。申請件数は、前回（2024年度第3回）の219件より増加しました。

●音楽分野 申請件数：47件 採択件数：10件

音楽分野では、47件の申請があり、うち10件が採択に至りました。採択された事業は古楽からクラシック音楽、現代音楽、実験音楽などジャンルはさまざまですが、いずれも申請者独自のコンセプトが提示されており、プログラムに工夫が見られました。若手作曲家による新作発表が予定されている事業も多く採択に至っています。

●演劇分野 申請件数：76件 採択件数：14件

演劇分野では76件の申請があり、14件が採択となりました。採択に至った事業は演劇作品としての独自性や創作におけるチャレンジが申請書に示されており、実現に向けた予算計画や進行スケジュールが具体的に練られていました。身体表現の探求や上演空間設計の工夫など、戯曲やテキストに対して発話に限らないアプローチを試みる事業や、既存戯曲・演劇分野以外の表現や作品・文化的慣習等を多層的に創作に取り入れることでこれまでの演劇表現の更新を目指す事業などが採択されています。

●舞踊分野 申請件数：31件 採択件数：8件

舞踊分野では31件の申請のうち8件が採択に至りました。今回も、コンテンポラリーダンス、舞踏、フラメンコ、クラシックバレエ、ストリートダンス、オイリュトミーなど幅広いジャンルからの意欲的な申請がありました。採択された事業は、いずれも独自の視点から企画が立てられ、具体的手法が提示され、事業実施により申請者のステップアップが期待される内容となっています。

●美術・映像分野 申請件数：42件 採択件数：8件

美術・映像分野は42件の申請があり、個展、グループ展、海外フェスティバルでの展示など8件が採択に至りました。人間、自然、時間、都市、テクノロジーなどを起点に、これまで継続して取り組んできたテーマをさらに掘り下げたもの、表現や展示方法において新たな試みがあるものが助成対象となっています。また、複数の表現媒体を領域横断的に組み合わせ、効果的な作品展開を試みようとする事業が複数採択されています。

●伝統芸能分野 申請件数：7件 採択件数：1件

7件の申請があり1件が採択となりました。採択件数は令和5（2023）年度第2回の公募以来、最も少ない件数となっています。申請種目は能・狂言、長唄、尺八、複数種目による事業となり、これまで続けて申請があった箏曲や舞踊（邦舞）の申請はなく、やや種目が絞られました。採択に至った事業は、これまでの活動から見えてきた課題に対する取り組みが具体的に練られ、かつ今後のステップアップにつながるチャレンジ性が高いものでした。

●複合分野 申請件数：29件 採択件数：5件

複合分野の申請は29件あり、うち団体4件、個人1件の合計5件が採択となりました。ジャンル横断型の共同制作や発表形態の実験を試みるシアターピース創作や工芸品の展示、テクノロジーと身体表現を組み合わせた体験型アートなど、いずれも新たな表現形態の創出が期待できる事業が、創作の目的における独自性・チャレンジ性の点で評価され、採択に至っています。

〈第1回 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和7（2025）年9月1日以降に開始し、令和8（2026）年8月31日までに終了する事業
- ・ 申請件数：232件 採択件数：46件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	Duo NéMeu	Duo NéMeu meets 長谷川将山 ～伝統の継続的な昇華～
			東京烤鴨	東京烤鴨3 FASHION ASIAN
			みのりてんデュオ実行委員会	みのりてんデュオ「ロザリオのソナタ全曲演奏会」
			Eden bug	アートエキシビジョン企画「新人類」
			by this river 運営事務局	by this river at Tokyo 2025
			Seras Saxophone Quartet	Seras Saxophone Quartet 1st Tour 東京公演
			電気羊の部屋	電気羊の部屋
		個人	吉田奏子	C→寺院
			渡辺彩月	さち子は自転しているか。
			佐藤伸輝	佐藤伸輝ピアノリサイタル（仮）
演劇	都内での芸術創造活動	団体	ド・パールシム	ド・パールシム #4『アンドガール』
			namu	namu 第二回公演「最後の神経戦」（仮）
			ミニ胡麻うり	ミニ胡麻うり 第五回公演『CANCON（仮）』
			システム個人	システム個人第4回本公演「仙名三姉妹次第」
			馬場会	ラングリングリウム（仮）
			あくびがうつる	あくびがうつる MONOCYCLE THEATRE『劇場』
			踊場海月	踊場海月第2回公演「散歩する侵略者」（仮）
			UAVOA	UAVOA 第3回公演「Megu」
			コーボ 指	コーボ 指 第六回公演『ようせい』
			劇団ツッカ	劇団ツッカ #3
			ブックマークドックス	『うしろで光っていて（仮）』
		個人	小林桜子	Airswimming
			安藤安按	すごい生命力 Vol.安藤『すごいシーズン』（仮）
			小島夏葵	波打際の怒れる三人
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	SPUTNIK	すみだみらいアーティストプロジェクト Vol.2「隅田川カブリッチョ！」
			88	TREFFPUNKT ～シトシトマイウタウヒトビト～
			Reconu	Theater, Sweet Theater #3 Reconu 第3回公演「フレームと印象以外のすべて」
			一般社団法人 SOCIAL WORKEERZ	ダンス公演「カレーライス（仮）」
		個人	遊舞舎優子	舞踏公演 「内なる辺境 都市の傍流」
			西篤近	俗物Ⅱ
			中里真央	中里真央フラメンコリサイタル「Hacia AdelanteⅡー揺れる心の羅針盤ー」
	国際的な芸術創造活動	団体	マノ・フラメンコ国際交流実行委員会	MENTIRA FORMOSA 美しい嘘
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	メディウムとディメンション実行委員会	メディウムとディメンション：Plastic
		個人	清水琳名	スバル
			中村葵	中村葵個展「《らばわく》をうたって」
			富田七海	「食み」でる「ところ」
			松村寛季	第1回ミジンコ水泳競技大会（仮）
			塙龍太	個展「Polar time（仮）」の開催
			大倉なな	ひかりをおくる 雨と晴れのあいだに 海と私たちのあいだで
	国際的な芸術創造活動	個人	古澤龍	ブカレストNOVAフェスティバルでの映像インスタレーション作品『Mid Tide』シリーズの発表
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	長唄咲くや会	第5回長唄咲くや会
複合	都内での芸術創造活動	団体	打楽器アンサンブルジャパン	打楽器アンサンブルジャパン「音をいける、いのちをならす」
			moment of us	STUDY（仮題）東京公演
			pito	現幽体のレメディエーション
		個人	Kathleen Reilly	Uncovering Functionality・使えるを見つける
	国際的な芸術創造活動	団体	sewing situation	sewing situation 東欧公演

Ⅱ. 芸術文化の支援

〈第2回 採択結果概況〉

第2回の本公募では、192件の申請があり、46件の採択となりました。申請件数は、前回（2025年度第1回）の232件より減少しました。

●音楽分野 申請件数：44件 採択件数：8件

音楽分野では、44件の申請があり、うち8件が採択に至りました。現代音楽を中心に、アンビエント・ミュージック、オペラ、ケルト音楽など、多様な領域で活動する事業者が採択されています。採択されたのはいずれも、申請者の過去の実績を踏まえた上で、新たな挑戦のコンセプトやその具体的内容が明確に記されている申請でした。また、事業の目的の達成のために、制作のプロセスや発表の形態において工夫が見られる事業が多かったことも特徴です。

●演劇分野 申請件数：85件 採択件数：19件

演劇分野では、85件の申請のうち、19件が採択となり、2024年度に年3回の公募になってから最も多い採択件数となりました。脚本家や演出家以外が企画の中心を担い、演劇創作のプロセスや作品上演の前提を問い直そうとする申請が多く見られました。また、今回採択された事業の中には、ワークインプログレスやリーディング公演、試演会など、長期的な創作計画や作品を発展させていく過程に位置付けられた申請も複数ありました。

●舞踊分野 申請件数：14件 採択件数：7件

舞踊分野では、14件の申請のうち、7件が採択に至りました。申請があったジャンルは、コンテンポラリーダンスが最も多く、他に舞踏、フラメンコ、クラシックバレエ、ストリートダンス、エアリアル、アルゼンチンタンゴなど幅広い申請がありました。今回採択された事業は、過去に採択歴のある申請者による事業が5件あり、いずれも申請者にとってステップアップとなる点が明確に示されていました。

●美術・映像分野 申請件数：28件 採択件数：6件

美術・映像分野では、28件の申請があり、6件が採択となりました。社会課題や文化的背景を起点に国内外の作家と協働する挑戦性の高いグループ展やアートプロジェクト、展示計画が具体的で実現性の高さが示されている個展が採択に至っています。テーマに独自性があり、参加作家や実施場所、展示・発表方法に至るまで、必然性をもって選択されていることが見て取れる事業が高く評価されました。

●伝統芸能分野 申請件数：6件 採択件数：3件

伝統芸能分野では、6件の申請があり、3件が採択に至りました。今回採択となった事業は、伝統芸能分野における現状課題や自身の活動テーマに対し独自の視点から内容が検討された、独自性・チャレンジ性の高いものでした。さらに、企画の主旨や目的に対する計画が具体的かつ明確に記載されており、実現性を高く評価できる事業が採択に至っています。

●複合分野 申請件数：15件 採択件数：3件

複合分野では、15件の申請があり、3件が採択となりました。今回は、音楽、スポーツ、お笑いなど多様な領域を横断したソロパフォーマンスを行う事業、ダンサーや俳優、音楽家など多様なアーティストが出演者となり実験的な振付作品の創作に挑戦する事業、ダンサーが展示をメインとしたインスタレーションを制作する事業が採択されました。

〈第2回 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和8（2026）年1月1日以降に開始し、令和8（2026）年12月31日までに終了する事業
- ・ 申請件数：192件 採択件数：46件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	single tempo	Hirofumi Nakamura Ensemble Concert
			プリンスオペラ	北区王子の魅力発信！花の衣装×祈りで魅せる プリンスオペラ第1回公演 オペラ「トスカ」
			中目黒アートセンター	モートン・フェルドマン生誕100周年記念演奏会 《フィリップ・ガストンのために》日本初演／高橋悠治《委嘱新作》世界初演
			MIMINOIMI	MIMINOIMI - Ambient / Week - 2026
			向井響 美少女革命 事務局	ポルト人形劇団、ひとみ座乙女文楽の共同制作「美少女革命」世界初演
			"Gémeaux" Percussion Duo 運営事務局	CROSSWHEN II - Ben Nobuto MIX!!!
			プラットフォーム	プラットフォーム #02 未来からの音楽
演劇	都内での芸術創造活動	団体	共作プロジェクト緒	共作プロジェクト緒 第3回公演「3人、4人」
			はちどり空港	第5回公演『アンダーザパーク（仮）』
			シアターユニット QD	ミュージカル「Two Angles」試演会
			MADO-machine	MADO-machine the 2nd performance「EVER/LASTING」
			きろの自由研究	きろの自由研究『偽伝記（仮）』
			Nanori	狂言マニフェスト
			九蓮サイダー	九蓮サイダーvol.3「だから知らないって言ってるだろ（仮）」
			システム個人	システム個人の短編提供システム
			岡本セキユ☆シングル芝居	契（ちぎ）つたるねん（仮）
			ん坊の国	ん坊の国 第三回公演
			Oxymoron Theatre Club	Project IG（仮）
			HomieProject	Homie Project vol.3「リスタート」
			ピトゥール	第三回公演『橋とかもめ』
			さるさるさる松井絵里	YUBI・ゆび・ユビユビ=ゆーまいびー
			三人之会	三人之会特別企画 チャイニーズ・シアター・コレクションⅠ（仮）
		個人	翠月瞳	翠月瞳自主企画 vol.5「雨の日にタイヤが降っても（仮）」
			和田華子	和田企画
			川合凜	川合凜企画 ギギVol.1（仮）
			内藤ゆき	内藤ゆき企画 #2『タイトル未定』（仮）
			弓削風佳	『cold feet』
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	ワカバコーヒー	喫人舞踏会：再宴
			Co-OO	遠藤七海『婆美肉魂』東京公演
			room. Onaya Rion	「ブルンジ・キピング・ウォッシングステーション」（仮）
	国際的な芸術創造活動	個人	マノ・フラメンコ国際交流実行委員会	フラメンコ国際共同制作 VOL. 5 in Dubai
			Souki Shintani	Sen Ten
			平田鱈	ポーランド・Teatr Rozbarkにおけるソロ作品『はなし/Talk to you』上演
			宮悠介	[AIR]Onomatopoeia WAVES Project: Research and recreation focusing on differences between Japan and Austria in onomatopoeia
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	igkas project	「剰余の余白：『ものづくり』の文化と東京下町的生活史」展
		個人	鷺見友佑	多段変身と彫刻
			伴佳七子	伴佳七子 個展「光の皮膚をあつめる」（仮）
	国際的な芸術創造活動	個人	SHU BROWN	反薄明光を辿る
			松永有美子	Foreign Bodies
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	Mai Muraguchi	Resistance, Rebellion, Reflection（仮）
			秀の會	第三回秀の會
		個人	禮	黙劇 Audio/Visual Set
複合	都内での芸術創造活動	団体	伊崎善之	伊崎善之 自分勝手なりサイタルvol.1 和琴！
			ほらあな	ばう べう べぐ
		個人	がらんどろ	アラップ
			Koki Sakakihara	He wanna be a good tennis player.

〈第3回 採択結果概況〉

第3回の本公募では、208件の申請があり、54件の採択となりました。申請件数は、前回（2025年度第2回）の192件より増加しました。また、申請件数に対する採択件数の割合は、2025年度で最も高くなり、26%となりました。

●音楽分野 申請件数：47件 採択件数：13件

音楽分野では、47件の申請があり、うち13件が採択に至りました。現代音楽を中心として、古楽やジャズ、即興・実験音楽、サウンドインスタレーションなど、多様なジャンルで活動する申請が採択されています。採択されたのはいずれも、申請者のこれまでの活動実績を踏まえた上で、新たな挑戦となる事業内容が具体的に提示されている申請でした。現代音楽や古楽では、企画のテーマが明確に示され、その実現のためのプログラミングや取り組みが掘り下げられている事業が採択されました。また、ジャズや即興演奏を主軸とした団体による新たなチャレンジとして位置づけられた海外事業も、複数採択に至っています。

●演劇分野 申請件数：59件 採択件数：13件

演劇分野では59件の申請があり、13件が採択となりました。観客数の拡大や鑑賞体験の深化は、多くの申請事業に共通する課題意識として見られましたが、採択事業ではその解決に向けた具体的な実施計画が策定されていました。申請者独自の課題意識が、作品の内容やテーマのみにとどまらず、創作のプロセス、広報計画、空間設計など、事業全体に一貫性をもって反映されていたことも特徴のひとつです。また、ジェンダーや世代、国や文化の違いに起因する現代社会におけるコミュニケーションの齟齬や違和感を創作の起点とし、上演に対し、一義的な理解に終始せず、複数の解釈を可能とする申請が採択に至りました。

●舞踊分野 申請件数：14件 採択件数：5件

舞踊分野では、14件の申請があり、5件が採択に至りました。申請のあったジャンルは、コンテンポラリーダンスが最も多く、次いでクラシックバレエ、舞踏、民族舞踊などの申請がありました。今回採択された事業は、新たな身体表現を生み出すことやダンスの概念を拡張することを目的とした独自性の高いものや、大きなチャレンジでなくとも申請者にとって切実な課題に向き合うための計画が十分に練られた事業です。

●美術・映像分野 申請件数：52件 採択件数：9件

美術・映像分野では、52件の申請があり、9件が採択となりました。異なるメディアで活動するアーティスト・研究者による協働において、お互いのメディアへの干渉や接続を糸口として立ち上げたもの、またメディアや展示形式そのものを問い直す試みなどが採択に至っています。海外での発表を含む事業については、チャレンジ性が高く分野への波及効果も期待できる2件の事業が採択に至りました。

●伝統芸能分野 申請件数：8件 採択件数：3件

伝統芸能分野では、8件の申請があり3件が採択に至りました。これまでに比べ多様な種目からの申請があり、複数種目や他分野との横断的な事業も複数申請がありました。採択に至った事業はいずれも個人や団体における課題や目標を起点とした独自性、チャレンジ性が高い内容で、さらに具体的な実施計画が練られているものです。

●複合分野 申請件数：28件 採択件数：11件

複合分野では、28件の申請があり、今年度で最も多い11件が採択となりました。今回は、分野の領域を横断した意欲的かつ実験的なコラボレーション企画、分野における従来の手法を疑い新しい取り組みを試みるもの、海外の発表を含む事業などが、事業内容の独自性・チャレンジ性の点で評価され、採択に至っています。中でも音楽や音に関わるアーティストが参加するものが9件あり、美術、映像、ダンス、ジャグリング、レクチャーパフォーマンス、書、生け花など、多様な領域と掛け合わせた事業が採択されました。その他、活弁や資料アーカイブの展示を含む上映会が2件採択に至っています。

〈第3回 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和8（2026）年5月1日以降に開始し、令和9（2027）年4月30日までに終了する事業
- ・申請件数：208件 採択件数：54件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	プラットフォーム	プラットフォーム#03 世界に伍するシンフォニエッタ
			HAPPY UNDERGROUND!!!	ソリチュード・インフィニティ
			株式会社しろばら百藝社	特殊秘宝館
			にやにや経	にやにや経第2回演奏会：斉芸瑛2台ピアノ作品個展
			ÆBifryer Barockorchester	「愛するものはみな戦士」～働く企業戦士たちの愛と闘いのマドリガーレ～
			under-pass	under-pass meets Tokyo（仮）
		個人	多胡宏音	多胡宏音 マリンバ・リサイタル 2026
			鈴木崇弘	鈴木崇弘室内楽シリーズ アンフォルメル vol.5 もののあはれを聴く
			栗谷明菜	歴史的バセットホルンによる「モーツァルト：ディヴェルティメント K439b」全曲演奏会 ―原典にひそむモーツァルトの遊び心―
			西村和	西村和 打楽器リサイタル
			Kani Ningen	出さない手紙を書くこと
	国際的な芸術創造活動	団体	幽けき刻	幽けき刻ヨーロッパツアー
		個人	ピリージーン	グラント・ピリージーン イタリア国際ジャズフェスティバル招聘公演
演劇	都内での芸術創造活動	団体	Same Boat	いーはとーぶ・ろまん
			反芻動物	反芻動物『マッチ売りの少女』『不思議の国のアリス』同時上演
			劇的謝罪集団ヒタイピッタンコ	この度はごめんね vol.4
			喘粘齡	喘粘齡第二回公演『にっちもさっちもいかなんDER in TOKYO』
			ナボンダフ	（仮）恋と愛の話
			あくびがうつる	ひとものがたり
			無駄な部屋	2026年度無駄な部屋シリーズ公演
			Mavolatory	Mavolatory 第四回公演「バックアップ・ボーイズ」（仮）
		個人	端葉里	端葉里と高熱『Vol.2』（仮）
			志知佳保	ひとみの会『ふたつの虹』
			伊藤麗	LOVE YOU ALL 元年
			小日向雪	つちふむず 旗揚げ公演（仮）
			野月敦	Theatre in Opposition 第一回公演『盗まれた幸せ』
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	トビランジェラ	トビランジェラ第3回単独公演「sit down and do」（仮）
			EuRa	観戦型ダンス公演「Organized Play」
		個人	中村瑞乃	中村瑞乃 新作ソロ公演「cold.」
			井上哲	A-ka*Tetsu dance stream01
	国際的な芸術交流活動	団体	一般社団法人パフォーミングアーツ協会	鬼の往来 ― Ritual Exchange : Dokkaebi × Namahage
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	ソフトハウス三ノ輪	こねられた粘土のマインド=家へ
			Noema Lab	NOEMA / NOESIS : Membrane ― 知覚と認知の現象学的リサーチ
		個人	林田真季	林田真季個展
			向井ひかり	白、眩しい金（仮）
			上川桂南恵	個展「魚が猫を追いかける（仮）」の開催
			侯米蘭	Where Is the ME Manual?（暫定）
			野村知一	「フクシマノオト」三作品上映会
			古山寧々	非人間の鑑賞者を想定した微視的演劇作品の制作と発表（仮）
	国際的な芸術創造活動	個人	竹村優里佳	Festival des Architectures Vives 2026（FAV2026）
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	菊地梯子委嘱作品による十七絃箏演奏会実行委員会	菊地梯子委嘱作品による十七絃箏演奏会 vol.2
			わろてな狂言会	わろてな狂言会
		個人	沢井麗	第2回沢井麗箏リサイタル

Ⅱ. 芸術文化の支援

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
複合	都内での芸術創造活動	団体	佐藤真文庫	アーカイブが映し出す佐藤真の眼差しとの対話
		個人	かとうりな	かとうりな×Ruki kojima「わたしの時間、あなたの時間」
			尾田直彪	嵐を呼べ！尾田直彪活弁上映会 特別篇2
			五十嵐千紜	そして花火のように
			敷地理	無窮花
			加藤綾子	アトム・ミート！ 東京公演
			高橋侑大	Heteroscheme
			Ikebana whispering	Ikebana whispering
			どこへ/do ko e	どこへ / do ko e 【2】
			濱口啓介	ボシ口舎『おとのたしなみ（仮）』
	国際的な芸術創造活動	団体	傷痕実行委員会	傷痕

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

09

伝統芸能体験活動助成

【事業概要】

伝統芸能の様々な種目について、初めての人でも入り易く、ひとりの参加者が同一の種目の実技を複数回にわたって自ら実技体験することができる事業を支援する。

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の面白さを体感する機会を提供し、伝統芸能が暮らしの中に根付き日常にお稽古に通う人の拡充へとつなげることで、伝統芸能の振興を図ることを目的とする。

【採択概況】

〈令和 7（2025）年度実績〉

- ・ 申請件数：38 件
- ・ 採択件数：20 件
- ・ 交付決定総額：11,863 千円

〈採択結果概況〉

2024年度から新たに助成対象種目となった華道、茶道、書道を含め、長唄（唄・三味線）、新内（浄瑠璃・三味線）、能楽（謡・能楽囃子・狂言）、邦楽囃子、尺八、箏曲・地歌、雅楽、日本舞踊、琵琶、一中節その他、幅広い種目の申請がありました。

当助成に初めて申請する団体からの申請事業は23件で、そのうち11件が採択されました。審査にあたっては当助成プログラムの趣旨に則り、実技体験を主とする事業であるか、公募ガイドラインの「対象となる種目」に該当するか、同じひとりの参加者が複数回にわたって実技体験を行う内容となっているかを重視しました。また、事業の終了後に参加者を継続的な実技体験の実践（お稽古）につなげるために、申請団体が通常行っていることとは異なる工夫が施されているか、参加対象が的確に想定され、対象者に適した広報手段が取られているか等も考慮して採択事業を決定しました。

採択された事業では、団体が参加者に伝えたい伝統芸能の特質や価値が示されており、未経験者でも取り組みやすい体験設計（演目・曲の選出、楽器のレンタル等）がされていました。

〈採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和7（2025）年9月1日以降に開始し、令和8（2026）年8月31日までに終了する事業
- ・ 申請件数：38 件 採択件数：20 件

申請者名	申請事業名
一般社団法人玉の緒会	3カ月で三味線できるかな？新宿2026
長燐会	能を知ろうワークショップ
特定非営利活動法人都一中音楽文化研究所	一中節伝統芸能稽古体験
公益財団法人大田区文化振興協会	和つく和つくな学び舎2025～日本文化にふれる
和ごと株式会社	楽しく体験 演奏の出来る 和ごとふれあいコンサート 第6弾
練馬区華道茶道連盟	いけばな&茶道 わくわく入門講座
潤星会	日々を彩る能楽お稽古体験2026—あなたは謡う？それとも舞う？—
一般社団法人タタスポン	気軽に！楽しく！伝統芸能！ PONと小鼓教室in浅草2026
地唄舞ラボ21	地唄舞にチャレンジ
一般社団法人古流東洋会	働く人と学ぶ人のための平日夜の華道体験講座
合同会社則重則秀の会	豊かな心を育む狂言・はじめての体験(仮)
一般社団法人国際伝統文化協会	一般社団法人国際伝統文化協会
和楽器アンサンブル真秀	「お寺で響く和の音体験」東村山・正福寺で学ぶ箏と尺八 大人も子どもも楽しめる講座全10回＋発表会
新内・如月派	今年こそ！三味線に触れてみませんか？ 2026
一般社団法人もんでん	日本の伝統音楽体験教室 ～箏、琵琶、能・謡～
一般社団法人伶楽舎	雅楽・歌物講習会
公益社団法人宝生会	能楽堂で2言語稽古体験プログラム
鼓萌の会	小平おはやし教室

Ⅱ. 芸術文化の支援

申請者名	申請事業名
あさがや能・狂言の会	2026年度 あさがや 子ども能講座
一般社団法人柔和の会	手ぶらで三味線&長唄&茶道お稽古

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

10

芸術文化魅力創出助成

【事業概要】

芸術文化で躍動する都市を目指して、新たな芸術文化の創造や鑑賞機会を創出することを目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

次のいずれかのテーマに該当する芸術文化事業で、公開を伴うものであり、複数の団体・アーティストが参画する、波及力を有する事業に対し、実施に係る助成対象経費の2分の1以内でかつ2,000万円を上限額として支援する。

- ・インクルージョン&サスティナビリティ
- ・サイエンス&アート
- ・東京の魅力発信となる芸術文化

また別途サポート費として、特定の費目にあたる経費について上限額までの実費支援もあわせて行う。

- ・A：デジタル開発サポート費（上限300万円）
- ・B：創作環境サポート費（上限20万円）

【採択概況】

当該助成は令和4（2022）年度に開始し、4年目となる助成事業である。年間2回公募を行い、申請件数は218件。影響力・波及力、将来性・継承性、革新性・独創性、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計51件を採択した。

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・申請件数：218件
- ・採択件数：51件
- ・交付決定総額：516,838,542円
（助成金：499,879,000円、サポート費：16,959,542円）

〔内訳〕

①第1期

- ・対象期間：令和7（2025）年7月16日以降に開始し、令和8（2026）年7月15日までに終了する事業
- ・申請件数：125件
- ・採択件数：30件
- ・交付決定額：309,483,004円
（助成金：303,011,000円、サポート費：6,472,004円）

申請団体名	申請事業名
認定NPO法人東京フィルメックス	第26回東京フィルメックス（英語表記：TOKYO FILMeX 2025）
株式会社ノックアウト	朗読劇＋ドキュメンタリー映画「今は昔、栄養映画館」（仮）
オールアウトチャレンジ株式会社	東京から世界へ・ノンバーバル演劇『礎の響』—多文化共生と未来の伝統創出に向けて
ROCKSTAR有限会社	ハンドルズ×コンドルズ 3rdSTEP 「I Want To Hold Your Hand」（仮）
シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ'26
八王子よこやま南マーチングフェスティバル実行委員会	第5回八王子よこやま南マーチングフェスティバル
T A I L U P株式会社	J-CULTURE FEST presents
トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森2025
中野駅前大盆踊り大会実行委員会	第13回 中野駅前大盆踊り大会
Osgemeos + Barry McGee 展実行委員会	オスジェメオス＋バリー・マッギー展
ロングランプランニング株式会社	【神楽坂街歩き × 体験型演劇】神楽坂イマーシブシアター企画
株式会社NHKエンタープライズ	「古典芸能を未来へ～至高の芸と継承者～京舞」
DEFOAMAT 実行委員会	DEFOAMAT'26
公益財団法人サントリー 芸術財団サントリーホール	サントリーホール サマーフェスティバル2025
一般社団法人JDDA	Tokyo Dance Music Week 2025
株式会社サイ	火の鳥プロジェクト

Ⅱ. 芸術文化の支援

申請団体名	申請事業名
一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY	T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2025
特定非営利活動法人 Deku Art Forum	第二回下北沢国際人形劇祭
一般社団法人天王洲・キャナルサイド活性化協会	天王洲水上オペラ公演
歌舞伎町アートナイト実行委員会	BENTEN 2025
Spanic Films 合同会社	日本フィリピン映画祭
一般社団法人 Get in touch	まぜこぜ一座公演 月夜のからくりハウス「楽しい日本でSHOW」
ユニバーサルアドネットワーク株式会社	【文化の循環をひらく新たな試み】東京・九段から発信する、文化と都市をつなぐ展覧会 CURATION ⇄ FAIR Tokyo
一般社団法人東京神楽坂組合	第40回神楽坂をどり
合同会社 範宙遊泳	現代演劇ショーケースプロジェクト vol.0 (仮)
JAZZ ART 実行委員会	JAZZ ART せんがわ2025
ビートインク有限公司	TOKYO Future Frequencies Festival
青山星灯籠実行委員会	令和7年青山星灯籠甕生プログラム
一般社団法人 Whole Universe	遠野巡灯籠木 in TOKYO 2026
アタック・トーキョー株式会社	音楽家・渋谷慶一郎プロデュース クラブヒルサイド音楽コンサート新シリーズ

②第2期

- ・対象期間：令和7（2025）年12月16日以降に開始し、令和8（2026）年12月15日までに終了する事業
- ・申請件数：93件
- ・採択件数：21件
- ・交付決定額：207,355,538円
(助成金：196,868,000円、サポート費：10,487,538円)

申請団体名	申請事業名
一般社団法人 WITH ALS	MOVE FES.2026
一般社団法人全国専門人形劇協議会	Puppet Arts Festival in Tokyo
東京ミッドタウンマネジメント株式会社	Hibiya Festival 2026
渋谷ズンチャカ実行委員会	渋谷ズンチャカ！ 2026
一般社団法人 MUTEK Japan	MUTEK.JP 2026 Edition 11
東急文化村	Bunkamura PRODUCE 2026 Marcos Morau + La Veronal 新作(仮)
一般社団法人一糸座	糸あやつり人形ルネッサンスー発祥の地浅草に糸あやつり人形の灯を再びー (仮)
CABIOSILE	Japan Latin Music Festival "timba" 2026
NiEW株式会社	TAMATAMA FESTIVAL 2026
特定非営利活動法人 LAND FES	TOKYO DANCE AR 2026
ピークサイド合同会社	自由が丘映画祭
東京建築祭実行委員会	東京建築祭
特定非営利活動法人芸術文化ワークス	MUSIC DAY SERIES IN TOKYO
東京学生演劇祭事務局	第11回東京学生演劇祭
日本児童・青少年演劇劇団協同組合	ベイベーシアターフェスティバル4
一般社団法人セッションハウス企画室	セッションハウス35周年フェスティバル
エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社	西麻布・六本木 MEDIA ART CIRCUIT
一般社団法人深海洋燈	多摩センター野外テントシアターフェスティバル2026
日本モンゴル映画祭実行委員会	第2回日本モンゴル映画祭
DNA フェスティバル日本実行委員会	2026 Dance Now Asia Festival in Tokyo
株式会社 YY	MODE 2026

※申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

11

芸術文化魅力創出助成 TOKYO CITY CANVAS助成

【事業概要】

東京都内において実施される、民間の工事現場の仮囲い等を活かしたアートプロジェクト等に対し、実施に係る助成対象経費の2分の1以内でかつ1,000万円を上限額として支援する。

また、アート・デザイン制作費として、クリエイティブに係る費用について上限300万円までの実費支援をあわせて行う。

【事業趣旨（目的）】

東京都が主導する「TOKYO CITY CANVAS」の一環として、アートによって魅力的な空間を創出し、都市の新しい景観を生み出すアートプロジェクトに対して支援することを目的とする。

【採択概況】

当該助成は令和6（2024）年度に新設され、令和7（2025）年度は2年目となる。年間2回公募を行い、申請件数は9件。魅力的な空間・景観の創出、企画力、発信力、訴求力、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計4件を採択した。

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・申請件数：9件
- ・採択件数：4件
- ・交付決定総額：14,676,000円
(助成金：5,696,000円、アート・デザイン制作費：8,980,000円)

〔内訳〕

①第1期

- ・対象期間：令和7（2025）年10月1日から令和8（2026）年9月30日までに設置が完了する事業
- ・申請件数：4件
- ・採択件数：2件
- ・交付決定額：10,166,000円
(助成金：4,166,000円、アート・デザイン制作費：6,000,000円)

申請団体名	申請事業名
べんてる株式会社	Pentel x Mural Rookies Project 2026
東日本旅客鉄道株式会社	〈仮〉新宿グランドターミナル仮囲いプロジェクト

②第2期

- ・対象期間：令和8（2026）年3月25日から令和9（2027）年3月24日までに設置が完了する事業
- ・申請件数：5件
- ・採択件数：2件
- ・交付決定額：4,510,000円
(助成金：1,530,000円、アート・デザイン制作費：2,980,000円)

申請団体名	申請事業名
一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY	T3 Photo Festival 2026 プレイベント「ROBOTS」屋外展
NI EW株式会社	TAMA tomoto ART SIGHT PROJECT

※申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

12

ライフウィズアート助成

【事業概要】

芸術文化を日常生活の中に根付かせ、一層都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげていくことを目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の多様な楽しみ方を提案し、都民が芸術文化に親しむ機会を創出する取組・基盤整備を助成する。本助成を通じ、アート作品を都民の日常生活の中に根付かせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出すことを目指す。

- ・対象となる活動：多くの都民が参加し芸術文化を身近に感じる、生活の中に根付くことに繋がる事業
ただし、同時代のアーティストやアート作品等と触れ合う場があること
- ・対象となる分野：視覚芸術（ヴィジュアルアート）全般 ※異分野との協働も可
- ・助成金交付額：実施に係る助成対象経費の2分の1以内でかつ2,000万円を上限額として支援する

【採択概況】

当該助成は令和3（2021）年度に新設され、令和7（2025）年度は5年目となる。令和7（2025）年5月23日～6月25日に公募を行い、申請件数は23件。企画力、発信力、訴求力、アートへのアクセスのしやすさ、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計5件を採択した。

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・対象期間：令和7（2025）年9月1日以降に開始し、令和8（2026）年8月31日までに終了する事業
- ・申請件数：23件
- ・採択件数：5件
- ・交付決定額：17,378,000円

申請団体名	申請事業名
特定非営利活動法人いけぶくろ大明	第10回池袋みらい国際映画祭
特定非営利活動法人市民がつくるTVF	東京ビデオフェスティバル2026
THE BLACK FENCE	高井戸芸術祭2025
DOMMUNE 株式会社	AI中原昌也「声帯で小説を描く!」 Presented by 宇川直宏 & DOMMUNE
エートーキョー株式会社	ART FAIR TOKYO 20「FILMS」

※申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

13

東京ライブ・ステージ応援助成

【事業概要】

東京都内で実施する公演・演奏会など、公開を伴う創造活動に対し、実施に係る助成対象経費の2分の1以内でかつ100万円を上限額として助成する。

【事業趣旨（目的）】

東京の芸術文化の多様性を支える中小の団体による舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等）活動を対象に、芸術文化の創造・発信を支援することを目的とする。

【採択概況】

当該助成は令和5（2023）年度に新設され、令和7（2025）年度は3年目となる。年間2回公募を行い、申請件数は560件。活動実績や実現性、創造性などの視点に基づき審査した結果、合計307件を採択した。

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・申請件数：560件
- ・採択件数：307件
- ・交付決定総額：284,874,000 円

〔内訳〕

①第1期

- ・対象期間：令和7（2025）年8月1日以降に開始し、令和8（2026）年7月31日までに終了する事業
- ・申請件数：321件
- ・採択件数：164件
- ・交付決定額：155,671,000円

分野	申請団体名	申請事業名
音楽	レ・ロマネスク	ロイヤルリサイタル25
	古典四重奏団	古典四重奏団 ムズカシイはoshimashii!! ショスタコーヴィチの時代 2025 その5・その6
	尺八貴風会	韻之塾「古典への創造」
	Promusica Continuo株式会社	プロムジカ使節団 All Bach Cantatas Vol.6 結成5周年 記念公演
	日本訳詩家協会	日本訳詩家協会コンサート2025 in Tokyo ～言葉の壁を超えて～
	公益財団法人日伊音楽協会	イタリアの歌 名曲コンサート
	一般社団法人東京国際合唱機構	二十億光年のまつり～谷川俊太郎作品を巡る～
	合同会社シティアイツ音楽事務所	I SAW THE LIGHT シリーズ Vol.60,61
	Non Strings Orchestra_Japan	NSO_Japan Vol.12
	株式会社 MUTIA	MuTIA 2026年度サントリーホールブルーローズ定期演奏会
	東京中低域	東京国際バリトンサクソ・フェスティバル2026
	株式会社 Ts Office	TOSHIYUKI TACHIKAWA x MINACO TAKIZAWA CHRISTMAS LIVE 2025
	合同会社ボンテンボ	ARK MUSIC GATHERING 2025
	株式会社カモシタピアノ	宝塚ピアノちゃんねるMao 5th anniversaryピアノコンサート
	有限会社アスクミュージック	子どもも大人もいっしょに楽しむ! あおぞらワッペン ファミリーライブ 2025 in 渋谷
	株式会社ハイドラ	TOKYO RENAISSANCE
	日本の調べ実行委員会	日本の調べ 秋の会 子どものためのコンサート
	Le Due Trombe	Le Due Trombe 8th Concert meest 鈴木慶江
	特定非営利活動法人えむの集い	テノールまみれのニューイヤーコンサート vol.10
	スウィングメイド・オーケストラ	スウィングメイド・オーケストラ「ビッグバンドコンサート」～クラリネットが主役だった頃 - 名演とともに～
	The Kodaira Jazz Association	小平ジャズ協会、サムタイム進出
	Gaia Philharmonic Choir	GaiaPhilharmonicChoir 第20回定期演奏会～松下 耕個展～
	CIEL 東京室内楽団	定期公演 vol.17
	有限会社アイ・エー・ダブル	オペラ「道化師」～東京スタイル～
	SPAC-E	ポートレート・シリーズ3：本堂誠 - サクソフォン四重奏との邂逅：傷と癒し -

Ⅱ. 芸術文化の支援

分野	申請団体名	申請事業名
音楽	守屋純子オーケストラ	守屋純子オーケストラ Spring Concert
	みんなの音楽会	Toi et moi ～あなたと私～ Vol.3
	株式会社 GrapeFruitMoon	GRAPEFRUIT MOON 25th Anniversary 「Harvest Parade」
	株式会社 Omptyboouquet	バラグアイにおける日系移住90周年記念、アルバコンサート
	株式会社 アルテニア	Pedro Miranda with Grupo Cadência (ペドロ・ミランダ with グルーポ・カデンシア)
	vocalconsort initium	vocalconsort initium ; 10th concert Friede auf Erden – trotzdem 《それでも——地上に平和を》
	二期会BLOC ポケットオペラ	作曲家フィーチャー・シリーズvol.3 ラヴェル作曲 オペラ『子どもと魔法』（日本語訳上演）
	Leon Symphony Jazz Orchestra	Leon Symphony Jazz Orchestra 第12回定期演奏会
	株式会社 D O	藤原道山&山田和樹&藝大フィルハーモニア管弦楽団コンサート（仮）
	PIED PIPERS group	BLACK PIED PIPERS 公演ー クラリネットだけのジャズ・ビッグバンド
	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会	ショパン・コンサート in Tokyo
	チバンゴ・コンソート	ヴェネツィア音楽祭
	水谷八重子観劇会	母。120回目パースディ
	森下玲可 smile project	音楽と映像とアートの乱咲 vol.2
	はや亭	Throw Line Special Concert 2025
	JAPON NEO SOUL 2020 PROJECT 実行委員会	弦楽四重奏で聴く5拍子の音楽 in 霞町音楽堂 vol.2
	株式会社 Asterism	ディアナ・ジバ ヴァイオリンリサイタル-ジョルジェ・エネスク 没後70周年記念-
	田尻大喜バンド	音楽のジャンルを超えて『今を生きる大切さ』を表現する、オーケストラ×ライブのハイブリットコンサート『Reasons of life』の開催
	Opera Lab Japan	21世紀版 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》の探究ーオペラから紐解くジェンダー論
	特定非営利活動法人トッピングイースト	ゐるる川
	株式会社テレビマンユニオン	2025日本ツアーファイナル 柴田俊幸&アンソニー・ロマネウク デュオリサイタル
演劇、舞踊・舞踏	劇団皇帝ケチャップ	劇団皇帝ケチャップ第20回公演「その事件、推理小説家には荷が重い」
	演劇集団「間欠泉」	演劇集団「間欠泉」第三回公演 「楽屋」
	NBO	NBO公演「SHOW CASE」
	劇団暴創族	劇団暴創族「百日紅物語」
	劇団 enji	劇団 enji 第39回公演「サラヴァ！」
	ゴツプロ合同会社	ゴツプロ！ presents / ブロックン ver.3 （仮）『さよなら挽歌』
	大統領師匠	大統領師匠 vol.18 『TEXAS KILLERS FOURTEEN』
	身体の景色	身体の景色カタリ vol.7
	舞踏石井組	円環の庭（仮）
	特定非営利活動法人劇団印象 indian elephant	リーディング公演『クミの五月』
	片岡自動車工業	片岡自動車工業 本公演「エターナルチルドレン」「ツキカゲノモリ」二本同時上演
	P. A. TOKYO 株式会社	celebration of SMASH CABARET
	特定非営利活動法人北区 AKT STAGE	★☆北区 AKT STAGE 解散公演
	シタチノ	シタチノ 第10回公演「虚無という名の楽園」
	げんこつ団	げんこつ団『800～1200度のカタルシス』
	一般社団法人宇宙カルチャー推進協会	演劇ユニット☆宇宙食堂 パー公演「星空カクテル ～3rd Season～」
	PINKBLUE	PINKBLUE vol.14『あしたわかる 改訂版』
	果てとチーク	果てとチーク第九回公演『だくどくと、』
	特定非営利活動法人青少年ミュージカル芸術文化振興協会	ミュージカル「ミルコとカギロイの森」
	一般社団法人遊戯空間	牡丹の花は匂えども～隅田川の線香花火～
	合同会社ボトフ企画	「走れ☆星の王子メロス」 世田谷パブリックシアター新演出上演
	株式会社 スーパーエキセントリックシアター	日本の劇団第三劇「その鉄塔に男たちはいるという」
	一般社団法人劇団黒テント	劇団黒テント第80回公演『白い待合室』（仮）
	MKDF 株式会社	三ツ星キッチンOriginal J-Musical 『VAKUMATSU～Ah Mujo～』
	フロアトポロジー	フロアトポロジー第11回公演「Fragments（仮）」
	かはづ書屋	かはづ書屋 2025年公演 別冊かはづ書屋『ボオの眷属たち』
	ここ風	ここ風其ノ二十四「(タイトル未定)」
	DUOBUS 株式会社	破壊ランナー

分野	申請団体名	申請事業名
演劇、舞踊・舞踏	キ上の空論	キ上の空論『ワークショップ公演（仮）』
	有限会社劇団銅鑼	劇団銅鑼公演No.63『HOPE～本を焼き尽くす悪魔～』
	teamキーチェーン	teamキーチェーン企画公演「是々非々」
	横浜ポートシアター	「新版 小栗判官・照手姫」座・高円寺 公演
	株式会社テンカトル	BLACK TOURNAMENT ～fifth element～
	特定非営利活動法人千夜一夜座	千夜一夜座 第19回本公演 果て遠き丘
	特定非営利活動法人祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU	身体詩舞台公演「鳥の会議2025」with 谷川賢作
	劇団はぶ談戯	はぶ談戯 Vol24『JULIOーフリオー』
	有限会社自由劇場	フライングシアター自由劇場 第6回公演「西に黄色のラブソディ」
	株式会社ブリエール	父よ！
	劇団スポーツ	劇団スポーツの《NOWHERE》vol.1『Constellations』
	タカハ劇団	タカハ劇団『帰還の虹』
	劇団あサルとピストル	さよならブルマー A lady in Bloomers
	株式会社ティーファクトリー	ロンリー・アイランド
	前田清実オフィス株式会社	ららら ダンスのかなた
	半量の宇宙	半量の宇宙 公演『ハムレット×AI』
	一般社団法人流山児カンパニー	流山児★事務所「新版 夢の肉弾三勇士」
	株式会社momocan	『君が好きな日と（仮）』
	株式会社Don-crew	劇団プレステージ第22回公演『シニタイ ウィズ ヴァンバイア』
	あひるなんちゃら	あひるなんちゃら 2025年秋公演「タイトル未定」
	LiveUpCapsules	穿つ泡（うがつあわ）
	EPOCH MAN	『CLOSET（仮）』
	株式会社アイオーン	ゴドーダブル『ゴドーを待ちながら』『ゴドーを待ちながらを待ちながら』同時上演
	一般社団法人ハチノス	ONEOR8「ママごと」
	合同会社syuz'gen	サファリ・P第11回公演『悪童日記』
	劇団ノックステージ	劇団ノックステージ新作公演「交差点のパラレル（仮）」
	一般社団法人マレビト	マレビトの会『皿の上の見えない人間 - invisible woman on the plate（仮）』
	ラビット番長	ラビット番長 第67回公演「成り果て」
	一般社団法人深海洋燈	戦争で死ねなかったお父さんのために
	エブリモメント合同会社	THEATRE MOMENTS「遺すモノ～檜山節考より～」10周年記念公演
	無限のネコ定理	無限のネコ定理第5回公演『崩壊と再生』
	劇想からまわりえっちゃん	劇想からまわりえっちゃん
	一般社団法人新宿梁山泊	新宿梁山泊 第80回公演『恭しき娼婦』
	劇場企画タイオン	theater TAION plan.05『何もできない男の子と何も持たない女の子』
	なかないで、毒きのこちゃん	なかないで、毒きのこちゃん「かこちゃんの後悔」
	無情報	無情報本公演vol.10『B列車でいこう（仮）』
	有限会社モード	ブンティラ旦那と下男のマッティ
	サンハロンシアター	サンハロンシアター第27回公演「今日は、これくらい」
	東京戯園館	起源論
	PSYCHOSIS	PSYCHOSIS File:009『新撰組IN1944』
	COoMOoNO	COoMOoNO2025年秋公演
	アンティークス	アンティークスVintage33
	アナログスイッチ	アナログスイッチ23rd situation『寝不足の高杉晋作』
	ガガ	大ガガ#3『夜（銀河鉄道）』（仮）
	あ・うん・ぐるーぶ	あ・うん・ぐるーぶ 2025年第12回公演 —『紅葉山緋恋』『神楽坂物語』上演事業—
	株式会社オフィス ワン・ツー	ワンツーワークス#43 シリーズ「時代を見つめる」①『仙人草の凱歌 イン・ヨーロッパ』
	株式会社カザミアエンターテインメント	Casa Mia Dance Performance 2026 -special edition-
	ワハハ本舗株式会社	WAHAHA本舗PRESENTS 我膳導をおもしろがる会vol.5「探偵失格」
	モリマリキョウノツドイ	モリマリキョウノツドイ公演『ハンシャノツドイ』
	Quno	舞台『増える部屋』
	有限会社アップタウンプロダクション	劇団 山の手事情社 公演『葵上』
	mtp	シアタートラム・ネクストジェネレーションvol.17 ーフィジカルー 高橋萌登・MWMW 新作公演『どこにもない場所』（仮）

Ⅱ. 芸術文化の支援

分野	申請団体名	申請事業名
演劇、舞踊・舞踏	合同会社ブランブル	『坊や、花火だ。逃げろ、空が燃え上がる』（仮）
	株式会社文学座	文学座3月アトリエの会「Fefu and Her Friends」
	青☆組	青☆組 vol.27 劇団化15周年記念公演 第一弾『星降る教室』
	グラシアス小林フラメンコ舞踊団	Nuestro Maestro: Olas del Alma
	電光列車	電光列車 第20回本公演『リッチマン・ブギ』
	合同会社他力	モモンガ・コンプレックス20周年スペシャルライブ「わたしたちは、そろっている。」（仮）
	株式会社サンモールスタジオ	カンパーナ・プロジェクト第2回公演 ミュージカル『アリスの翼』
	あやめ十八番	あやめ十八番 第十八回公演 草創記『金鶏 一番花』
	株式会社コムレイド	『大根仁×山下敦弘×赤堀雅秋』企画 <赤堀雅秋一人芝居> （第2弾）
	Interdisciplinary Art Festival Tokyo	犬とハエと日本語教師
	サロン劇場	サロン劇場朗読公演 近代能楽集「弱法師」「班女」
	有限会社マジェスティック	平富恵スペイン舞踊団公演「FLAMENCO SPAIN～フラメンコ スペインの粋と情熱～」
	公益財団法人日本舞台芸術振興会	Choreographic Project 2026
	ジュニアファイブ	演劇企画集団 Jr.5第17回公演「おもいよる」（仮）
	東のボルノイ	ウテルス
	終のすみか	終のすみか「Apartment #803（仮）」
	株式会社アプチーズ	NEO 阿波踊り集団「寶船」30周年記念ライブ at 渋谷ストリームホール
	合同会社人間の条件	人間の条件新作公演『天照と倭姫命』
	Mido Labo	Mido Labo vol.20「この世の春」
	合同会社 JACROW	JACROW #38「THIS HOUSE（原題）」
伝統芸能	一般社団法人帝国華道院	和の文化「いけばな」を知る・楽しむⅣ
	特定非営利活動法人 ACT.JT	桜楽2026
	洩花之能	第十三回洩花之能
	七葉會	宝生流能楽公演 第六回七葉會 能「融」—月の様相を探る—
	日本舞踊藤村流	藤村藤之輔 爽秋舞踊特別公演
	蒼天	第六回 蒼天公演
	合同会社菊太楼事務局	三遊亭遊雀・古今亭菊太楼 べらぼう二人会 in 吉原
	NHK 邦楽技能者育成会による現代邦楽“考”	第七回 現代邦楽“考”
	一般社団法人一乃会	第25回一乃会
その他複合的な舞台芸術活動	一般社団法人アーティストコロガ協会	The Cocktails「ト占」区民合同公演
	AGAXART	北斎漫画舞踏『天水』
	株式会社碗	第15回本公演マルデ音楽劇『ヒルコの御戻り（仮）』
	林佑樹の會	奇譚 妖狐玉藻前～殺生石～
	一般社団法人ジャパンイリュージョンエンターテインメント協会	チームウィズ 夢と魔法の足立公演8「ハロウィーン マジカル パーティー-5」
	PRAY▶	超攻撃型新派劇×ロックンロール「どん底」
	一般社団法人あびラッキー	下北沢スパイシー・ストーリーズ
	板橋区演奏家協会	板橋演奏家協会 第129回ライブリーコンサート いたばし区民参加ProjectXXII オペラ「カルメン」全4幕 原語上演 字幕付き
	エリア51	音楽演劇「光かもしれない」（仮）

②第2期

- ・対象期間：令和7（2025）年12月20日以降に開始し、令和8（2026）年7月31日までに終了する事業
- ・申請件数：239件
- ・採択件数：143件
- ・交付決定額：129,203,000円

分野	申請団体名	申請事業名
音楽	Musica Neve	光が差し込むその一瞬を求めて『Skylight』ピアノで描く似顔絵即興コンサート
	P. A. TOKYO株式会社	木戸口歌穂ソロコンサート"My Soundtrack"
	有限会社アスクミュージック	新沢としひこ NEWアルバム発売記念コンサート
	ラ・コンパニー・ダッシュ	イルドジャンソン vol.13 ～5月の薫風にのせて～
	株式会社クロスロードミュージック	東京昭和ロックナイト
	東京現音計画	東京現音計画 #25～ミュージシャンズセレクション9：黒田亜樹 featuring 高橋修治（仮題）

分野	申請団体名	申請事業名
音楽	一般社団法人東京室内管弦楽団	平日マチネ Orchestra de Salon クラシカル・シネマ
	つづく奏	湯川潮音「choral」～with Kokubunji Junior Music Theater
	うたのヤツら	バッハとの対話 -Dialog- モテットミニコンサート
	特定非営利活動法人芸術文化ワークス	MUSIC DAY IN KUNITACHI「メタ・クセナキス」
	一般社団法人全日本合唱連盟	どこからか言葉が一谷川俊太郎、うたの地平へー
	レ・ロマネスク	25周年シリーズ TOKYO コンサート（仮）
	こくフェス実行委員会	こくフェス ～E環境で、E音楽を！～
	2 Dimension Ensemble	Nocturne plus R
	DolceAmaro	DolceAmaro 第10回公演 チブリアーノ・デ・ローレのマドリガーレ あるいは 神の如きチブリアーノ
	日本イタリア古楽協会	アレッサンドロ・スカルラッティ没後300記念 一演奏会と講演会ー
	AKIコンサート企画	子どもたちに贈るクラシックコンサート vol.3
	町田にベイベーシアターを広げる会	ベイベーシアター「歌子さんの初めてのコンサート」
	とういんくるん♪	親子でひらく音のとびら ～クラシックと出会うコンサート～
	せたがやキッズコンサート実行委員会	せたがやキッズコンサート in しもきたざわ とんとん、からん 森の音
	合同会社ビッグバンミュージック	Year End Live at B-flat 2025
	Office Yokota（オフィスヨコタ）	クニ三上トリオ・午後ジャズ
	株式会社カモシタピアノ	三原末紗子ピアノ・リサイタル ～色彩の記憶～
	菅原兄弟	菅原兄弟コンサートシリーズ2026
	有限会社ロバハウス	「ガランピーな音楽会」
	ルロット・オーケストラ	ジャンル横断イベント「伝統×ポップス×クラシックの夜」
	有限会社アイ・エー・ダブル	創作オペラ「ザ・ラストクーン」2026 in TOKYO
	株式会社NOTELESS	THE STAR CLUB SUMMER SPECIAL 2026「SC89×SC21・狂瀾怒濤」
	一般社団法人Cabinet of Curiosities	New Curiosities
	酔シグレ	朗読劇×ライブ「僕の譚詩曲を聴いて」（仮題）
	オフィス・ゼロ	Arts in Everyday 2026 — ジョン・ケージとオノ・ヨーコ
	The Ladies' Vocal Artists Antheia	The Ladies' Vocal Artists Antheia 第10回演奏会
	Brass Ensemble ZERO TOKYO	第11回公演 Brass Ensemble ZERO Tokyo with イエルーン・ベルワルツ（仮題）
	アリオト	アリオト vol.33 ～影向の松～
	Novanta Quattro	Novanta Quattro コンサートシリーズ Vol.1 作曲家・永井みなみ
	株式会社ボンテンボ	WOODSHOP SESSIONS FESTIVAL
	モーツァルトの音楽をたのしむ会 小金井	プロフェッショナルズ オーケストラ多摩 第11回新春コンサート
演劇・舞踊・舞踏	KASSAY 合同会社	薦屋重三郎最後の賭け からくり写楽
	ハツピロコウ合同会社	ハツピロコウ#20『ロスマルスホルム』
	JAPLIN	JAPLIN vol.21『朋友』
	劇団いいのか・・・？	劇団いいのか・・・？第九回公演「君が眉毛を剃った日」
	劇団Dotoo!	真夜中図鑑
	劇団道学先生	劇団道学先生 劇団員企画公演「裸足」
	合同会社太陽マジック	TAIYO MAGIC FILM 番外公演 vol.3「ウェディング・ドレス」
	conSept 合同会社	LiteraTheater vol.1『誰かひとり／回復する人間』
	合同会社SAI	SAI Dance Festival 2026 EXHIBITION I & II
	アンティークス	アンティークスVintage34
	株式会社ティーファクトリー	『路上8』
	劇団皇帝ケチャップ	劇団皇帝ケチャップ第21回本公演「春に思い出す、夏の君はもう遠く」
	O企画	O企画 2nd stage「いろはにほへと」と哲学対話（仮）
	合同会社シンゲキダン	劇団新劇団 第12回本公演 BACK TO THE 12夜（仮）
	一般社団法人宇宙カルチャー推進協会	演劇ユニット☆宇宙食堂「銀河系ホームレス」
	無情報	新情報「その女、微動だにせず。」
	劇団水中ランナー	劇団水中ランナー 第18回公演「先の綻び」
	劇団フライングステージ	gaku-GAY-kai 2024 廣作 真面目が肝心
	キ上の空論	キ上の空論『海辺の私たちはR-18』
	劇団タテヨコ企画	タテヨコ企画第48回公演『野々村良枝の失踪（仮）』
	有限会社椿組	椿組2026年春公演「じべた」

Ⅱ. 芸術文化の支援

分野	申請団体名	申請事業名
演劇、 舞踊・ 舞踏	気晴らしBOYZ	気晴らしBOYZ本公演
	果てとチーク	果てとチーク・めぐる公演『きみはともだち』
	特定非営利活動法人アートイン Asibina	感じることから始まる、未来へのエコアート
	DEVIATE.CO	寿ぎ万来2026
	一般社団法人深海洋燈	熱海殺人事件～売春捜査官～
	一般社団法人流山児カンパニー	流山児★事務所2026 日本アングラの原点 vol.1 『青森県のせむし男』
	有限会社自由劇場	フライングシアター自由劇場「豪華客船タイクツニック号沈没」
	子どもSUN企画	「せんそうってなに？」(仮)
	一般社団法人チーム・クレセント	チーム・クレセント第8回公演 歩きはじめる時
	グッドディスタンス	グッドディスタンスpresents/ 季真♂組『好きなだけじゃダメですか (仮)』
	team キーチェーン	team キーチェーン第21回公演「虚しく生きて満ちて歸る (仮)」
	株式会社UMU	Beyond Chiq
	ライフアートユニオン	創作能上演プロジェクト～世界の神話を巡る～
	株式会社群像	俺は見た 第八回「(仮) 性 (サガ)」
	High-Card	RERISE project03 幕末群像 凶南鵬翼 祭宴
	株式会社 Cue Company	劇団 TipTap 12月公演『A Civill War Christmas』
	演劇プロデュースユニット ムシラセ	煙の汽水域
	MEMELT	MEMELT #5「おいしいディストピアの作り方」(仮)
	Uプロデュース	劇団チャイ。第4回公演「息もできない」(仮)
	劇団KⅢ	劇団KⅢ番外公演「ソレデモ世界ハマワッテイル」
	有限会社アップタウンプロダクション	劇団 山の手事情社 ニュージェネレーション公演『タイトル未定』
	順風男女	順風男女コント公演2026「10万匹ワンちゃん」
	ポッキリくれよんズ	ポッキリくれよんズ 第10回公演『劇的』
	有限会社ティコ・ディコ	時々自動公演『終盤戦観戦』前哨戦②
	朱の会	朱の会 Vol. 9 朗読まつり
	7度	第15回せんがわ劇場演劇コンクール『グランプリ』受賞公演
	Kingfisher 合同会社	Kingfisher プロデュース Vol. 3 『MOTHER』
	劇団イン・ノート	劇団イン・ノート「イン・ノート万博」
	株式会社スペースノイドカンパニー	『The Standard Short Long Drop』
	海ねこ症候群	海ねこ症候群 第9回公演 「プレイス・リバティ」再演版
	劇団スポーツ	劇団スポーツ #13『惑星Bb』
	Baobab	Baobab 第17回公演『ゆれ』
	一般社団法人幻都	またここか
	バストリオ	バストリオ『セザンヌによろしく!』再演
	合同会社ゆうめい	リーディング・ツアー『あわせて』
	プティビジュール	音楽劇『mobile』～僕と兄貴とジャックと豆の木～
	劇団しようよ	劇団しようよ 15周年記念公演 第1弾『ネザー (Su) ポット』
	優しい劇団	吉祥寺シアターpresents 優しい劇団の武蔵野演劇祭2026
	PANCETTA	PANCETTA REMAKE "Moon"
	株式会社アリー・エンターテインメント	片肌☆倶利伽羅紋紋一座「ざ☆くりもん」第34回公演『吉原端唄』
	滋企画	第4回滋企画『(タイトル未定)』
	一般社団法人コニエレニ	サブテレニアン20周年メモリアル サイマル演劇団+コニエレニ『日記』(仮)
	一般社団法人 Myrtle Arts	『鴨居に朝を刻む』
	ワハハ本舗株式会社	WAHAHA本舗PRESENTS 大江戸ワハハ本舗・娯楽座「タイトル未定」(仮)
	演劇集団・東京ストーリーテラー	演劇集団・東京ストーリーテラー2026年春公演 『リコリス～夏水仙～』
	株式会社スーパーエキセントリックシアター	小宮孝泰プロデュース「騙し騙され」(仮題)
	TeXi's	TeXi's 新作公演『未定』
	GORE GORE GIRLS	GORE GORE GIRLS 2026年2月 第17回公演『2月に思い出したこと (仮)』
	半畳の宇宙	半畳の宇宙 公演『マクベス』再演 ～星を継ぐものたちより～ (仮)
	みそじん	みそじん第8回公演
	劇団 zzZ°	劇団 zzZ° 第9回公演『フランドン中学校2年3組豚がいた教室』
	ソラカメ	ソラカメ第12回公演「きっと世界は終わらない (仮)」

分野	申請団体名	申請事業名
演劇、 舞踊・ 舞踏	株式会社劇団ホチキス	劇団ホチキス第52回本公演「ペイビーブラフ」
	キルハトッテ	キルハトッテ vol.6『ガラバゴス』
	青☆組	青☆組 vol.28 劇団化15周年記念公演 第二弾『パール食堂のマリア』
	M C R	M C R2026年5月本公演
	ガガ	小ガガ#5『理由(∞)』(仮)
	宮崎企画	ムニ『巨体』
	電光列車	電光列車 第21回本公演『コインランドリー・ペイペー-無人空間の中に人がいるんだぜ-』
	品川親不知	第3回 品川親不知 コントライブ
	かまどキッチン	不安の街、横切る。
	株式会社南極	南極第9回本公演『ホネホネ山の動物』
	グラシアス小林フラメンコ舞踊団	NUESTRO MAESTRO: Susurro del Duende Flamenco Live 2026
	・エコツミ・プロジェクト	アートパフォーマンス「神々の残響」
	演劇企画イロトリドリノハナ	演劇企画イロトリドリノハナ Vol.6『Airswimming エアスイミング 2026』
	東のボルゾイ	東のボルゾイ第九回公演 三人芝居ミュージカル『タイトル未定』
	劇団チャリT企画	劇団チャリT企画 #40
	Office8次元	近代日本文学新説上演 第三弾「新版・人間失格(仮)」
	合同会社T A A C	TAAC コロナ禍青春群像劇二部作「世界が消えないように」再々演&新作「世界のために(仮)」
	ブルーエゴナク	ブルーエゴナク 新作「エア-知らない人の胸の中でねむりたくなる」(仮)
	南京豆 NAMENAME	南京豆 NAMENAME 第11回公演「私をカムカム助けてジャニス(仮)」
	株式会社クラーク	びんころ刑事
	劇団HOTSKY	「ミカンの花が咲く頃に」2026
	ザジ・ズー	ザジ・ズー現代原作劇場
	一般財団法人谷桃子バレエ団	(仮称) TMB NEXT GENERATION PERFORMANCE
伝統芸能	和楽器アンサンブル真秀	第二回 岡村慎太郎 地唄箏曲演奏会
	常磐津八重太夫の会	「日本の響・江戸浄瑠璃と日本舞踊 庶民の憩・落語と演曲のフェスティバル」
	有限会社オフィスミヤガワ	観ノ会第九回公演「頼政」
	チリカラ伍	第4回 チリカラ伍 特別公演
	株式会社東急文化村	「渋谷能 第三夜」喜多流
	黎明の会	第三回黎明の会
	合同会社菊太楼事務局	被爆81年目 広島・長崎、あの日を忘れないための演芸会 日本から世界へ
	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	旗揚げ390周年記念公演第三弾「伽羅先代萩～花水橋から床下まで～」
その他複合的な 舞台芸術活動	有限会社東京オペラ	東京ヴァレッツ室内オーケストラ第4回公演「コシ・ファン・トゥッテ」
	チャーム・ポイント	「ホッテントットエプロンスケッチ」生演奏上映会

※申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

14

東京芸術文化鑑賞サポート助成

【事業概要】

誰もが芸術文化を楽しむことができる社会を実現するため、芸術文化事業を実施する民間団体等によるアクセシビリティ向上を目的とした取組の実施に係る経費を、150万円を上限額として実費支援する。また、世界陸上・デフリンピックの機運醸成として、上限300万円の支援も行う。

【事業趣旨（目的）】

鑑賞サポートを必要とする鑑賞者・参加者に対する鑑賞支援の取組事例を増やし、芸術文化に触れるきっかけを生み出すとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上の必要性について、広く社会全体に普及していくことを目指す。

【採択概況】

当該助成は令和6（2024）年度に新設され、令和7（2025）年度は2年目となる。申請件数は123件。鑑賞サポートに対する理解度、実現性、継続性などの視点に基づき審査した結果、103件を採択した。

〈令和7（2025）年度実績〉

- ・対象期間：令和7（2025）年7月1日以降に開始し、令和8（2026）年6月30日までに終了する事業
- ・申請件数：123件
- ・採択件数：103件
- ・交付決定総額：160,052,461円

〔内訳〕

通常枠

- ・申請件数：83件
- ・採択件数：71件
- ・交付決定額：79,652,139円

申請団体名	申請事業名
一般社団法人ハイドロプラスト	「ケアと清掃」展 2025
ギャラクシティ指定管理者みらい創造堂 代表企業ヤオキン商事株式会社	浅野温子よみ語り「じんがんなわ 500年目玉」(仮)
JAPLIN	① JAPLIN vol.20 『ボーダーライン』 ② JAPLIN vol.21 『いつか海を渡って』
有限会社名取事務所	① 演劇公演「カタブイ、2025」 ② 演劇公演「女達のボルクマン」 ③ 演劇公演「四番目の人」
株式会社キョードーファクトリー	千住宿400年記念公演 林家正蔵 LIVE～江戸時代に時間旅行～
タカハ劇団	帰還の虹
合同会社ボトフ企画	①「走れ☆星の王子メロス」世田谷パブリックシアター改訂上演 ② ファミリーサーカス「サー☆カスⅡ」2026 (仮) ③ Play for child～童話の世界をみんなでつくろう！～
MAO WORKS	① MAO WORKS 04 『不在の彼らはそこにいる』 ② MAO WORKS 05 音楽劇『ちきゅうにやさしい2かいだてのびんくのおうち』
無情報	無情報本公演 vol.10 『B列車でいこう (仮)』
SP/ACE=project	ヴェニス商人 CS
株式会社 Don-crew	劇団プレステージ第22回本公演『シニタイ ウィズ ヴァンパイア』
尾上右近事務所	尾上右近自主公演 第九回「研の會」
有限会社オペラシアターこんにゃく座	①オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ『変身』新演出 ②オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ『歌え！比羅夫丸』新作初演
一般社団法人東京演芸協会	①多流寄席～『東京演芸協会』VS『人力舎』～ ②多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『ピクチャーミュージックアーツ』～ ③多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『ラフィーネプロモーション』～ ④多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『浅井企画』～ ⑤多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『ケイタッシュステージ』～ ⑥多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『立川流』～ ⑦多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『松竹芸能』～ ⑧多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『サンミュージックプロダクション』～ ⑨多流寄席～『東京演芸協会』VS (仮)『タイタン』～
いいへんじ	われわれなりのロマンティック

申請団体名	申請事業名
有限会社劇団俳優座	①劇団俳優座 特別公演戦争とは…Vol.31『ボーイ・オーバーボード ～少年が海に落ちたぞ!』 ②劇団俳優座公演 No.360『霧ぬけて』 ③劇団俳優座公演 No.361『存在証明(仮)』 ④劇団俳優座LABO公演Vol.42『100歳の少年と12通の手紙』『ペイビーティース』 ⑤劇団俳優座No.362『Farm Hall』
アナログスイッチ	①アナログスイッチ22nd situation『伊能忠敬、測り間違えた恋の距離』 ②アナログスイッチ23rd situation『寝不足の高杉晋作(再演)』
Room Kids	現代サーカス公演『トゥ・ルート・ディレクトリ』
株式会社ワインライス	新宿歌舞伎町春画展
株式会社こまつ座	①こまつ座第154回『父と暮せば』 ②こまつ座第155回『きらめく星座』 ③こまつ座第156回『泣き虫なまいき石川啄木』 ④こまつ座第157回『国語事件殺人辞典』 ⑤こまつ座第158回『花よりタンゴ』
有限会社石井光三オフィス	石井光三オフィスプロデュース「ザ・ボルターガイスト」
株式会社劇団民藝	①劇団民藝公演「聴衆0の講演会」 ②劇団民藝公演「ンライケイタ新作(仮題)」 ③劇団民藝公演「風紋2026(仮題)」 ④劇団民藝公演「グレイクリスマス」 ⑤劇団民藝公演「泰山木の木の下で」
一般社団法人阿佐ヶ谷スパイダース	①阿佐ヶ谷スパイダース『さらば黄昏』 ②阿佐ヶ谷スパイダース『ベックとスメル秘密基地』
株式会社ヒューマンデザイン	音楽座ミュージカル「リトルプリンス」
有限会社劇団朋友	劇団朋友スペース公演vol.8 カラフルー私の息子は“弁護士夫”ですー
株式会社オボス	ヨーロッパ企画第44回公演「インターネ島エクスプローラー(仮)」
一般社団法人清流劇場	清流劇場2025年10月公演『キュクロプス ―貧民街の怪物』
一般社団法人幻都	ヘヴンアイズ
公益財団法人古代オリエント博物館	タイムスリップ! 古代オリエントの世界
株式会社二兎社	二兎社公演49『狩場の悲劇』
有限会社劇団青年座	①劇団青年座第262回公演『柿紅葉のころ』 ②劇団青年座第263回公演『レビュー(仮)』 ③劇団青年座第264回公演『上海の悪漢(仮)』
エブリモーメント合同会社	THEATRE MOMENTS「遺すモノ～檜山節考より～」10周年記念公演
特定非営利活動法人東京こどもホスピスプロジェクト	国際小児がんデーコンサートと絵画展
株式会社梅田芸術劇場	①ミュージカル『マタ・ハリ』 ②ミュージカル『ISSA IN PARIS』
株式会社ラックスエンタープライズ	女流寄席(仮)
ニューセレクト株式会社	映画『NAME ME LAWAND』(原題)
株式会社ティーファクトリー	ロンリー・アイランド
東宝株式会社	ミュージカル『エリザベート』
ウキヨホテルプロジェクト合同会社	ミュージカル『走れメロス』
株式会社イープラス	舞台『シッダールタ』
SPUTNIK	すみだみらいアーティストプロジェクトVol.2「隅田川カブリッチョ!」
片岡自動車工業	片岡自動車工業 本公演「エターナルチルドレン」「ツキカゲノモリ」二本同時上演
Onpuma	Onpuma 新作パフォーマンス「How to Make a Love Song」
株式会社Asterism	①ディアナ・ジバ ヴァイオリンリサイタル-ジョルジェ・エネスク 没後70周年記念- ②ルーマニアのクリスマス
Stokes/Park	ストスバ 6th ~Story of Yoichi Hokkaido~「フゴッペ洞窟の翼をもつ人」
特定非営利活動法人劇団印象indian elephant	藤田嗣治～白い暗闇～
デフフェス実行委員会	Deaf Fest 2025
ボウジュ	ボウジュVol.2「Dawnstate」
ピクチャーミュージックアーツ株式会社	①Wonderwave お笑いライブVol.70～中波～ ②Wonderwave お笑いライブVol.71～中波～ ③V-1グランプリ2026 ④Wonderwave お笑いライブVol.72～中波～ ⑤Wonderwave お笑いライブVol.73～中波～
トリブ・カンパニー	フルート3本と箏と打楽器による煌めき新春コンサート
ひと夏の冒険出版	映画「ライフ・イズ・ビューティフル・オッケー」
横浜ボートシアター	「新版 小栗判官・照手姫」座・高円寺公演
義庵	義庵 6th ACT 東野圭吾「容疑者Xの献身」(文春文庫)
合同会社world theater company	世界劇団2025年ツアー「零れ落ちて、朝」
牧羊犬	映画「美晴に傘を」上映会

Ⅱ. 芸術文化の支援

申請団体名	申請事業名
滋企画	第4回滋企画『(タイトル未定)』
BOW	BOW18th『マクベス～平将門の乱』
KAI芸術企画	ユニバーサルデザインコンサート-HIMAWARI-
お布団	ヘカベ仮
荒川区地域魅力発信実行委員会	荒川区地域魅力発信映画「あらかわミラクルLOVE！」上映会
松竹株式会社	新春浅草歌舞伎
ヒコ・カンパニー	①ヒコ・カンパニー『バラバ』 ②ヒコ・カンパニー『エレクトラ-ELEKTRA-』
株式会社劇団BDP	ミュージカル「しあわせの青い鳥」
株式会社リコモーション	リーディングアクト「一富士茄子牛焦げルギー」
クリスタル	クリスタル 2025クリスマス公演
合同会社syuz'gen	サファリ・P第11回公演『悪童日記』
学校法人慶應義塾	①アート・アーカイヴ資料展XXVIII：没後40年記念「Butoh Scores 一土方巽の振付」(仮) ②三田キャンパスの建築プロムナード 彫刻を楽しむ
conSept 合同会社	①SERI〜ひとつのいのち ②LiteraTheater1 誰かひとり／回復する人間
株式会社ふればり	映画『長崎ー閃光の影でー』
ウンゲツィーファ	演劇公演『8hのメビウス』
公益財団法人いわさきちひろ記念事業団	ちひろ美術館・東京における、手話通訳付き対話型ギャラリートーク

2025機運醸成枠

- ・ 申請件数：40件
- ・ 採択件数：32件
- ・ 交付決定額：80,400,322円

申請団体名	申請事業名
EPOCH MAN	我ら宇宙の塵
有限会社自由劇場	フライングシアター自由劇場 第6回公演「西に黄色のラブソディ」
株式会社文学座	①文学座9月アトリエの会『野良豚 Wild Boar』 ②文学座公演『華岡青洲の妻』
株式会社ネルケプランニング	2025年9月公演
エイベックス・ライブ・クリエイティブ株式会社	①「ロボコン」舞台化(仮) ②タクフェス第13弾『くちづけ』
株式会社ホリプロ	①舞台「チ。ー地球の運動について」 ②「デスノート THE MUSICAL」
株式会社東急文化村	①Bunkamura Production 2025『アリババ』『愛の乞食』 ②Bunkamura Production 2025/DISCOVER WORLD THEATRE vol.15『リア王』 NINAGAWA MEMORIAL ③「渋谷能 第二夜」宝生流
株式会社TBSテレビ	舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』
公益財団法人日本オリンピック委員会	企画展「東京2025世界陸上&東京2025デフリンピック展」(仮)
阪急電鉄株式会社	東京宝塚劇場月組公演 三井住友VISAカード ミュージカル『GUYS AND DOLLS』
一般社団法人TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY	T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2025
公益社団法人日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト「日本の劇」戯曲賞2024 佳作リーディング公演『海ではないから』『Dive』
アイナナ製作委員会	アイドルリッシュセブン First BEAT! 劇場総集編
映画『トリツカレ男』製作委員会	トリツカレ男
合同会社口口	Podcast演劇『まれな人』
株式会社バンダイナムコフィルムワークス	特別編集版『機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ ウルズハント-小さな挑戦者の軌跡-』
特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク	①劇場へいこう！『小さな王子さま』 ②劇場へいこう！『夏の夜の夢』 ③ピアノと物語『トロイメライ』『ジョルジュ』
ストミック	世田谷パブリックシアター フィーチャード・シアター ストミック『彼方の島たちの話』
一般社団法人東京ビエンナーレ	東京の地場に発する国際芸術祭「東京ビエンナーレ2025」
株式会社アミューズクリエイティブスタジオ	①ここが海 ②ミュージカル「マリー・キュリー」

申請団体名	申請事業名
合同会社 Chupki	①デフリンピック応援！ Deaf CINEMA リレーA ②デフリンピック応援！ Deaf CINEMA リレーB ③デフリンピック応援！ Deaf CINEMA リレーC ④聴覚障害者と共につくる字幕付きダイバーシティ映画上映 ⑤『みんな、おしゃべり！』ユニバーサル上映 de みんなとおしゃべり！
株式会社 momocan	『君が好きな日と（仮）』
一般社団法人日本ろう芸術協会	①手話のまち 東京国際ろう芸術祭 舞台公演・パフォーマンス ②手話のまち 東京国際ろう芸術祭 パネルディスカッション、トーク、解説 ③手話のまち 東京国際ろう芸術祭 映画上映
株式会社 JG	おばちフェス歌舞伎町タワー初野外SP!
株式会社 KADOKAWA	劇場アニメ「この本を盗む者は」
株式会社 NHK エンタープライズ	劇場公開映画「Ryuichi Sakamoto: Diaries」
日活株式会社	劇場用映画『フジコ・ヘミング 永遠の音色』
アスミック・エース株式会社	映画『楓』
東映株式会社	①「港のひかり」 ②「ベリリユー ー楽園のゲルニカー」
株式会社 ワイ・プランニング	ユニバーサル・シネマ・デイ (Universal Cinema Day) 2025
株式会社 ハビネット・メディアマーケティング	映画『星と月は天の穴』
シンエイ動画株式会社	トリツカレ男

15 東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会

【事業概要】

実施日 令和7（2025）年12月18日（木）19:00～21:00
 実施場所 アーツカウンシル東京会議室
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
 入場者数 45人

【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年度に開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成】の採択団体による、公開型の活動報告会。助成対象事業の成果及び団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成の紹介と広報につなげる。事業を実施した団体自身によるプレゼンテーションにより、記録写真や映像、活動データ等とともに助成対象事業を振り返った後、コメンテーターと登壇者による対談や参加者からの質問も交えながら、トークセッションを行った。

【実施状況】

プログラム名	アーティスト名	内容	入場者数（人）
第19回 文化生態かんさつ ～創作の在り方と多 様性について、時間・ 空間・人間（じんか ん）から考える～ 【①令和3（2021） 年度採択：活動 期間3年間】 【②令和4（2022） 年度採択：活動 期間3年間】	報告団体（事業名）： ①円盤に乗る派 （円盤に乗る場） ②合同会社UPN （テラジア 隔離の時代を旅す る演劇） 報告者： ①カゲヤマ気象台（代表／劇作 家・演出家）、日和下駄（プロ ジェクトメンバー／俳優） ②坂田ゆかり（代表／演出家）、 稲継美保（出演／俳優） コメンテーター： 大澤寅雄（合同会社文化コモン ス研究所 代表・主任研究員）	〈概要〉 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅡ長期助成の助成対象となった2団体に登壇 いただき、各助成対象事業の取り組み、成果や課題、アイデア等を共有する報告会 を実施した。 当日は本助成プログラムに興味がある方やアーツカウンシル東京の助成採択事業者 のほか、舞踊、演劇、音楽分野等のアーティストやフリーランスの制作者、文化財 団関係者などさまざまな立場の方が参加した。情報保障として手話通訳とUDトー クを使用したほか、情報共有及び議論を可視化する目的でグラフィックレコーディ ングも行った。 【第1部】 各団体の紹介をはじめ、助成対象事業の実施背景や企画意図、活動内容を説明し、 事業の成果や課題を共有した。 【第2部】 「創作の在り方と多様性」というテーマを設定し、コメンテーターに大澤寅雄氏を 迎えて登壇者とトークセッションを行った。コメンテーターからの質問や登壇者同 士での問いかけと応答を行い、創作活動について話し合った。最後には、登壇者・ 来場者の歓談時間を設け、交流や情報交換の機会とした。	45

16

東京芸術文化相談サポートセンター
「アートノート」

【事業概要】

- 実施期間** 令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所 オンライン等
主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
規 模 等 （1）相談窓口
 ①相談窓口対応件数：1,205件
 ②出張相談対応件数：106件（5イベントに出張、計10日）
 （2）情報提供
 ①公式ウェブサイト：閲覧数 延べ198,759回
 ②公式note：閲覧数 延べ99,083回
 ③公式LINE：閲覧数 延べ42,930回
 ④リーフレット等：1,067か所、28,576枚を配布
 （3）スクール
 申込者・動画視聴回数 11,493

【事業趣旨（目的）】

東京都内で活動するアーティストやあらゆる芸術文化の担い手の持続的な活動を支援し、新たな活動につなげるプラットフォーム。オンラインを中心に、専門家等と連携しながら、お悩みや困りごとに対応する「相談窓口」、活動に役立つ情報をお届けする「情報提供」、活動に必要な知識やスキルを提供する「スクール」の3つの機能で総合的にサポートする。

【実施状況】

（1）相談窓口

対応日数	対応分野	対応内容	対応件数(件)
4/1～3/31の平日 (12/29～1/3を除く) 242日	文学、音楽、美術、写真、演劇、 舞踊、メディア芸術、伝統的な芸能、 芸能、生活文化など	法務（著作権、契約を含む）、会計・税務、助成金、活動資金、ビジネススキル・広報、法人化・法人運営、ハラスメント・コミュニケーション、ヘルスケア、活動場所、ステップアップ、アクセシビリティなど	1,205

（2）出張相談

開催日	出張先	対応件数(件)
10/4,5	東京舞台芸術祭「Performing Arts Base 2025」（主催：東京舞台芸術祭実行委員会〔東京都、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）〕、一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク／会場：東京国際フォーラム）	8
10/11～13	MEET YOUR ART FESTIVAL 2025（主催：東京都、MEET YOUR ART FESTIVAL 実行委員会／会場：WHAT CAFE）	10
12/13,14	TOKYO ART BOOK FAIR 2025（主催：一般社団法人東京アートブックフェア、東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）／会場：東京都現代美術館）	13
1/17,18	ART JOB FAIR 2026（主催：株式会社 artness／会場：TODA HALL & CONFERENCE TOKYO HALL B）	71
3/28	第15回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ（主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）／会場：東京芸術劇場）	4

Ⅱ. 芸術文化の支援

(3) スクール

開催時期	講座名	講座タイトル	講師等	実施回数	申込者数・動画視聴回数
7/16～1/20	ハラスメント防止講座	現場実践編	植松侑子（舞台芸術制作者、上級ハラスメント対策アドバイザー）	6	1,209
		相談対応ワークショップ※1	植松侑子（舞台芸術制作者、上級ハラスメント対策アドバイザー）		
		分野別実践編※2	坂本もも（一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク（JPASN）理事、合同会社範宙遊泳代表・範宙遊泳プロデューサー、ロコ制作）		
		相談対応編 レクチャー ※2	植松侑子（舞台芸術制作者、上級ハラスメント対策アドバイザー）		
		ストレス・マネジメント編※2	徳政憲和（マイコーピング株式会社 代表取締役社長、産業カウンセラー）		
		基礎知識 法務編※2	寺内康介（骨董通り法律事務所 弁護士、神戸大学大学院法学研究科非常勤講師）		
7/18～9/1	アクセシビリティ講座	基礎知識：アクセシビリティを知る	鈴木智香子（独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 研究員）	4	2,546
		創造活動におけるアクセシビリティとは（前編）	田中みゆき（キュレーター、アクセシビリティ研究、社会福祉士）		
		創造活動におけるアクセシビリティとは（後編）	arts accessibility lab: 片岡亮太、中谷優希、南雲麻衣、森田かずよ、山崎有紀子、田中みゆき		
		芸術文化のアクセシビリティの可能性※2	塩瀬隆之（京都大学総合博物館 准教授）		
7/24～10/2	ファンドレイジング講座	芸術文化団体の持続的な活動支援第1回「助成金の活用の基礎知識」※2	山田泰久（公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事）	5	392
		芸術文化団体の持続的な活動支援第2回「芸術文化分野の助成金情報の紹介」※2	山田泰久（公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事）		
		助成団体合同説明会※1	アーツカウンシル東京、国際交流基金、セゾン文化財団、日本芸術文化振興会、野村財団		
		芸術文化団体の持続的な活動支援第3回「持続的な活動への多様な支援の紹介」※2	山田泰久（公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事）		
		クラウドファンディング編※2	廣安ゆきみ（READYFOR株式会社 FRコンサルティング部 文化ファンドレイジング エバンジェリスト）		
8/22～2/6	キャパシティビルディング講座	第1回 共感を呼び、支援を引き出すためのヴィジョン・ミッション活用と非営利組織経営の手法を磨く※1 第2回 ヴィジョン・パーパスの実装・定着※1 第3回 活動の意義を伝える評価軸を磨く※3 第4回 関係者参加型の評価をとおして改善・変革していく術を磨く※1 中間ディスカッション※1 第5回 実践者との対話：現場のわりきれなさ、言葉にできなさ、とてつもないおもしろさを、どう表すのか※3 第6回「文化的な権利」を端緒に芸術文化と社会の相関を捉え直す技を磨く※3 課題解決／価値創造戦略レポートの最終発表会※1	小川智紀（認定NPO法人STスポット横浜理事長、社会福祉士、社会教育士）、若林朋子（プロジェクト・コーディネーター、立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授）、広石拓司（エンパブリック代表取締役、ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー）、石井裕太（PRコンサルタント）、石井健介（ブラインド・コミュニケーター）、源由理子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授）、上田假奈代（詩人・詩家）、中村美帆（青山学院大学総合文化政策学部 准教授）	6	1,110
9/11～2/12	社会保障・セルフケア講座	創造活動を続けるために、心のセルフケアを知ろう	手島将彦（産業カウンセラー、専門学校ミューズ音楽院講師）	4	2,378
		出産・育児と創造活動～制度の活用と環境づくり～	南里有紀（社会保険労務士）、川合ロン（俳優、ダンサー）、黒田菜月（写真家、アーティスト）、近藤香南子（マネージャー）		
		もしものときにフリーランスが活用できる仕組みを知ろう※2	横山北斗（NPO法人 Social Change Agency 代表理事、社会福祉士）		
		社会保障制度の基本を知ろう※2	山下慎一（福岡大学法学部 教授）		
10/1～12/17	会計・税務講座	フリーランス編（前編）※2	伊沢成貴（税理士）	4	764
		フリーランス編（後編）※2	伊沢成貴（税理士）		
		法人化のメリット・デメリット	杉井俊文（税理士、ソーシャルグッド会計事務所）		
		源泉徴収編※2	松田恵莉（税理士）		

開催時期	講座名	講座タイトル	講師等	実施回数	申込者数・動画視聴回数
10/15～1/16	法務講座	創造活動における法務実務Q & A	田島佑規（骨董通り法律事務所 弁護士）	5	1,362
		芸術文化のための著作権入門※2	福井健策（骨董通り法律事務所 弁護士）		
		撮影・配信・SNSに必須の権利知識※2	大橋卓生（パークス法律事務所 弁護士）		
		AIとの適切な付き合い方・使い方	中崎尚（アンダーソン・毛利・友常法律事務所 外国法共同事業 弁護士、慶応義塾大学大学院法務科 非常勤講師）		
		どこまで似れば侵害なのか※2	伊藤真（ライツ法律特許事務所 弁護士）		
11/12～1/27	国際活動講座	世界共通の課題を知る～芸術文化と気候変動～	大島広子（舞台美術家・衣裳家、グリーン・シアター・コーディネーター、一般社団法人Image Nation Green 代表理事）、ロジャー・マクドナルド（TOTAL ARTS STUDIES プログラム・ディレクター、フェンバーガーハウス 館長、多津衛民藝館 館長）	2	601
		役立つノウハウ：実務Q & A	大平健介（アンサンブル室町 芸術監督、聖ヶ丘教会 首席オルガニスト）、キュンチョメ（アートユニット）、田野入涼子（梅田宏明 プロデューサー）		
12/23～2/18	ビジネススキル講座	ビジネスマナー&スキルの基礎知識※2	山田邦明（しろしinc. CEO）	5	1,131
		事業計画とその進め方編	佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）		
		対価の設定・交渉のコツ	田島佑規（骨董通り法律事務所 弁護士）、大館奈津子（アートマネージャー）、古賀健一（レコーディングエンジニア）		
		"そもそも"から始める！ 広報・PR入門※2	中田一会（株式会社きてん 代表／プランナー）		
		SNS広報入門編	平田麻莉（一般社団法人フリーランス協会 代表理事）		

※講座は基本的には、オンライン同時開催、アーカイブ公開。

※1は対面開催

※2はオンライン同時開催、アーカイブ公開無。

※3は対面開催、一部アーカイブ公開。

11,493

17

アーティストの創作環境の整備事業 「START Box」

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	START Box ササハタハツ（アトリエ） 笹塚：渋谷区笹塚二丁目42番 都営笹塚二丁目アパート42-15号棟1階 幡ヶ谷：渋谷区幡ヶ谷二丁目52番 都営幡ヶ谷二丁目第2アパート52-1号棟1階 START Box お台場（アトリエ） 港区台場一丁目5番4号 トミンハイム台場五番街4-101 START Box 白鬚（アトリエ・稽古場）令和8（2026）年1月開設 墨田区堤通二丁目3-2 都営白鬚東アパート2号棟1階
利用時間	9:00～21:00（ササハタハツ・お台場）、10:00～22:00（白鬚）
利用区画	START Box ササハタハツ 笹塚：3区画（各約17㎡）・交流スペース1区画（約17㎡） 幡ヶ谷：3区画（各約15㎡） START Box お台場 1区画（約57㎡） START Box 白鬚 アトリエ：4区画（約20㎡、約25㎡、約30㎡（2区画）） 稽古場：4区画（約40㎡、約50㎡（3区画））・作業場1区画（約48㎡） 交流スペース1区画（約20㎡）
ジャンル	アトリエ：美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ（演劇、舞踊等は除く） 稽古場：演劇、舞踊等のパフォーマンスアーツ
利用件数	アトリエ：START Box ササハタハツ延べ20件、START Box お台場2件、START Box 白鬚4件 稽古場：START Box 白鬚延べ12件
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

都営住宅等の空き店舗を活用し、若手アーティストに対し、低廉な料金で創作場所を提供することで、アーティストの継続的な創作活動を支援する。

【実施状況】

東京都との共催事業として令和5（2023）年度から本格実施。令和5（2023）年4月に「START Box ササハタハツ」、令和5（2023）年11月に「START Box お台場」、令和8（2026）年1月にはアトリエに加えてSTART Box初となる稽古場を併設した「START Box 白鬚」を運用開始。

〈利用期間及びアーティスト（ジャンル）〉

1. START Box ササハタハツ（笹塚）

期間	日数	区画1	区画2	区画3
4/11～6/29	80日間	—	写真	インスタレーション
7/9～9/26	80日間	—	絵画	絵画
4/11～9/26	169日間	インスタレーション	—	—
10/7～12/25	80日間	—	絵画	絵画
1/6～3/26	80日間	—	インスタレーション	絵画
10/7～3/26	165日間	絵画	—	—

○アトリエ利用アーティスト

國分蘭（写真）・山田ゆり（インスタレーション）・大久保迪子（絵画）・馬淵一樹（絵画）・齊藤隆嗣（インスタレーション）・早田憲康（絵画）・イム ジェヨン（絵画）・unu（インスタレーション）・松浦美桜香（絵画）・森川瑳久（絵画）

2. START Box ササハタハツ（幡ヶ谷）

期間	日数	区画 1	区画 2	区画 3
4 / 11 ~ 6 / 29	80日間	メディアアート	絵画	—
7 / 9 ~ 9 / 26	80日間	メディアアート	メディアアート	—
4 / 11 ~ 9 / 26	169日間	—	—	インスタレーション
10 / 7 ~ 12 / 25	80日間	メディアアート	メディアアート	—
1 / 6 ~ 3 / 26	80日間	絵画	インスタレーション	—
10 / 7 ~ 3 / 26	165日間	—	—	絵画

○アトリエ利用アーティスト

眞鍋美祈（メディアアート）・小林誠一（絵画）・笹原花音（メディアアート）・加藤実実（メディアアート）・Mikiko Kamada（インスタレーション）・中村 隆行（メディアアート）・すずきあゆみ（絵画）・大谷理佳子（インスタレーション）・野中美里（絵画）

3. START Box お台場

期間	日数	区画 1
4 / 11 ~ 9 / 26	169日間	絵画
10 / 7 ~ 3 / 26	165日間	デザイン

○アトリエ利用アーティスト

尾形凌（絵画）・篠原奏（デザイン）

4. START Box 白鬚（アトリエ）

期間	日数	区画 1	区画 2	区画 3	区画 4
1 / 6 ~ 3 / 26	80日間	インスタレーション	工芸・染色	絵画	メディアアート

○アトリエ利用アーティスト

佐藤ことみ（インスタレーション）・石井亨（工芸・染色）・ノセユイ（絵画）・まちだりな（メディアアート）

5. START Box 白鬚（稽古場）

期間	日数	区画 1	区画 2	区画 3	区画 4
1 / 6 ~ 1 / 29	24日間	演劇	演劇	舞踊	舞踊
2 / 3 ~ 2 / 26	24日間	演劇	演劇	演劇	演劇
3 / 3 ~ 3 / 26	24日間	演劇	演劇	演劇	演劇

○稽古場利用アーティスト

三転倒立（演劇）・Von・noズ（舞踊）・SR/Yuria Onishi（舞踊）・譜面絵画（演劇）・長瀬善則（演劇）・海賊のように飲む会（演劇）・劇団あはひ（演劇）・燦燦たる午餐（演劇）・キューイ（演劇）・ハングリーハンガー企画（演劇）他1団体

〈地域交流イベント（オープンアトリエ）〉

実施日	会場	来場者数（人）	備考
6 / 1	START Box ササハタハツ	238	渋谷おとなりサンデー実施日
9 / 23	START Box ササハタハツ	169	
11 / 9	START Box ササハタハツ	222	「北沢RUNRURN フェスタ」と協力開催
3 / 15	START Box ササハタハツ	435	
9 / 13	START Box お台場	50	
3 / 14	START Box お台場	28	
3 / 22	START Box 白鬚	601	

Ⅱ. 芸術文化の支援

〈文化イベントへの出展〉

実施期間	イベント名	来場者数（人）	備考
8/23～8/31	START Box EXHIBITION	711	有楽町アートアーバニズム（YAU）との連携イベント
会期Ⅰ 2/25～3/2 会期Ⅱ 3/4～3/9	START Box EXHIBITION	615	
10/10～10/13	MEET YOUR ART FESTIVAL2025	—	東京都・MYAF実行委員会主催イベント

18

Tokyo Artist Accelerator Program
(TAAP)

【事業概要】

実施期間 令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

○第2期支援アーティスト（12人）

交流会 令和7（2025）年4月12日（土）
メンタリング 令和7（2025）年5月～11月
中間報告会 令和7（2025）年7月12日（土）、10月4日（土）
TAAP Live 2025（成果発表会） 令和7（2025）年11月8日（土）～11日（火）

○第3期支援アーティスト（12人）

募集期間 令和7（2025）年10月15日（水）～11月26日（水）
応募者数 105人 [うち、一次選考通過者18人、本選考通過者12人]

【事業趣旨（目的）】

アーティスト自身によって作品を語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートする。

選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと8か月にわたる継続的なメンタリングを実施し、国内外の現代アート関係者へ向けたプレゼンテーションの機会を提供することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援する。

【実施状況】

令和7（2025）年度は、令和6（2024）年度に決定した第2期支援アーティストの伴走支援を行い、成果発表として「TAAP Live 2025」を開催した。また、第3期支援アーティストの公募・選考を行った。

開催日	会場	プログラム名	内容	入場者数等
4/12	アーツカウンシル東京 会議室	交流会	メンター及び選考委員とのメンタリングの方向性の相談と交流	—
7/12		中間報告会	選考委員へ向けて「TAAP Live 2025」を意識したプレゼンテーションを実施し、アドバイスを受ける。	—
10/4				—
5月～11月	オンライン	メンタリング	交流会、報告会でのアドバイスを踏まえ、Web面談にてメンターよりアドバイスやネットワーキング・サポートを受ける。	延べ164回
11/8～11	TODA HALL & CONFERENCE TOKYO ホールA	TAAP Live 2025	作品について語るプレゼンテーションとワーク・イン・プログラム展示	386人

〈選考委員〉

- ・上田杏菜（公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 学芸員）
- ・鷹野隆大（写真家、東京造形大学 教授）
- ・田口美和（タグチアートコレクション 共同代表、サンパウロ・ビエンナーレ インターナショナルアドバイザリーボードメンバー）
- ・細井眞子（TARO NASU ギャラリー ディレクター）
- ・山口栄一（一般社団法人アートパワーズジャパン 代表理事、公益社団法人経済同友会 スポーツとアートによる社会の再生委員会 委員長）

〈メンター〉

- ・天野太郎（東京オペラシティアートギャラリー チーフキュレーター）
- ・栗田大輔（美術批評、女子美術大学准教授）
- ・江幡京子（アーティスト）
- ・小林真比古（biscuit gallery 代表）
- ・藤元由記子（株式会社ブックエンド 代表取締役、NPO法人アート＆ソサイエティ研究センター 理事）

Ⅱ. 芸術文化の支援

第2期支援アーティスト

アーティスト名	ジャンル
池添俊	映像
折田千秋	平面（絵画）
久保田荻須智弘	立体
窪田望	立体
黒田恭章	平面（染織）
小林颯	映像
近藤智美	平面（絵画）
斎藤英理	映像
司馬宙	映像
日原聖子	立体
三野新	平面（写真等）
脇田あおい	平面（絵画）

第3期支援アーティスト

アーティスト名	ジャンル
石原 海	映像
井村 一登	立体
岩井 美佳	立体
何 梓羽	立体
澤 寛	映像
志賀 耕太	映像
敷地 理	映像
鍋梨 世知	立体
古川 諒子	平面（絵画）
みょうじ なまえ	映像
安原 杏子	映像
山中 春海	映像

19

タレンツ・トーキョー2025

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年11月24日（月）～30日（日）
実施場所	有楽町朝日スクエア ほか
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会
提 携	ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）
協 力	ゲーテ・インスティトゥート東京
参加人数	タレンツ17人、エキスパート（講師）8人

「タレンツ・トーキョー修了生による特別上映会」

- ・開催期間：令和7年11月8日（土）、9日（日）
- ・会場：東京都写真美術館1F ホール
- ・上映作品数/上映回数：3作品/延べ6回
- ・上映作品：『ルノワール』（2025）監督/脚本：早川千絵（TT2014修了生）
『Cu Li Never Cries』（2024）監督/脚本：ファム・ゴック・ラン（TT2017修了生）
『ピアス刺心』（2024）監督/脚本：ネリシア・ロウ（TT2020修了生）
- ・一般来場者数：465人

【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招聘して実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。

【実施状況】

参加希望者の増加に伴い、昨年度と同じく定員17人として実施。国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（メイン・エキスパート、マスタートーク・エキスパート、ゲスト・エキスパート）として迎え、レクチャーや企画合評会、エクスカージョンを実施。第一線で活動する専門家の視線に晒されることにより強烈なインスパイアを受ける体験の場となり、タレンツ同士や過去の修了生との交流も生まれ、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げる機会を提供した。

また、令和7年度から、タレンツ修了生の作品を都民により広く知ってもらうことを目的に、イベントとして「タレンツ・トーキョー修了生による特別上映会」を開始した。初年度は、カンヌ国際映画祭でも高い評価を得た早川千絵監督作品の『ルノワール』を始め計3作品を2日間にわたり東京都写真美術館ホールで6回上映。あわせて監督のトークも3回実施した。初日の早川監督作品上映後には、同監督の他、同じくタレンツ修了生の水野詠子プロデューサー、特別ゲスト是枝裕和監督が参加した。

<参加者>

◇監督

CHEN Jianhang（中国）
GUAN Tian（中国）
Sean Ali WANG（中国）
ZHENG LU Xinyuan（中国）
Anastasia TSANG（香港）
Makbul Mubarak（インドネシア）
Rein Maychaelson（インドネシア）
Sushi KUWAYAMA（日本）
TAN Ce Ding（マレーシア）
Glenn BARIT（フィリピン）
Sam MANACSA（フィリピン）
Ash GOH Hua（シンガポール）

Ⅱ. 芸術文化の支援

NGUYỄN Lương Hằng (ベトナム)

◇プロデューサー

LUNG Kwok Yiu (香港)

SATOH Naomi (日本)

Jed MEDRANO (フィリピン)

Evril Pinyu KUO (台湾)

<メイン・エキスパート>

Mouly Surya (監督)

Justine O. (プロデューサー)

Emmanuel PISARRA (ワールドセールス)

Tobias PAUSINGER (ベルリナーレ・タレンツ プログラム・マネージャー)

<マスタークラス・エキスパート>

CAI Shangjun (監督)

<ゲスト・エキスパート>

Ramon ZÜRCHER (監督)

TAN Siyou (監督)

Lkhagvadulam PUREV-OCHIR (監督)

20 アートマネジメント人材等海外派遣プログラム

【事業概要】

- 派遣地および派遣期間**
- ①エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル
令和7（2025）年8月15日～22日
 - ②サンパウロ・ビエンナーレ、イニョチン
令和7（2025）年9月2日～9日
 - ③ソウル・パフォーミング・アーツ・フェスティバル
令和7（2025）年10月15日～22日
 - ④台北ビエンナーレ
令和7（2025）年10月30日～11月6日
 - ⑤ベルリン国際映画祭
令和8（2026）年2月11日～18日

主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を短期で芸術フェスティバル等に派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者のネットワークを作る機会を提供する。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図る。なお、将来的には本事業を通じて東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化につなげていく。

【実施状況】

①エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル派遣

- ・概要：エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル及びフリンジの視察を中心に、フェスティバル関係者や公的機関関係者とのミーティング、関連施設の視察などを行う。その他、エディンバラ城内で開催されるミリタリー・タトゥー（軍楽隊の分列行進のショー）や街中のいたるところで繰り広げられる大道芸人パフォーマンスなど、多角的に芸術祭を体験するとともに国際的なネットワークの構築を目的とする。
- ・募集期間：令和7（2025）年4月23日～5月23日
- ・派遣対象：舞台芸術（演劇、舞踏、音楽等全般）に関わる若手を中心とするプロデューサー、ディレクター、技術者等
- ・応募者数：28人
- ・派遣人数：3人

②サンパウロ・ビエンナーレ、イニョチン派遣

- ・概要：現代美術展として国際展の中でも「ヴェネツィア・ビエンナーレ」に次いで世界で2番目に歴史が長く、全世界の美術界の注目を集める「サンパウロ・ビエンナーレ」と、現代アート作品を植物園に配した世界最大級の野外美術館「イニョチン」を派遣先とし、現代美術関係者との面談や展覧会及び施設視察を通じて、派遣参加者が最先端の作品・作家と触れ合い、ネットワーキング構築につなげることを目的とする。
- ・募集期間：令和7（2025）年4月23日～5月23日
- ・派遣対象：視覚芸術に関わる若手を中心とするキュレーター、ディレクター、アートプロフェッショナル等
- ・応募者数：14人
- ・派遣人数：3人

③ソウル・パフォーミング・アーツ・フェスティバル派遣

- ・概要：同時期開催となるソウル・パフォーミング・アーツ・フェスティバル（SPAF）とパフォーミング・アーツ・マーケット・ソウル（PAMS）のオープニングに合わせて現地に到着し、会期中に開催されたネットワーキングのためのレセプション、ピッチ・セッション、ブース出展など多様なプログラムを視察。様々

Ⅱ. 芸術文化の支援

なジャンルの舞台芸術関係者が一堂に会する場で国際的なネットワークを構築する。現地の舞台芸術プロデューサー、キュレーターと面会し、韓国における文化政策の現在地や、舞台芸術に携わる若手のキャリア形成、アジア連携や国際共同制作の状況・あり方の変遷などについて意見交換を行う。またSPAFでは、観劇を通じ、現代舞台芸術の新たな潮流を体感する。

- ・募集期間：令和7（2025）年7月3日～28日
- ・派遣対象：舞台芸術分野（演劇、舞踊、音楽等全般）に関わる若手を中心とするプロデューサー、ディレクター、舞台技術者等
- ・応募者数：8人
- ・派遣人数：3人

④台北ビエンナーレ派遣

- ・概要：台北ビエンナーレのオープニングデーに合わせて派遣し、ガイドツアーやレセプションパーティーへの参加を通して、開幕時に集う参加アーティストやキュレーター、各国のアート関係者とのネットワークづくりを行う。台中では、台湾発の美術館と図書館の複合施設である「台中緑美図」のプレオープンを訪し、館長とのミーティングを行う。その他、複数都市の美術館や文化施設の視察、関係者とのミーティングを通して、台湾における文化芸術シーンや文化政策の実状について理解を深める。
- ・募集期間：令和7（2025）年7月3日～28日
- ・派遣対象：視覚芸術に関わる若手を中心とするキュレーター、ディレクター、アートプロフェッショナル等
- ・応募者数：5人
- ・派遣人数：3人

⑤ベルリン国際映画祭派遣

- ・概要：世界三大映画祭（カンヌ、ヴェネツィア）の一つであるベルリン国際映画祭及び同時開催されるマーケットプレイス、ヨーロッパ・フィルム・マーケット（EFM）への視察を中心に行う。映画祭では公式上映されるノミネート作品やバイヤー向けの出品作品の鑑賞、EFMではピッチ・セッションやトークプログラムの視察、関係者へのヒアリングなどを行い、商業ブースでは業界関係者とのミーティングを行う。また、ベルリナーレ・タレンツのオープニングセレモニーや各国のレセプションにも多数参加し、今後の海外協働に向けたネットワークの構築を目的とする。
- ・募集期間：令和7（2025）年10月14日～11月10日
- ・派遣対象：若手を中心とする映画業界関係者（映画祭ディレクター、プロデューサー、映画監督、脚本家、技術・制作スタッフ、映画メディア・評論家等）
- ・応募者数：42人
- ・派遣人数：3人

【派遣事業報告会】

- ・概要：令和7（2025）年度の5か所の派遣先に赴いた派遣参加者の成果を発表する報告会。15名それぞれによる個別プレゼンテーション（成果発表）とインタビュー形式による全体ディスカッションを行い、会場参加者と派遣成果の共有を図った。参加者は、在京外国文化交流機関や芸術文化施設関係者の他、若手アートマネージャーや劇団関係者など多彩な参加者が集まり、本プログラムへの関心の高さが窺えた。ディスカッション終了後には、派遣参加者・アドバイザーと来場者とで交流を深めるネットワーキングの時間を設け、積極的に交流を図っていた。
- ・実施日時：令和8（2026）年3月12日17:00～19:30
- ・実施場所：アーツカウンシル東京 会議室
- ・参加者数：70人

21

子供向け芸術文化体験コーディネーター 「ことてとて」養成プログラム

【事業概要】

開催時期	令和7（2025）年9月～令和8（2026）年2月 （1）基礎講座（全6回）：令和7（2025）年9月27日～11月7日 （2）現場研修：令和7（2025）年10月～令和8（2026）年1月 （3）振り返り共有会：令和8（2026）年2月21日
開催場所	アーツカウンシル東京、東京文化会館 他
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加費	無料
参加申込者数	82人
参加者数	33人

【事業趣旨（目的）】

子供たちに良質な芸術文化体験を届けるため、地域の現場とアーティストをつなぐ人材を養成する。芸術文化体験の重要性や課題、ニーズを踏まえ、プログラム実施に必要なスキルやマインドを学び、講義やワークを通じて、受講生同士の議論やネットワーク構築を支援することで、各自の現場で子供の芸術文化体験を実現できるよう、課題解決に向けた場を提供する。

【実施状況】

開催時期	講座	プログラムタイトル・講師等	内容	参加者数（人）
9/27	基礎講座	第1回 なぜ子供に芸術文化体験が必要なのか？ 堤 康彦（NPO法人 芸術家と子どもたち 代表）	コーディネーターとして子供に向けた事業を企画、実現に導く上で根幹となる子供自身にとっての芸術文化体験の意義や重要性を理解する。	30
10/4		第2回 子供の成長と芸術文化体験がもたらすもの 欽矢 悦朗（東京学芸大学 教授・デザイン研究室）	子供の感情過程を知ることにより、芸術文化体験から子供の成長へとつなげるための場のづくり方や接し方を考える。	28
10/11		第3回 国内外の子供向けプログラムの実例を探る 白木 栄世（森美術館ラーニング・キュレーター）	国内外のさまざまな子供向けワークショップや、アートプロジェクトの事例を通して、幅広い取組の知見を得る。	25
10/17		第4回 施設側の視点で企画から実施のプロセスを学ぶ 梶 奈生子（東京文化会館 事業企画課長）	企画の実現に向けた実践的なスキルとして、「施設としての観点」を理解し、課題や施設の特徴にフォーカスした企画立案に取り組む。	29
10/24		第5回 アーティストと共創する上での視点を学ぶ 臼井 隆志（ファシリテーター／アートエデュケーター）	コーディネーターがアーティストや子供、施設の職員との間に立ち、橋渡し役として企画をまとめ上げるのに必要な視点を学ぶ。	31
11/7		第6回 場の特性を捉え、プログラムを構築する 大巻 伸嗣（美術作家）	多様な地域でプログラムを展開するアーティストの視点を学び、アーティストとステークホルダーとの共創のプロセスを理解する。	30
10/12～ 1/11 (6回)	現場研修	託児型ワークショップ「こどもあそびシアター」（東京芸術劇場）		15
10/19～ 10/26 (3回)		ネクスト・クリエイション・プログラム ・こどもファッションプロジェクト（SABFA(原宿)、東京都庁） ・ファンタジスタ～アートとデザインで切り拓く未来のキャンパス～（高尾の森わくわくビレッジ）		6
10/19～ 11/22 (3回)		ミュージック・ワークショップ（東京文化会館） ・旅するヨーロッパ Vol.3 ・はじめましてクラシック～弦楽四重奏～ ・One Day コーラス		10
1/25 (1回)		劇場ツアー「コンサートホールを歩こう」（東京芸術劇場）		5
11/1～ 1/11 (13回)		アーティスト派遣型ワークショップ ・PKT（パフォーマンスキッズ・トーキョー）（都内小学校、児童養護施設） ・ASIAS（エイジアス）（地域の子供の居場所）		24
10/19～ 11/12 (2回)		絵本作家はたこうしろう ハロウィーンワークショップ「世界にひとつのヘンテコぼうしをつくろう」 （くにたち未来共創拠点 矢川プラス） ・ランチタイムコンサート「クラシックライブPLUS」（くにたち未来共創拠点 矢川プラス）		5
1/23 (1回)		「まんげきょうづくり」（フレーベル館 キンダーブラッツ アリオ葛西店）		2
2/21		振り返り共有会 講座期間を通じて得た学びや気づきを他の参加者と共有し、今後の実践活動に活かすための振り返りを実施。		28

22

伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2025～

【事業概要】

開催期間	令和7（2025）年7月5日（土）、6日（日）
開催場所	八王子市芸術文化会館（いちょうホール）、まち・なかギャラリーホール、桑都テラス、JR八王子駅北口西放射線ユーロードの一部
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
助成・協力	東京都
協力	公益財団法人立川市地域文化振興財団
後援	立川市、三鷹市、府中市、日野市、日野市教育委員会、あきる野市、西東京市、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
協力自治体	武蔵野市、青梅市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、武蔵村山市、稲城市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
事業協力	八王子織物工業組合、東京造形大学、日本工学院八王子専門学校、大東京信用組合
料金	無料（人力車体験1台1,000円、茶会 300円）
参加者数	15,209人（5日7,877人、6日7,332人）

【事業趣旨（目的）】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、リニューアルオープンした八王子市芸術文化会館（いちょうホール）を舞台にした本格的な公演やまちなかでの演奏会など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	出演・出展・指導等	内容	参加者数 (人)
7/5	桑都テラス	学生の“津軽三味線”	勝又悠匠	椰子の実、El Sol、津軽じょんから節、津軽あいや節、津軽小原節、民謡メドレー、音階世界旅行、秋田荷方節、青森県民謡メドレー	85
7/5	桑都テラス	西川古柳座ー桑都の人形芝居ー	八王子車人形 西川古柳座	三番叟、車人形解説、団子売り	75
7/5	いちょうホール大ホール	三宅島神着神輿太鼓～魂を一打に込める～	三宅島芸能同協会、中込健太（鼓童）	三宅島神着神輿太鼓、大太鼓	180
7/5	いちょうホール大ホール	『地芝居を楽しむ！菅生歌舞伎 菅生一座』	菅生歌舞伎 菅生一座	白浪五人男	100
7/5	いちょうホール大ホール	八王子千人連～心浮かれるぞめきのリズム～	八王子千人連	阿波おどり	100
7/5	いちょうホール大ホール	三鷹阿波おどり～三鷹に息づくぞめきのリズム～	みたか銀座連	阿波おどり	80
7/5	いちょうホール小ホール、楽屋、第1～3練習室、多目的室	むかしむかし、あるお家に～たまてばこで大冒険～	演劇ネットワークばちばち	むかしむかし、あるお家に～たまてばこで大冒険～	141
7/5	中町公園、黒旗通り、桑都テラス、三業組合、八日町、禅東院、いちょうホール（見学は三業組合～いちょうホール）	人力車乗車体験～歴史の面影を探す街めぐり～	人力屋坂福、岡崎屋惣次郎	街めぐり	体験 60 見学 540
7/6	桑都テラス	香川舞人形～祭の中の人気者～	香川社中	香川舞人形	50
7/6	桑都テラス	香川良子～篠笛 音色七色～	香川良子	浜辺の歌、思い出写真、京都の子守歌、今日の日はさようなら、虹霞、万華鏡物語、たなばたさま	55

開催日	会場	プログラム名	出演・出展・指導等	内容	参加者数 (人)
7/6	いちょうホール 大ホール	武蔵国府太鼓～国府の 歴史、伝える芸能～	武蔵国府太鼓連盟 響会、翔 駒会、国府睦会	武蔵国府太鼓	100
7/6	いちょうホール 大ホール	学生の“日本舞踊”	日本工学院八王子専門学校 声優・演劇科	潮来	100
7/6	いちょうホール 小ホール	八王子祭囃子連合会～ 粋で鯉背な夏の音～	八王子祭囃子連合会	祭囃子	190
7/6	いちょうホール 小ホール	農作業の踊り～ぼうち 唄のふるさと～	西東京けやきの会	田無ぼうち唄、正調オリヤセ節、田無音頭、お江戸日 本橋、秋田おぼこ甚句	100
7/6	いちょうホール 小ホール	錦みよし会はやし連～ 立川の伝統祭囃子～	錦みよし会はやし連	祭囃子	180
7/6	いちょうホール 小ホール	日野囃子～新選組のふ るさとに響く囃子の音 ～	日野囃子保存会	祭囃子	150
7/6	横山町公園	工作ワークショップ	—	八王子織物・染物を使ったリース作り、リフレクター 折り紙でストラップ作り、風車作り	85
7/5.6	桑都テラス	昔遊びが曲芸に…けん 玉パフォーマンス	伊藤佑介	けん玉パフォーマンス、けん玉体験	205
7/5.6	まち・なかギャ ラリーホール	影絵〈写し絵〉～江戸 時代のアニメーション ～	東京造形大学大学院 Hachioji影絵プロジェクト	八王子をテーマとした影絵作品	120
7/5.6	いちょうホール 第1茶室、第2 茶室	茶会～学生による日本 のおもてなし～	東京都立大学茶道研究会	茶会	142
7/5.6	いちょうホール 大ホール	八王子車人形・薩摩派 説経節～魂宿る車人形 ～	八王子車人形 西川古柳座、 説経節の会	小栗判官一代記 高倉館判官矢取りの段	240
7/5.6	いちょうホール 大ホール	八王子芸妓衆の華と粋 ～艶やかにおもてなし ～	八王子芸妓衆 めぐみ、あや め、若葉、小太郎、葉月、 ふく弥、てる葉、すすめ、 まゆ乃、小舞姫	姫三社、吉原雀、からかさ、手古舞い木遣り、お座敷 メドレー、ざわぎ	360
7/5.6	いちょうホール エントランス	本町連合町会山車	—	山車の展示とお囃子	3,020
7/5.6	いちょうホール ロビー	昔も今も子供の遊び	八王子お手玉の会、レクボ ラNo1	お手玉、お手玉作り、八王子のお手玉歌「おさらい」、 独奏、けん玉	670
7/5.6	いちょうホール ロビー	音響彫刻『Kinson』の 旅～音の鳴るひろば inたまてばこ～	永井朋生（パーカッション、 ドラム、作曲）	様々な楽器を自由に演奏する	540
7/5.6	いちょうホール ロビー	多摩織の技と心	八王子織物工業組合	八王子織物の展示	240
7/5.6	いちょうホール ロビー	織物体験～昔と今とが 織りなす世界～	八王子織物工業組合	八王子織物の体験	200
7/5.6	中町公園	—	—	案内所・顔出しパネル・シャボン玉	400
7/5.6	中町公園、横山 町公園	—	—	案内所	5,166
7/5.6	桑都テラス	—	—	桑都テラス	1,535
合計					15,209

23

東京大茶会2025

【事業概要】

- 開催日 令和7（2025）年10月4日（土）・5日（日）、10月18日（土）・19日（日）
- 開催場所 浜離宮恩賜庭園、江戸東京たてもの園
- 主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 共催 公益財団法人東京都公園協会（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
- 後援 中央区（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
小金井市、小金井市商工会（江戸東京たてもの園開催のみ）
- 特別協力 東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京たてもの園、東京都茶道会（江戸東京たてもの園開催のみ）
- 来場者数 15,735人

【事業趣旨（目的）】

様々な流派による茶道プログラム、日本の伝統文化を楽しめる体験プログラムやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

【開催状況】

開催日	会場	体験者（人）			参加料 （円）	イベント・参加者数 （人）		参加料 （円）	出店	来場者（人）					
10/4,5	浜離宮恩賜庭園	茶席	中島の御茶屋	310	800	パフォーマンス	420	－	東京都公園協会	8,876					
			芳梅亭※	194											
		野点※				1,183	伝統文化体験プログラム【華道】	110			500				
		高校生野点				344									
		英語で楽しむ野点				405									
計				2,436	－										
10/18,19	江戸東京たてもの園	茶席	高橋是清邸	226	800	パフォーマンス	415	－	小金井市商工会	6,859					
			西川家別邸※	223											
			吉野家	231											
			万徳旅館	144											
		英語で楽しむ茶席									168	500			
		野点※									352				
		子供と楽しむ茶席			269										
計				1,613	－										
合計				4,049		合計	945	－	合計	15,735					

※一部手話通訳付きプログラムとして実施（利用者数：19人）

24

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025

【事業概要】

開催日	令和7（2025）年5月17日（土）、18日（日）
開催場所	神楽坂エリア（毘沙門天善國寺、赤城神社、矢来能楽堂、白銀公園、神楽坂通りエリア内路上ほか）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部
助成・協力	東京都
共催	新宿区
後援	一般社団法人新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、観世九阜会・矢来能楽堂、漱石山房記念館、東京理科大学、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、セッションハウス、雅楽協会、南砺市観光協会、SEION TOKYO、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、EPSホールディングス、初台ウェルネスラボ、森のつみ木広場、セントラルプラザ、熊谷組、ロングランプランニング、オフィスヤマグチ、マインド
参加費	無料
参加者数	28,757人（17日 5,214人、18日 23,543人）

【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用しつつ、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加してもらえる構成と内容で伝統芸能フェスティバルを開催し、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒とする。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	出演者	参加者数（人）
5/17	東京理科大学 森戸記念館	神楽坂楽座～講釈場	神田伊織（講談）、東家一太郎、東家美（浪曲）、藤高りえ子（筑前琵琶）、竹本京之助、鶴澤賀寿（義太夫節）	2,340
	毘沙門天善國寺 書院	毘沙門天で“お座敷ライブ”	神楽坂芸者衆、三増れ紋（江戸曲独楽）、柳亭小燕枝（落語）	80
	毘沙門天善國寺 境内	毘沙門天・夜会	丸一仙翁社中（江戸太神楽）、吉澤延隆（十七弦箏）、現代散楽（笛、笙、和太鼓、サズ、語りなど）、ロバート キャンベル（ゲスト）、シリル コビーニ（司会）	680
	赤城神社 参集殿	ことほぎライブ	芳村伊十治郎連中（長唄）×若獅子会（囃子）、西川樹恵花、若柳駒弥（日本舞踊）、清元成美太夫連中（清元節） 鳥羽屋里夕（司会）	568
	矢来能楽堂	芸能道しるべ	第一部：日吉章吾、久保浩助（生田流箏曲）、田中奈央一、小室旺士、永澤勇馬（山田流箏曲） ロバート キャンベル（ゲスト） 第二部：観世九阜会（能）	288
	神楽坂路上	神楽坂路上界限 新内流し	鶴賀若狭掾一門（新内節）	740
	神楽坂路上	神楽坂路上界限 城端曳山祭（庵唄）	宝槌会（城端庵唄）	518
5/18	毘沙門天善國寺 境内 特設ステージ	神楽坂楽座～講釈場	松林伯知（講談）、荒井靖水（薩摩琵琶）、国本はる乃、佐藤一貴（浪曲）、神田織音（講談）	3,560
	赤城神社 境内	神遊びライブ	第一部：マドモアゼル・シネマ（コンテンポラリーダンス）× 竹本京之助、鶴澤賀寿（義太夫節） 第二部：邦楽二〇（ギター、シンセサイザー、尺八、箏）	1,080
	赤城神社 神楽殿	赤城神社 夕暮れライブ	藤山大樹（手妻）、木場大輔（胡弓）、常磐津和英太夫連中（常磐津節）× 藤舎千穂連中（囃子） シリル コビーニ（司会）	1,940
	志満金前	神楽坂芸能めぐり 街角ライブ	AKATSUKI（十七弦箏、箏、尺八、和太鼓）、現代散楽（笛、笙、和太鼓、サズなど）、セミストリート（津軽三味線パフォーマンズ）	4,425
	神楽坂上交差点前		上條充（江戸糸あやつり人形）、雅楽下熊健（笙、箏、龍笛、声明）、小山豊（津軽三味線）×秋吉沙羅（笛）×辻本好美（尺八）×大多和正樹（和太鼓）	5,490
	神楽坂路上	神楽坂路上界限 新内流し	鶴賀若狭掾一門（新内節）	680
	神楽坂路上	神楽坂路上界限 城端曳山祭（庵唄）	宝槌会（城端庵唄）	860
	毘沙門天善國寺 ほか	神楽坂タイムスリップ スタンプラリー／歴史ガイド	—	3,913

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信

開催日	会場	プログラム名	出演者	参加者数 (人)
5/18	白銀公園	子ども広場	渋谷画劇団（紙芝居）、上條充（江戸糸あやつり人形）	1,499
	SEION TOKYO	弾いてみよう!日本の楽器	—	96

25

六本木アートナイト2025

【事業概要】

テーマ	「都市とアートとミライのお祭り」
開催日	令和7（2025）年9月26日（金）～28日（日） ※開催日以降の長期展示プログラムあり
開催場所	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
助成	文化庁、韓国文化体育観光部（※）、韓国国際文化交流振興院・駐日韓国大使館 韓国文化院（※）、台湾文化部 ※韓日国交正常化60周年事業
後援	台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、観光庁、経済産業省、内閣府知的財産戦略推進事務局、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、六本木“Art&Designの街”推進会議、テレビ朝日
メディア協賛	ディフェンダー、グランド ハイアット東京、Netflix 合同会社
エリア協賛	サントリーウイスキー響、ディフェンダー、モルトンブラウンジャパン株式会社
協賛	飯田電機工業株式会社、株式会社東京タカラ商会、株式会社クオラス、株式会社シルバーアイ、株式会社コングレ、株式会社ジールアソシエイツ、ピーディーシー株式会社、株式会社メディアデプト、株式会社あいわす、アットホーム株式会社、株式会社アルタイル、株式会社エスエス、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社ケイ・ファクトリー、株式会社シアターワークショップ、ジーク株式会社、有限会社笑遊堂、シンテイ警備株式会社、西武造園株式会社、セーフィー株式会社、ソルト・グループ、大成株式会社、株式会社つむら工芸、TSP太陽株式会社、株式会社ディンプル、株式会社テンナイン・コミュニケーション、株式会社ドッグ・クリエイティブ、株式会社トランジットホールディングス、中村展設株式会社、株式会社ノット、株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社フライアウト企画、株式会社ブランコ、株式会社ホットスケープ、株式会社LINKNOT
運営協力	六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ
協力	TRI-SEVEN ROPPONGI、ペンブローック リアルエステートジャパン、エルエルシー、天祖神社、ラピロス六本木
入場料	無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）
鑑賞者数	3日間にわたる全作品の延べ鑑賞者総数 約71万人

【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、多様な作品を点在させ、アートとまちを一体化して大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的とする「アートの饗宴」。

【開催状況】

【広域プログラム】

会場	プログラム名	アーティスト名
六本木ヒルズアリーナ	キックオフセレモニー	—
	六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト作品集 パフォーミングアーツ編	—
	RAN Focus	デリバリー・ダンサーズ・アーク：0度のレシーバー
		キム・アヨン
		トークイベント
		キム・アヨン、片岡真実
	オープンコール・プロジェクト採択作品	Exo2_crop_xl
		Flame
		カン・ジェウォン
		糧
	バレーナイト～六本木“Ozero”～	榎田祥光
		谷桃子バレエ団
	マーブリーク	ジェネロシティ

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信

会場	プログラム名		アーティスト名
六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース	量子の共鳴		川原隆邦
	旅する風車		
六本木ヒルズ ウェストウォーク2階	赤い恐竜 緑の恐竜 ※1		リン・ジエウェン／ラバイ・イヨン
六本木ヒルズアリーナ、六本木ヒルズ 66プラザ、龍土町美術館通り	RAN Focus	韓国の鼓動 ドラム・シャーマン	TAGO
日ごとに展示場所移動 ※2		EVERYWHERE	イム・ジビン
東京ミッドタウン コートヤード		あなたは一人じゃない	
東京ミッドタウン プラザ1階		JOY	
東京ミッドタウン ガレリアB1階		HELLO	
		五方色の木のお魚縁台	ジン・ヨンソプ
龍土町美術館通り	ぼえみゆ		新種のImmigrationsB
	オルタナティブ三味線ロック		ザ・シャミセニスト
国立新美術館 1階ロビー	平和なんて朝飯前(10XL) vs 平和なんて朝飯前(10XL)		胡宮ゆきな
東京ミッドタウン ガレリア2階	Wonder City—空想都市計画— ※1		虹色の風
東京ミッドタウン プラザB1階、龍土町美術館通り	オープンコール・プロジェクト 採択作品	箱しばい	佐藤翔吾
龍土町美術館通り (ブルーボトルコーヒー前、天祖神社)		妖怪図鑑六本木ノ夜	山本 裕&Honey→B
天祖神社	Sailing Castle: Roppongi		フォン・チェン・ツォン
ラビロス六本木	横断のための目印		奥山太貴
六本木交差点	現在地 feat.六本木アートナイト		
麻布消防署仮庁舎建設用地 (旧麻布警察署跡地)	Birds fly around with you		島田正道

※1は長期展示プログラム

※2は六本木ヒルズ メトロハット (26日)、ピラミデビル (27日)、東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン (28日)

【各館プログラム・同時開催プログラム】

会場	プログラム名		アーティスト名
六本木ヒルズアリーナ、六本木ヒルズ 66プラザ	RAN Focus／六本木ヒルズプログラム	ポロシウム	ソ・ナンジェ
六本木ヒルズアリーナ	六本木ヒルズプログラム	Open Reel Ensemble	ー
六本木ヒルズ ウェストウォーク2階		Prism-Aureola ※1	小野海
六本木ヒルズ ハリウッドビューティプラザ 1階、2階		「Weaving the Ocean (海を織る)」プロジェクトより ※1	アリ・バユアジ
六本木ヒルズ ノースタワー		Prism Crossing	高橋匠 HAKUTEN
六本木ヒルズ 66プラザ		Take a walk through the meadow with me ※1	シャオ・シュアン・タン&メーガン・タン
		わたしの中のあなた	出演：酒井はな 振付：堀内将平 (K-BALLET TOKYO)
六本木ヒルズ ウェストウォーク2階モニター、六本木ヒルズ メトロハット 大型ビジョン		Synthetic Youth - Takenoko Zoku	草野絵美
六本木ヒルズ 66プラザ、龍土町美術館通り、東京ミッドタウン プラザ1階		コマと空間と光が交錯するポリリズム	望月ゆうさく×めぐみ梨華
六本木ヒルズ 66プラザ、龍土町美術館通り		Minimal juggling	ながめくらしつ
		即興演奏	Kenji Azuma × Sami Elu
森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）	森美術館プログラム	藤本壮介の建築：原初・未来・森	ー
		MAMコレクション020: 世界は小さな物語のなかにー 下道基行、ヴァンディー・ラッタナ、ジャン・オー（张鷟）、ツァオ・フェイ（曹斐）	ー
		MAMプロジェクト033: クリスティーン・サン・キム	ー

会場	プログラム名	アーティスト名
東京ミッドタウン コートヤード	伝統芸能×次世代アーティストステージ	山口晃司(三味線)、Nukie(電子講談)、DEAD COUNT(尺八×DJ)、小林鈴勘(JAZZ尺八)
東京ミッドタウン ガレリア1階 ツリーシャワー	世界の心臓 ※1	小林万里子
東京ミッドタウン プラザB1階、キャノピー・スクエア、ガレリア1階、2階	東京ミッドタウンプログラム	意外な場所でアートと物語に会う「移動式アートシアター」
東京ミッドタウン プラザB1階	TOKYO MIDTOWN AWARD 2025 Pre EXHIBITION ※1	—
東京ミッドタウン ミッドタウン・ウェスト1階 富士フィルムフォトサロン 東京	第17回六本木フォトコンテスト写真展 ※1	—
東京ミッドタウン ガレリア1階 ISETAN SALONE	ディズニーアートコレクションフェア ※1	—
サントリー美術館 展示室	企画展「幕末土佐の天才絵師 絵金」	—
サントリー美術館 1階レクチャールーム	サントリー美術館 絵金ナイト	—
21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2	21_21 DESIGN SIGHT プログラム	企画展「そのとき、どうする?展-防災のこれからを見渡す-」
国立新美術館 企画展示室1E	国立新美術館 プログラム	企画展「時代のプリズム:日本で生まれた美術表現 1989-2010」
国立新美術館 企画展示室2E		企画展「ブルガリ カレイドス 色彩・文化・技巧」
麻布消防署仮庁舎建設用地(旧麻布警察署跡地)	六本木商店街プログラム	Like paintings
六本木交差点付近の商店街街路灯21基		People Have The Power
		Borderless Wall
		スマート街路灯展覧会
東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー5階 東京ミッドタウン・デザインハブ	同時開催プログラム	Tokyo Illustrators Society Presents Illustration Works 179人のイラストレーターによるベストワーク展
国立新美術館 公募展示室 1A,1B,2A,2B,3A,3B、野外展示場 A,B		<公募展> 第88回 新制作展
国立新美術館 公募展示室 1C,1D,2C,2D、野外展示場 C,D		<公募展> 第80回記念 行動展
東京ミッドタウン プラザ1階	多摩美術大学 TUB 連携プログラム	都市で祭は可能か vol.03「シシになる」(演舞の場)
多摩美術大学 TUB(ミッドタウン・タワー5階 デザインハブ内)		都市で祭は可能か vol.03「シシになる」(トークセッション)
六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース	協賛プログラム	“MOLTON BROWN Oudh Accord & Gold Art Café” — アートと香りが交差する魅惑の空間 —
六本木ヒルズ 大屋根プラザ		サントリーウイスキー「響」The Art of HIBIKI
東京ミッドタウン キャノピー・スクエア		NEW DEFENDER FIRST LOOK IN TOKYO

※1は長期展示プログラム

【その他】

- ・インクルーシブ・アート・プログラム
- ・英語ガイドツアー: 感覚で旅する六本木の時層
- ・大学連携プログラム
六本木アートナイト2025×慶應義塾大学アート・センター「都市のカルチュラル・ナラティヴ」
慶應義塾ミュージアム・コモンズ共同プログラム
- ・六本木をきれいにする会×六本木クリーンアップ アートナイトスペシャル2025
- ・六本木アートスタンプラリー
- ・参加ギャラリー8施設、参加店舗63店舗

26

Shibuya StreetDance Week 2025

【事業概要】

開催日	令和7（2025）年11月22日（土）
開催場所	代々木公園
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、Shibuya StreetDance Week 実行委員会（渋谷区商店会連合会、渋谷道玄坂商店街振興組合、一般社団法人渋谷未来デザイン、東急株式会社、株式会社パルコ）
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会、渋谷区教育委員会、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、渋谷公園通商店街振興組合、商店街振興組合原宿表参道櫓会
協力	JBL、WEGO
協力	DANCE WORKS
企画・制作・運営	株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社
企画・制作協力	株式会社LAST TRAIN GETTER
広報	株式会社アネックス
参加費	無料
来場者数	26,857人（※11/15プレイベント参加者32人含む）

【事業趣旨（目的）】

表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）を繋ぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立し、ストリートダンサーの聖地である渋谷からストリートダンスの魅力や本質的な価値を国内外へ発信し、活力に溢れた街をつくる。

【開催状況】

開催日	プログラム名	出演者
11/15	NEXT BREAKING ～WORKSHOP&TALK～ ※プレイベント 会場：VAW栄光ハイスクール（Aスタジオ）	WORKSHOP 講師：GEN ROC、YOSHIKI、SHOSEI TALK SHOW：KATSUYA、GEN ROC、TSUKKI MC：SUV
11/22	RAINBOW STAGE	参加団体：渋谷ユナイテッド ダンスクラブ、DANCE WORKS、En Dance Studio、尚美ミュージックカレッジ専門学校 ダンス学科、コナミスポーツクラブ本店チアダンスチーム smiley、LJ BREAKERS from LOVEJUNX、オトダントーキョー、DEFRESH STUDIO、STUDIO DANCE STORY、T-CROWN DANCE COMPANY、FRIEND'S DANCE SOCIETY、YELLOW BLACK DANCE STUDIO、STUDIO BREDDA、SRN GOLD RUSH、codoro!!、EXPG STUDIO インクルーシブショーケース：RiMiX SPACE ゲストダンサー：PInO+HERO+KEIN+Daichy Salas、ASUPI+ALLSTARS、CyberAgent Legit（ena、KANATO、Chris Ackey） MC：YAS
	SSDW CONTEST	出場校：白鷗女子高等学校、神田女学園高等学校、目黒学院高等学校、埼玉県立久喜工業高等学校、神奈川県立市ケ尾高等学校、クラーク記念国際高等学校、東京都立杉並高等学校、東京都立清瀬高等学校、神奈川県立百合丘高等学校 審査員：KENTO、akihio☆ジ、Anri、龍（REAL AKIBA BOYZ） MC：YAS
	DANCE WITH music	世界（EXILE/FANTASTICS）、UNO、YASS、龍（REAL AKIBA BOYZ）、DA-Dee-MiX ほか
	BATTLE PARK	審査員：世界（EXILE/FANTASTICS）、バファリン、MIKUMIKU MC：MC JOKI DJ：DJ SACHIO、DJ hirowOrld
	BREAKING AREA	U-22 B-BOY / B-GIRL BATTLE 審査員：陸上、ISSEI、朝美 サイファータイトム/プレイキン体験会 講師：ISSEI MC：SEIJI DJ：JUN aka funkyman
	CHILL OUT SPACE	カポエイラタイム 講師：YOKO&石橋純（Capoeira Batuque Japão）&柴田健児（GCAP Japão） はじめてのPopping ～FRESNO under the sky～ 講師：SHUTO&RIRIKA New Style Hustle Time 講師：Zabu HIPHOP WORKSHOP 講師：YASS DJ TIME：Yacheemi（DJ）、Bang（パーカッション） PHOTO SPOT：UNO MC：コロール

27 TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム

ろう者と聴者が遭遇する舞台作品

『黙るな 動け 呼吸しろ』

【事業概要】

〈公演〉

- ・開催日：令和7（2025）年11月29日（土）15:00
- ・開催場所：東京文化会館 大ホール
- ・入場者数：1603人

〈公開イベント〉

1. 公開トークイベント「ろう者と聴者が遭遇する舞台のつくりかた」
 - ・開催日：令和7（2025）年8月31日（日）14:00～16:00
 - ・開催場所：東京都美術館 講堂
 - ・参加者数：175人
2. 公開稽古
 - ・開催日：令和7（2025）年10月25日（土）①13:30～14:45 ②15:00～16:15
 - ・開催場所：芸能花伝舎
 - ・参加者数：①24人 ②25人
3. 振り返りトークイベント「ろう者と聴者が遭遇するとは？」
 - ・開催日：令和8（2026）年1月28日（水）19:00～21:00
 - ・開催場所：東京藝術大学 音楽学部 5-109教室
 - ・参加者数：167人

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国立大学法人東京藝術大学

【事業趣旨（目的）】

2025年に開催された世界陸上・デフリンピックに向けた3つのアートプロジェクト「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」の1つとして“ろう者とろう文化に対する社会的認知”と“ろう者と聴者が互いに共通理解を図ること”を目的とした舞台を創作した。公演のほかに制作過程を共有する公開イベントを3度実施し、協働制作の一モデルとして制作過程を記録し、広く発信した。

【開催状況】

開催日	開催場所	プログラム名	アーティスト名	入場者数(人)
8/31	東京都美術館講堂	公開トークイベント「ろう者と聴者が遭遇する舞台のつくりかた」	長島確（ドラマトゥルク）、牧原依里（構成・演出）、零境（ドラマトゥルク）、中村蓉（ステージング・ディレクター） 佐沢静枝（出演）	175
10/25	芸能花伝舎	公開稽古	『黙るな 動け 呼吸しろ』出演者・スタッフ	① 24 ② 25
11/29	東京文化会館大ホール	ろう者と聴者が遭遇する舞台作品『黙るな 動け 呼吸しろ』	日比野克彦（総合監修）、牧原依里（構成・演出）、島地保武（演出・出演）、零境（ドラマトゥルク）、長島確（ドラマトゥルク）ほか	1,603
1/28	東京藝術大学音楽学部 5-109教室	振り返りトークイベント「ろう者と聴者が遭遇するとは？」	日比野克彦（総合監修）、牧原依里（構成・演出）、島地保武（演出・出演）、零境（ドラマトゥルク）、長島確（ドラマトゥルク）	167

28

TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム
「TOKYO わっしょい」

【事業概要】

開催日	令和7（2025）年9月12日（金）、13日（土）、14日（日）
開催場所	行幸通り（東京都千代田区丸の内2丁目2）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画協力	公益社団法人全日本郷土芸能協会
特別協力	株式会社宮本卯之助商店
参加費	無料
来場者数	約113,000人

【事業趣旨（目的）】

東京の芸術文化を国内外に広く発信するとともに、2025年に開催される世界陸上・デフリンピックの機運醸成を芸術文化面から高めていくことを目的に、東京ならではの独自性や多様性を追求しながら、誰もが芸術文化の魅力に触れることができる取組として、「祭り」をテーマとしたイベントを開催する。

【開催状況】

開催日	プログラム名	出演者/出演団体
9/12	＜オープニングセレモニー＞ 木遣り・縄振り・梯子乗り	林家たい平（「TOKYO わっしょい」アンバサダー） 一般社団法人江戸消防記念会
	江戸の里神楽	松本源之助社中
	祭り神輿渡御	日本神輿協会
	和太鼓	大江戸助六太鼓 大江戸助六流 東京ろう者太鼓倶楽部 鼓友会
	盆踊	一般社団法人東京都民踊連盟 太鼓演奏：大江戸助六太鼓
9/13	祭り神輿渡御	三社祭 「浅草千和町会」「浅草町一町会」
	浅草神社のびんざさら	浅草神社のびんざさら会
	よさこい鳴子踊り	東京 YOSAKOI チーム 燦-SUN-
	樋里獅子舞	樋里獅子舞保存会
	沖縄創作エイサー	琉球舞団 昇龍祭太鼓
	鬼剣舞	二子流東京鬼剣舞
	盆踊	一般社団法人東京都民踊連盟 太鼓演奏：大江戸助六太鼓
9/14	祭り神輿渡御	山王祭「江戸橋会」 神田祭「江戸総鎮守神田明神」
	下平井の鳳凰の舞	鳳凰の舞保存会
	阿波踊り	高円寺阿波おどり連協会合同連
	水止舞	水止舞保存協力会
	柿内沢鹿踊	行山流山口派柿内沢鹿踊 柿内沢鹿踊 東京支部
	石見神楽	石見神楽東京社中
	盆踊	一般社団法人東京都民踊連盟 太鼓演奏：大江戸助六太鼓

〈体験ブース〉

開催日	ブース名
9/12～9/14	御輿（みこし）体験
	はち巻体験
	折り紙体験
	駕籠（かご）乗り体験

29

キッズ伝統芸能体験

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年9月28日（日）～令和8（2026）年3月27日（金）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団、公益財団法人立川市地域文化振興財団、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、東村山市教育委員会、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団
協賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	新宿区、台東区、立川市教育委員会
協力	公益財団法人梅若会
参加費	スタンダードプログラム15,000円（稽古16回、リハーサル・発表会） ユースプログラム15,000円（稽古10回、リハーサル・発表会） ※他に教材費・楽器のレンタル料等の実費負担あり
参加申込者数	716人
参加者数	311人
発表会観覧者数	1,551人

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能のプロの実演家が稽古にふさわしい場所で子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導を行うことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を、子供たちが自然と身につけられるような学びの場をつくり、あわせて、その成果を舞台上で発表することによって、目的意識を持って学ぶ大切さを知る機会を提供する。さらに、本格的な伝統芸能体験を通して、世界の中の日本人としての意識と感性を涵養することで、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることにつなげる。

【実施状況】

1 スタンダードプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数(人)
能楽	謡・仕舞 (観世流)	梅若能楽学院会館	9/29, 10/6, 20, 27, 11/10, 17, 12/8, 15, 22, 1/19, 26, 2/2, 9, 3/2, 9, 16	藤波重彦、清水義也、坂井音晴、田口亮二、武田崇史、寺井美喜	20
	狂言 (和泉流)			深田博治、高野和憲、月崎晴夫、中村修一、内藤達、飯田豪、野村裕基	20
長唄	三味線 [渋谷]	杵家会館	11/9, 16, 23, 12/7, 14, 1/4, 11, 18, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 8, 15, 22	杵家弥七、東音 岩田喜美子、吉住小十秀、今藤美知央、今藤政音、松永和佐比奈、芳村伊十治郎、杵屋栄日陽、東音 野呂美貴、杵屋五三吉都、東音 西野朋子、杵屋五章 ほか	21
	三味線 [新宿]	芸能花伝舎	11/16, 23, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 8, 15, 22		32
	囃子(篠笛) [東村山]	東村山市立中央公民館	11/16, 23, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 8, 15, 22	鳳聲千晴、藤舎理生 ほか	14
	囃子(篠笛) [新宿]	芸能花伝舎	11/2, 9, 16, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 2/1, 8, 15, 3/1, 8, 15, 22		16
	囃子(小鼓)			望月庸子、望月太左衛、梅屋巴、望月太津之 ほか	18

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数(人)
三曲	箏曲〔立川〕 (山田流)	たましんRISURUホール	10/19, 26, 11/9, 16, 12/7, 14, 1/11, 18, 25, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 15, 22	山登松和、上原真佐輝、伊藤ちひろ、 新井来由賀、森田博代、小室旺士	21
	箏曲〔新宿〕 (生田流)	新宿区立大久保スポーツプラザ	11/23, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 25, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 8, 15, 22	福田栄香、平野裕子、野坂操壽、青野 雅楽浪、大嶋敦子、久野木史恵、花岡 操聖、深海あいみ、石本かおり	36
	尺八	調布市文化会館たづくり	11/16, 23, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 25, 2/1, 8, 22, 3/1, 8, 15, 22	川瀬庸輔、清野樹盟、青木滉一郎	12
日本舞踊	日本舞踊 (女子)	国立劇場稽古室	11/9, 16, 23, 30, 12/7, 14, 21, 1/11, 25, 2/1, 8, 22, 3/1, 8, 15, 22	西川扇重郎、花柳吉史加、花柳笹公、 花柳梨道、松本幸凜、花柳九州光、花 柳智寿彦、藤蔭慧、藤間鶴熹、藤間直 三	26
	日本舞踊 (男子)				13
合計					249

2 ユースプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数(人)
長唄	三味線	武蔵野市民文化会館	12/27, 1/10, 24, 2/1, 8, 22, 3/1, 8, 15, 21	杵家弥七、東音 岩田喜美子、吉住小十 秀、今藤美知央、今藤政音、松永和佐 比奈、芳村伊十治郎、杵屋栄日陽、東 音 野呂美貴、杵屋五三吉都、東音 西 野朋子、杵屋五章 ほか	25
三曲	箏曲 (山田流)	新宿区立大久保スポーツプラザ	1/18, 25, 2/1, 8, 15, 22, 3/1, 8, 15, 22	山登松和、田中奈央一、武田博華、永 澤勇馬	24
日本舞踊	日本舞踊	国立劇場稽古室	12/21, 1/11, 25, 2/1, 8, 22, 3/1, 8, 15, 22	花柳九州光、花柳智寿彦、藤蔭慧、藤 間鶴熹、藤間直三	13
合計					62

3 発表会

ジャンル	コース	日程	会場	観覧者数(人)
能楽	謡・仕舞(観世流)、狂言(和泉流)	3/22	国立能楽堂	377
三曲・日本舞踊Ⅰ	箏曲〔立川〕(山田流)／箏曲〔新宿〕(生田流)／箏曲〔ユース〕(山田流)／尺八／日 本舞踊Aクラス／日本舞踊〔ユース〕	3/26	浅草公会堂	510
長唄・日本舞踊Ⅱ	三味線〔渋谷〕／三味線〔新宿〕／三味線〔ユース〕／囃子(篠笛)〔東村山〕／囃子(篠笛)〔新 宿〕／囃子(小鼓)／日本舞踊B・Cクラス	3/27	浅草公会堂	664
合計				1,551

30

子供のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

開催期間	令和7（2025）年5月～令和8（2026）年3月
実施場所	東京都内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）および各種学校として認可された外国人学校
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
助成・協力	東京都
参加者数	5,278人
実施校数	60校

【事業趣旨（目的）】

子供達が日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、プロの実演家や職人を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

【実施状況】

実施日	学校名	内容	実施団体	参加者数（人）
5/7	駒沢学園女子中学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	30
5/13	東京国際フランス学園	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	75
5/20	小平市立鈴木小学校	八王子車人形（地域の芸能）	八王子車人形 西川古柳座	157
6/4,5	足立区立新田小学校	紙切り（演芸）	一般社団法人落語協会	165
6/5	御蔵島村立御蔵島中学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	11
6/23	調布市立第六中学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	123
6/25	中野区立平和の森小学校	糸あやつり（地域の芸能）	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	134
6/25	八王子市立長房小学校	紙切り（演芸）	一般社団法人落語協会	41
6/25	墨田区立第四吾嬬小学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	27
6/30	東京都市大学付属小学校	和楽器いろいろ	公益社団法人日本三曲協会	80
7/1	世田谷区立松沢中学校	三味線	公益社団法人日本小唄連盟	90
7/2	台東区立忍岡小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	57
7/3	葛飾区立清和小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	39
7/4	府中市立府中第八小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	125
7/7	大田区立松仙小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	122
7/8	八王子市立清水小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	77
7/8	江戸川区立第五葛西小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	105
7/10	西東京市立保谷中学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	144
7/11	渋谷区立原宿外苑中学校	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	117
7/11	東京都立大江戸高等学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	158
7/15	白梅学園清修中学校	三味線	清元協会	74
7/16	昭島市立田中小学校	落語（演芸）	一般社団法人落語協会	55
8/26	江東区立枝川小学校	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	158
9/2	墨田区立隅田小学校（特別支援学級）	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	17
9/3	足立区立青井小学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	55
9/4	葛飾区立青戸中学校	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	184
9/5	昭島市立光華小学校	江戸表具（伝統工芸）	石井三太夫表具店	86
9/16	練馬区立大泉第二小学校	江戸木版画（伝統工芸）	株式会社高橋工房	116
9/19	大田区立新宿小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	48
10/18	清瀬市立清瀬第四小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	77
10/20	荒川区立尾久小学校	雅楽	一般社団法人雅楽協会	69
10/21	杉並区立浜田山小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	140
10/27	杉並区立井草中学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	172

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信

実施日	学校名	内容	実施団体	参加者数（人）
10/28	目黒区立五本木小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	53
10/31	世田谷区立駒沢中学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	96
11/5	北区立浮間中学校（特別支援学級）	箏	公益社団法人日本三曲協会	20
11/7	豊島区立清和小学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	181
11/14	日野市立平山小学校	東京手描友禅（伝統工芸）	東京都工芸染色協同組合	115
11/26	東京都立小金井工科高等学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	55
11/27	東京都立羽村高等学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	22
11/28	西東京市立田無第一中学校（特別支援学級）	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	46
12/1	杉並区立荻窪中学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	88
12/9	江東区立南砂小学校	歌舞伎音楽	一般社団法人長唄協会	57
12/15	多摩市立聖ヶ丘中学校	三味線	清元協会	100
12/15	中央区立中央小学校	落語（演芸）	一般社団法人落語協会	61
12/17	江戸川区立東小岩小学校	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	63
12/18	調布市立富士見台小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	113
12/19	東京都立八王子南特別支援学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	83
12/22	瑞穂町立瑞穂第二小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	51
12/22	東京都立立川国際中等教育学校附属小学校	雅楽	一般社団法人雅楽協会	68
12/22	練馬区立豊玉第二中学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	82
12/23	板橋区立高島第三小学校	落語（演芸）	一般社団法人落語協会	60
12/23	江戸川区立第二葛西小学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	161
1/20	江東区立第三砂町小学校	和楽器いろいろ	公益社団法人日本三曲協会	98
1/23	青梅市立若草小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	78
2/9	板橋区立新河岸小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	24
2/14	板橋区立板橋第七小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	59
2/17	連雀学園三鷹市立第六小学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	140
2/25	昭島市立玉川小学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	75
3/18	西東京市立保谷第一小学校	和楽器いろいろ	公益社団法人日本三曲協会	101
合計				5,278

31

パフォーマンスキッズ・トーキョー

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年5月1日（木）～令和8（2026）年3月21日（土）
実施場所	ホール5か所（新宿文化センター、野方区民ホール、狛江エコルマホール、プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）、あきる野ルピア）、学校・児童養護施設等24か所
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センターのみ）
共催	野方区民ホール指定管理者（野方区民ホールのみ）、 一般財団法人狛江市文化振興事業団（狛江エコルマホールのみ）、 羽村市教育委員会（プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）のみ）、 あきる野ルピア（あきる野ルピアのみ）
助成・協力	東京都
参加費	無料（子供の参加、公演観覧いずれも）
子供参加者数	1,017人
観覧者数	7,601人

【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

【実施状況】

会場		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校	中央区立阪本小学校	吉崎裕哉（舞踊家、振付家）	12/15,17,2/9,10,16,24,25,3/3,4	9	6年生1クラス	26	『さあ ころやかに もっととおくへ!』	3/4	80
	新宿区立早稲田小学校	辻田暁（ダンサー、俳優）	9/2,9,30,10/14,21,28,31,11/4,5,8	10	3年生3クラス	97	『ぞうれっしゃがやってきた』	11/5,7,8	786
	文京区立湯島小学校	岡本 優（振付家、ダンサー）	1/19,26,29,2/18,26,28	6	特別支援学級1～6年生	15	『そうぞう と からだ で あそぶ』	2/28	25
	台東区立上野小学校	森下真樹（振付家、ダンサー）	9/17,10/8,11/21,26,12/3,10,16,19,20	9	5年生2クラス	67	『みんな違ってみんないい! ～69人69色 ロックだぜ～』	12/20	100
	墨田区立中和小学校	長与江里奈（ダンサー、演出家）	7/7,9/4,8,22,10/8,27,11/5,17,21,22	10	特別支援学級2、3、4、6年生	10	『Moji-1グランプリ』	11/21,22	300
	江東区立第五大島小学校	仁科幸（ダンサー、振付家）	7/18,8/28,9/1,5,26,27	6	特別支援学級1～6年生	28	『9月だけど……、チュッ! 夏バ～ティ』	9/27	50
	世田谷区立松沢小学校	北川結（ダンサー、振付家、イラストレーター）	6/18,20,7/9,11,9/5,10,17,19,20	9	特別支援学級1～6年生	20	『キハダ・セレブレーション!』	9/20	120
	練馬区立豊玉第二小学校	中村 蓉（振付家、ダンサー）	5/1,12,16,21,23,28,30,6/1	8	5、6年生2クラス	77	『今から、人生を動かす!!!!』	6/1	586
	足立区立鹿浜未来小学校	東野祥子（振付家、ダンサー）	10/6,21,31,11/11,12,25,12/4,5,6 ※11/26予定が感染症流行のため中止	9	6年生2クラス	52	『鹿浜サイド物語（ストーリー）～未来へ～』	12/5,6	610
	八王子市立高嶺小学校	鈴木春香（振付家、ダンサー）	9/17,10/1,8,9,15,16,11/5,8	8	4年生2クラス	47	『たま もの たち』	10/16,11/8	590
	三鷹市立北野小学校	井田亜彩実（振付家、ダンサー）	9/8,26,10/2,7,9,14,16,18	8	4年生3クラス	98	『カラフル☆フルパワー』	10/18	500

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信

会場		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校	日野市立日野第三小学校	アオキ裕キ（ダンサー、振付家）	8/29,9/9,10/7,28,11/4,7,13,14,15	9	特別支援学級1～6年生	33	『道 ～未来（あした）に向かって～』	11/14,15	1000
	清瀬市立清瀬第十小学校	小暮 香 帆（ダンサー、振付家）	9/29,11/6,7,14,17,20,26,27	8	特別支援学級1～6年生	13	『ほころびの輪』	11/27	15
	稲城市立向陽台小学校	棚川寛子（舞台音楽家）	9/25,10/22,30,11/10,21,27,12/8,18,22,23	10	6年生2クラス	59	『オフエリアと影の一座』	12/23	400
	江戸川区立二之江中学校	井田亜彩実（振付家、ダンサー）	11/26,12/9,16,1/13,14,20,2/12,14	8	2年生4クラス	155	『Don't Stop to Imagine!!』	2/14	140
	小金井市立小金井第一中学校	北尾 亘（振付家、ダンサー、俳優）	12/19,1/22,29,2/5,12,17,19,26,27	9	特別支援学級1～3年生	13	『カメとビューマとフラミンゴ』	2/17,27	700
	武蔵村山市立第三中学校	鈴木ユキオ（振付家、ダンサー）	11/17,26,12/4,10,15,1/9,16,17	8	チャレンジクラス1～3年生	17	『カラダの力』	1/17	15
	東京都立田園調布特別支援学校	康本雅子（振付家、ダンサー）	9/17,11/19,28,12/10,19,1/9,16,20,24	9	高等部3年生	29	『ドリーム・バラード』	1/20,24	300
	杉並区立済美養護学校	セレノグラフィカ（ダンスカンパニー）	9/18,10/14,15,11/13,14,27,28,12/4,5,6	10	小学部5年生	16	『あっぱれバラード2025』	12/4,6	150
合計				163	合計	872	合計		6,467

会場名		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校／島しょ部	八丈町立三根小学校	酒井直之（振付家、ダンサー）	12/19,1/15,16,22,23,27,28,29,30,2/1	10	特別支援学級1～4年生	6	『踊ろう！ハッピーバースデー』	2/1	250
	新島村立新島中学校	横山 彰 乃（ダンサー、振付家）	8/26,27,9/8,9,17,24,25,26,30,10/1,2,3,5	13	1～3年生	42	『新中生は天然色』	10/5	200
合計				23	合計	48	合計		450

会場名		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
ホール	新宿文化センター	青木尚哉（振付家、ダンサー）	2/8,22,23,3/7,14,19,20,21	8	小学2年生～中学1年生	16	『みちかけ』	3/21	147
	野方区民ホール	横山 彰 乃（ダンサー、振付家）	6/28,29,7/5,12,13,19,20,21	8	小学3年生～中学2年生	15	『すこし、でもとてもふしぎな』	7/21	110
	狛江エコルマホール	田村一行（大駱駝艦舞踏手、振付家、演出家）	8/4,6,7,8,13,14,15,16,17	9	小学3年生～高校3年生	23	『牛とドーナツと私のかたち』	8/17	210
	プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）	仁田晶凱（振付家、ダンサー）	8/5,7,8,19,20,22,23,24	8	小学3年生～小学6年生	15	『トークカラー』	8/24	79
	あきる野ルピア	松岡大（舞踏家）	7/28,29,31,8/1,3,4,9,10,11	9	小学4年生～小学6年生	8	『ハロー 俊太郎！』	8/11	79
合計				42	合計	77	合計		625

会場名		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
児童養護施設	広尾フレンズ(渋谷区)	小暮 香 帆 (ダンサー、振付家)	5/17,6/22,7/20,8/10,23,9/7,21,28	8	小学1年生～中学1年生	8	『ゆるる、とまる、ふれる』	9/28	50
	星美ホーム(北区)	田畑真希 (振付家、ダンサー)	8/26,9/13,10/11,11/1,12/26,1/10,2/14 ※2/7予定が感染症流行のため中止	7	3歳～年長	6	『きらりん☆フェスティバル』	2/14	9
	養育家庭の会つくし小平支部 (小平市)	北川結 (ダンサー、振付家、イラストレーター)	3/20	1	小学1年生～高校3年生	6	—	—	—
合計				16	合計	20	合計		59

※実績日数は発表を含む

32

ネクスト・クリエイション・プログラム
キッズユースオープンキャンパス

【事業概要】

実施日	令和7（2025）年8月8日（金）、10日（日）
実施場所	東京藝術大学 上野キャンパス、玉川大学
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国立大学法人東京藝術大学、玉川大学
参加費	無料
参加申込者数	東京藝術大学1,551人／玉川大学455人
参加者数	東京藝術大学196人／玉川大学104人

【事業趣旨（目的）】

子供たち一人一人が自らの興味関心に応じた芸術文化分野への理解や経験を一層深めるために、芸術系大学の教授などが講師となり、つくる・表現する・思考する楽しさを実感できる機会を提供する。

【実施状況】

開催日	会場	プログラム名	講師	内容	定員（人）	参加者（人）
8/8	東京藝術大学 上野キャンパス	1.「自画像」を描くー藝大 油画の伝統に倣って	宮本武典（准教授）、吉田晋之 介（助教）、梶雄介（教育研究 助手）、【写真家】志鎌康平（外 部講師）ほか	油画（西洋画）専攻卒業課題の 伝統に倣い、「自画像」を描いた。 制作と鑑賞を通して「いま、わ たしたちが生きている社会」と 「ほんとうの自分」について、い つもよりも少し掘り下げて考え る機会となった。	30	24
		2. 地金からつくる金属のア クセサリー	岩田広己（教授）、志村和彦（教 授）、三枝一将（准教授）、中安 麗（テクニカルインストラク ター）、見目未果（テクニカル インストラクター）、鎌田晶（教 育研究助手）、石内寧（教育研 究助手）ほか	食べ物として認識している「イ カ」や普段日常的に触れる素材 である「紙」で金属を流し込む 型を制作し、鑄造技法でアクセ サリーや小物を制作した。	30	27
		3. 自分だけの大きな花をつ くろう！	丸山素直（准教授）、倉田明佳（テ クニカルインストラクター）、 垂見幸哉（テクニカルインスト ラクター）、高井碧（教育研究 助手）ほか	藝大生と一緒に大きな色画用紙 を花びら形に切って、絵を描い て装飾し、組み立てて自分の身 長ほどの大きな花をつくった。 完成後、一人一人大きな花を持 って、鑑賞会を実施した。	30	25
		4. 藝大とあそぼう「サクソ 解体新書」	本堂誠（非常勤講師）、山本航 司（外部講師）、清水舞花（外 部講師）、蒙和雅（外部講師）、 嵐田紀子（外部講師）、松岡あ さひ（准教授）、楠田健太（准 教授）、阿南一徳（教授）、小宮 山雄太（准教授）、亀川徹（教授）、 山田香（准教授）、東英絵（テ クニカルインストラクター）、 伊藤明日奈（教育研究助手）、 杉山栄（外部講師）、徳永芽久（教 育研究助手）、植村真（教育研 究助手）ほか	吹奏楽やジャズ、ポップスなど を通して見聞きする機会が多い サクソ（サクソフォン）。 音楽学部管打楽器科サクソ専 攻の教員・学生・卒業生が、そ の魅力を余すところなく伝えた。	100	70
		5. 日本の音・尺八を吹いて みよう	藤原道山（准教授）、神令（教 育研究助手）、長谷川将山（教 育研究助手）、石橋紅蓮（外部 講師）ほか	藝大教員による演奏とともに、 尺八の歴史や楽器の構造などを 学んだ。さらに実際に楽器の体 験をすることで楽しみながら日 本の音楽に触れた。	30	28
		6. 地域でのアート活動 フィールドワーク	日比野克彦（学長）、菊地良太（特 任講師）、木戸龍介（特任准教 授）、赤坂有芽（特任講師）、畑 まりあ（特任助教）、諏訪春佳（特 任助手）、吉田有徳（特任助手）、 平井亨季（教育研究助手）、岡 崎未樹（学芸研究員）	全国で展開している明後日朝顔、 その種は藝大にも伝わり、上野 周辺の住民にも浸透している。 朝顔を通して地域の取材を行い、 明後日新聞をつくった。	30	22

開催日	会場	プログラム名	講師	内容	定員（人）	参加者（人）
8/10	玉川大学	1. みんなでつくるなんでもワイルドパーク「Dance×Light×Object（からだ×ひかり×もの）」 A【ダンスグループ】／B【照明グループ】／C【美術グループ】	楠原竜也（准教授）、赤羽佳奈（講師）、長峰麻貴（准教授）ほか	ダンス、照明、造形（美術／衣裳）の3グループに分かれて、合同で「ミニパフォーマンス」ステージをつくった。	45	46 ※ キャンセル補填のため対応可能な範囲で余剰当選を案内
		2. Actor Training in English	アーカリ,ジェイスン（教授）ほか	ヨーロッパでの現代俳優トレーニングのメソッドを基にして、日英両方の言葉を交えて演技の基礎を学ぶ。英語が話せる必要はなく、パフォーマンスや演劇の楽しさを学んだ。	20	7
		3. 運動会で踊った「多喜雄のソーラン節」を唄って、和楽器で演奏して、みんなで表現しよう！	清水宏美（教授）、渡辺明子（教授）、小林史子（准教授）ほか	日本人として、「和の精神」をもって「日本音楽を創造」する。自分のもつ声（唄）と身体（踊り）をフルに使い、和楽器の三味線や和太鼓を奏でながら表現。関心のある「唄・踊り・三味線・和太鼓」を自ら選び、部屋に分れて体験し、最後は全員で、演奏発表を行った。	40	14
		4. 「木のかわで かたちをつくって あそぼう」～間伐材で、森を手入れする大切さを伝えよう～	堀場絵吏（講師）ほか	剥皮間伐という手法で採集された樹皮をつかって、クラフトボードに思い思いのモチーフを制作し、間伐材として有効利用していくことの大切さについて考えた。	20	18
		5. 自分だけの絵の具をつくって描いてみよう	児玉沙矢華（講師）ほか	玉川にある自然の素材などを原料に、自分だけの絵の具を手作りし、絵を描く。作った絵の具の色や質感、素材から、イメージを広げて描いた。	20	19

33

ネクスト・クリエイション・プログラム こどもファッションプロジェクト

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年7月31日（木）～12月21日（日） 令和7（2025）年12月21日（日）成果発表会
実施場所	文化服装学院、Tokyo Innovation Base、ヒロコシノ本社、東京都庁、EASE MEGURO、SABFA
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特別協力	株式会社ヒロコシノ
運営協力	文化服装学院
協力	株式会社資生堂、宇仁繊維株式会社、遠孫織布株式会社、株式会社KAWAGUCHI、専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー、株式会社トーマネ、TOKYO REBELS, Inc.、パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社、ヒロコシノインターナショナル株式会社、株式会社BMファン、株式会社ボンマックス、株式会社松原、株式会社丸東、宮下織物株式会社
参加費	無料
参加申込者数	プログラム423人／成果発表会申込者数409人
参加者数	プログラム140人／成果発表会来場者数357人

【事業趣旨（目的）】

身近なファッションや洋服を題材に、各分野の第一線で活躍するプロによる指導のもと、子供たちが洋服の制作やモデル、撮影などの役割に分かれて、ファッションの世界を体験する。

【実施状況】

開催日	会場	コース名	講師名	内容	参加者（人）
7/31, 8/4, 5, 12/21	文化服装学院、Tokyo Innovation Base	0.ファッションアカデミー	コシノヒロコ（デザイナー）、小篠ゆま（クリエイティブディレクター）、文化服装学院講師・野沢彰（ウィービングデザイン 専任教授）、伊藤望（アパレル染色 専任教授）、菅野めぐみ（アパレル素材論 専任講師）、吉村とも子（アパレル品質論 専任講師）、増田美砂希（アパレル染色 専任助手）	ぬいぐるみの洋服をつくるプログラム。テキスタイルや洋服制作について学び、デザインから実制作までの工程を体験して、世界で1体だけのオリジナル作品に仕上げた。	98
9/14, 10/5, 26, 11/23, 24, 12/21	ヒロコシノ本社、東京都庁、EASE MEGURO、Tokyo Innovation Base	1.イベントプロデューサー（演出・進行）	半田誠（イベントプロデューサー）	ファッションムービー撮影を含むファッションイベントをスムーズに進行させるよう、プロの仕事を見ながら、モデルオーディションやウォーキングレッスン、ファッションムービー撮影、さらに成果発表会まで、イベント全体の運営を体験した。	2
9/28, 10/5, 11/23, 24, 12/21	ヒロコシノ本社、東京都庁、EASE MEGURO、Tokyo Innovation Base	2.スチールカメラ	ZIGEN（写真家）	プロ用の撮影機材を使ってモデルの動きを追いながら、まとう洋服をいかに魅力的に見せるか、モデルをいかに美しく撮影するか、プロの指導を受けながら学んだ。	6
9/28, 10/5, 26, 11/9, 16, 23, 24, 12/14, 21	ヒロコシノ本社、東京都庁、EASE MEGURO、Tokyo Innovation Base	3.動画撮影・編集	桑野徹（映像ディレクター）	ファッションムービーの撮影に加えてファッションムービー制作プログラム全体も記録。全体オリエンテーションやモデルオーディション、モデルのウォーキングレッスン、コーディネート、リハーサルを経てムービー撮影本番まで、プロの指導のもとメイキング動画を撮影した。	2
9/14, 10/5, 11/9, 16, 23, 24, 12/21	ヒロコシノ本社、東京都庁、EASE MEGURO、Tokyo Innovation Base	4.スタイリスト	藤崎コウイチ（スタイリスト）	モデルオーディションやコーディネートにも参加して、ファッションムービーに出演するモデルの服装をスタイリングした。洋服だけでなくアクセサリーや雑貨など、プロのスタイリストがファッションショー向けのスタイルを作り上げていくまでを学んだ。	5

開催日	会場	コース名	講師名	内容	参加者 (人)
10/5, 19, 11/23, 24, 12/21	ヒロコシノ本社、東京 都庁、SABFA、EASE MEGURO、Tokyo Innovation Base	5.ヘアメイク	鈴木節子（ヘアメイクアッ プアーティスト）、原田忠 （資生堂トップヘアメイク アップアーティスト）	デザイナーの意向やシチュエーションを考 えながら、モデルやコーディネートに合っ たメイクやヘアセットを施すヘアメイク アーティストについて学んだ。ファッショ ンムービーのリハーサルや撮影当日は、ブ ロのヘアメイクアーティストをアシストし た。	6
10/5, 26, 11/9, 16, 23, 24, 12/21	ヒロコシノ本社、東京 都庁、EASE MEGURO、 Tokyo Innovation Base	6.モデル/パフォー マー	清水沙也佳（モデル・DJ、 ウォーキング講師）、松川 エミリア（モデル）	洋服やスタイリングの魅力を最大限に伝え るモデルを体験。ファッション業界での通 例どおり、出演までにオーディションによ る選考があり、撮影前に美しい姿勢や歩き 方、動き方などについて現役モデルから レッスンを受けて撮影本番に臨んだ。	21

34

ネクスト・クリエイション・プログラム ファンタジスタ ～アートとデザインで切り拓く未来のキャンバス～

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年8月19日（火）～11月24日（月・振休） 令和7（2025）年11月7日（金）～9日（日） 渋谷ヒカリエ8/COURT 成果作品展 令和7（2025）年11月20日（木）～24日（月・振休） 葛西臨海水族園 展示
実施場所	多摩美術大学 上野毛/八王子キャンパス、葛西臨海水族園、高尾の森わくわくビレッジ、渋谷ヒカリエ
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、学校法人多摩美術大学
協力	葛西臨海水族園（公益財団法人東京動物園協会）、高尾の森わくわくビレッジ、高尾の森自然学校（運営：一般財団法人セブン-イレブン記念財団）
協賛	京王電鉄株式会社、株式会社NTT ドコモ
参加費	無料
参加申込者数	小学生コース606人／中高生コース94人
参加者数	ワークショップ（延べ人数）小学生コース369人／中高生コース167人 ※複数プログラム参加者は重複して計上
展示来場者数	3,951人（渋谷ヒカリエ8/COURT 1,393人／葛西臨海水族園 2,558人）

【事業趣旨（目的）】

教育機関等と連携し、子供たちがアート作品制作を通じて、社会課題についても学びを深め、制作した作品を多くの人に鑑賞してもらえる形で発表することで、行動変容を引き起こすようなプログラムを開催する。

【実施状況】

開催日	会場	プログラム名	講師名	内容	参加者数 (人)
8/19,21,10/4	葛西臨海水族園、多摩美術大学 上野毛キャンパス	【A】UPCYCLE／海の生物の表現 廃棄アクリルパーティーションでつくる海の生き物 (小学生コース)	濱田芳治（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、上田壮一（一般社団法人 Think the Earth 理事）、宮崎光弘（多摩美術大学名誉教授）、川口幹子（一般社団法人対馬里山繋ぎ 代表理事/株式会社ブルーオーシャン対馬代表取締役）、尾形達（多摩美術大学生産デザイン学科 准教授）、宮崎寧子（葛西臨海水族園スタッフ）、田中隼人（葛西臨海水族園スタッフ）	葛西臨海水族園でガイドから海の生態系についての話を聞いた後、海の生き物を観察し、スケッチを行った。コロナ禍で使われた不要なアクリルパーティーションを再利用し、原画をもとに切り出して着色したアクリルプレート作品を制作。また、海洋プラスチックゴミ問題について対馬からオンラインレクチャーを行い、海を守る大切さについて考える時間を設けた。	138 (延べ人数)
8/24, 9/6	多摩美術大学 上野毛キャンパス	【B】UPCYCLE／1枚の布 ワークショップ：廃棄布を使用したキャンバスバッグ (小学生コース)	濱田芳治（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、尾形達（多摩美術大学生産デザイン学科 准教授）、高橋庸平（多摩美術大学グラフィックデザイン学科 准教授）、田遠裕太（多摩美術大学メディアセンター 職員）、黒田祥文（株式会社NTTドコモ）、山口蓉（株式会社NTTドコモ）	デッドストックの布をキャンバスにして、子供たちが思い思いに描いた「私の、僕の好きな世界」を大きなトートバッグとして仕上げた。また、様々な形状のバッグを実際に分解することで、モノがどのように作られているかを体験的に学び、モノの構造に関心をもつことで、物事を深く読み取る力へと繋がった。モノを大事にする、捨てないでもう一度使おうとする「工夫する思考」を培うプログラムを、アートの表現力を培うプログラムと重ねて行った。	126 (延べ人数)
(小学生コース) 10/18,10/26 (中高生コース) 10/19,10/25, 11/1,2,3	高尾の森わくわくビレッジ	【C】Poiesis／全て自然物でつくる 材料全てを身の周りの森から調達してつくる生き物の彫像 (小学生コース・中高生コース)	(小学生コース) 濱田芳治（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、和田達也（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、尾形達（多摩美術大学生産デザイン学科 准教授）、奇正彦（立教大学スポーツウエルネス学部 准教授） (中高生コース) 濱田芳治（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、尾形達（多摩美術大学生産デザイン学科 准教授）、木村剛士（多摩美術大学彫刻学科 准教授）、奇正彦（立教大学スポーツウエルネス学部 准教授）	森の中にある植物など、自然の中で土に還る素材だけを使って生き物の彫像を制作した。 森のネイチャーガイドを受け、自然への理解を深めながら、多摩美術大学の学生が自らの制作経験をもとに、子供たちへ彫像のつくり方や素材の扱い方を伝えながら制作を進めた。動物をいろいろな角度から見ていく視点を伝え、立体造形感覚を培うことで、モノへ対する深い観察力へと繋がった。作品は展示発表の後、プログラム会場である高尾の森わくわくビレッジの自然へ還し、自然循環を体験的に学ぶ機会となった。	176 (延べ人数)

開催日	会場	プログラム名	講師名	内容	参加者数 (人)
8/30,9/7,10/5	多摩美術大学 八王子キャンパス	【D】UPCYCLE／＋ 3Dプリンター、紙飛行機の飛ぶ原理 ワークショップ：3D プリントパーツを廃棄物に組み込んだ新しい 道具づくり 紙飛行機の飛ぶ原理 ワークショップ＋ Input lecture (中高生コース)	濱田芳治（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、久保田晃弘（多摩美術大学情報デザイン学科 教授）、永井一史（多摩美術大学統合デザイン学科 教授）、尾形達（多摩美術大学生産デザイン学科 教授）、加藤佑（ハーチ株式会社 代表取締役）、田遠裕太（多摩美術大学メディアセンター 職員）	不要になったものに3Dプリンターで作ったパーツを組み込んで新しい道具へ作り変えることで、身の回りのものを「使える部品」として見る視点を持ち、多くの工夫や活用方法が生まれることを体験した。また、紙飛行機づくりを通して、子供たちが遊びながら飛行の原理を体験し、理論だけでは捉えにくい自然の仕組みへの理解を深めた。	96 (延べ人数)
11/7～11/9	渋谷ヒカリエ 8/COURT	—	—	制作した作品を観てもらうこと、評価や感想を得ることで子供たちにとって大事な学びの機会とした。「子供たちの内にある感性や創造性、その可能性を示す展示会」を目指し、子供たちの作品によりそれが体現された展示会となった。自分の作品が展示されていることに高揚し、自信が芽生えていく子供たちの姿を数多く見ることができ、アートが未来を切り拓く感性を育むその現場を、来場者に体感してもらえる展示空間となった。	—
11/20～11/24	葛西臨海水族園 ガラスドーム	—	—	小学生コース「UPCYCLE/海の生物の表現」で制作した廃棄アクリルパテーションでつくる海の生き物を展示した。観察を行った葛西臨海水族園のガラスドームで、自分たちが制作した魚の作品が、実際に空間の中を泳いでいるかのように見える展示を行った。観察から制作、そして展示までを1つの大きな流れとして構成することで、部分的な最適化だけでは得られない、より深い体験が子供たちの中に育まれることを期待した。	—

35

ネクスト・クリエイション・プログラム 映画と夏の7日間

【事業概要】

実施日	【ワークショップ】令和7（2025）年7月26日（土）、27日（日）、8月3日（日）、10日（日）、17日（日）、23日（土）、24日（日） 【上映会】令和7（2025）年9月21日（日）
実施場所	東京都庁、東宝スタジオ、東京都写真美術館1階ホール
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特別協力	株式会社分福
運営協力	東宝スタジオ
協力	パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社、 早稲田大学映像制作実習早稲田大学土田是枝研究室、一般社団法人こども映画教室®
参加費	無料
参加申込者数	ワークショップ221人／上映会170人
参加者数	ワークショップ26人／上映会170人

【事業趣旨（目的）】

子供たちにとって身近な映画をテーマに、一人ひとりのコミュニケーション能力や、表現したものが他者にどのように伝わるのかを考え、表現する力を育む。

【実施状況】

開催日	会場	講師名	内容	参加者（人）
7/26, 27, 8/3, 10, 17, 23, 24, 9/21	東京都庁、東宝スタジオ、 東京都写真美術館1階ホール	是枝裕和、長谷川剛（音響効果 技師）、上野千蔵（撮影監督）、 砂田麻美、今中康平、川又藍、 比嘉さくら、寺田ともか、金子 実怜奈、山浦末陽	鑑賞・企画・撮影・編集までの一連の映画づくりを7日 間で体験することで、映像リテラシーや表現する楽しさ、 工夫する面白さを学んだ。完成した作品を本格的な上映 設備を有するホールにて、一般来場者や保護者に向けて 上映し、自らが表現したものがどのように伝わるのかを 学び、表現の奥深さや視野を広げた。	26

東京アートポイント計画 文化創造拠点の形成

東京アートポイント計画は、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すためのさまざまな「アートポイント」をつくる事業である。教育機関や企業等の多様な主体と連携しながら、NPO*を軸に、区市町村、東京都、アーツカウンシル東京などが共催で事業を行っている。

当たり前を問い直す、課題を見つける、異なる分野をつなぐ—そうしたアートの特性をいかし、実験的なアートプロジェクトを通して、個人が豊かに生きていくための関係や仕組みづくり、コミュニティ育成に取り組んでいる。

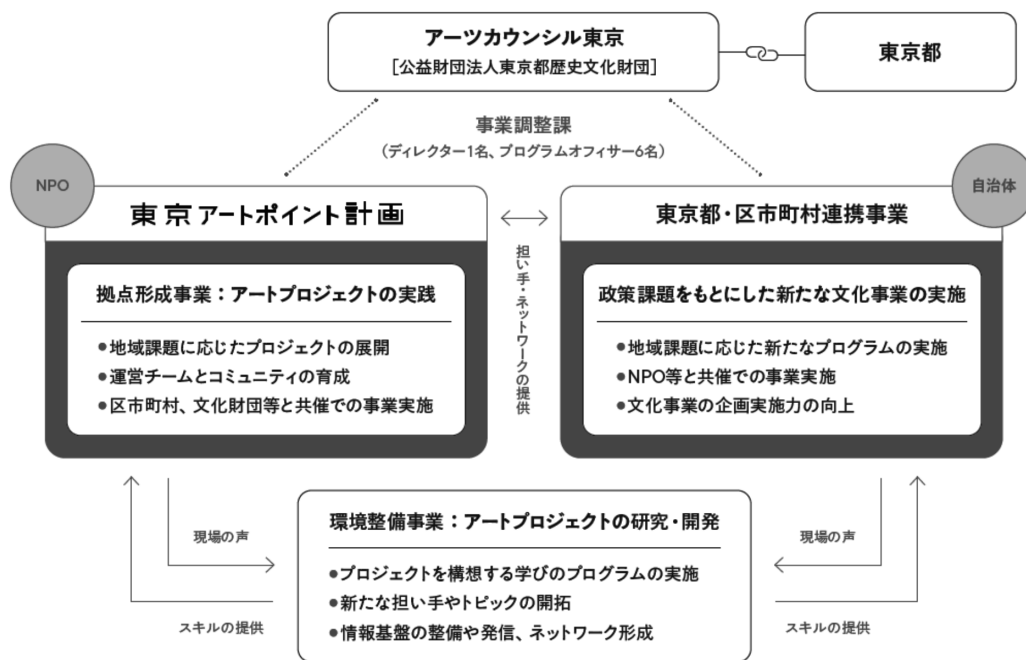
* NPO法人のほか、一般社団法人、社会福祉法人など非営利型の組織も含む

民間と公共でパートナーシップを組み、年間を通した活動（プロジェクト）を実施 「プログラムオフィサー」が伴走し、チームの体制づくりから協働する

東京アートポイント計画では、東京都、アーツカウンシル東京、NPOの3者による「共催事業」としてアートプロジェクトを実施している。プロジェクトの立案、実施、振り返りまで、3つの組織がプロセスを共有し、話し合いつつ、事業と組織の進捗に合わせ、じっくり推進していけるところが特徴である。

また、事業費だけでなく運営費も支出可能なことや、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供するなど、NPOが事業を実施し継続するための体制づくりや土台づくりから関わり、アートプロジェクトの環境整備を行っている。

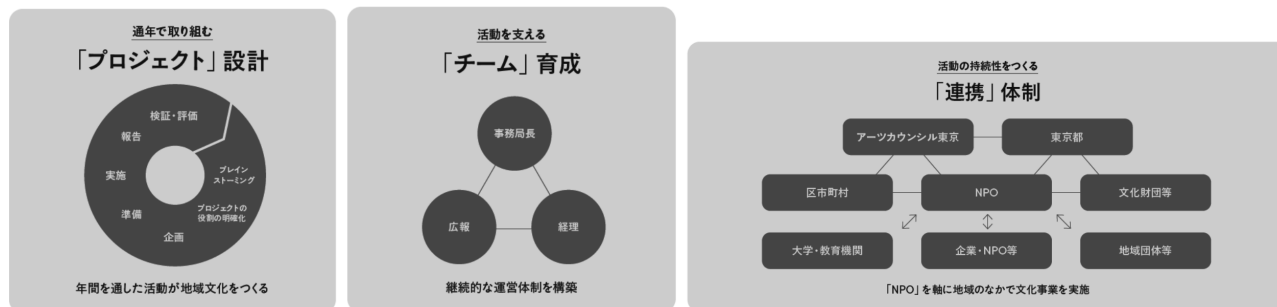
2024年度からは東京都・区市町村連携事業も担当し、「政策」を担う東京都や区市町村と、「事業」の企画・運営を担うNPO等との間に立つアートマネジメントの専門職として、現場を動かしている。文化政策と事業をつなぐ役割を担うことで、文化事業としての社会的意義を高めることを目指している。



「チーム力」や「ネットワーク」を育むための「学びあい」の機会を提供

アートプロジェクトの運営サイクル（企画、準備、実施、報告、検証・評価）を円滑に動かす「チーム」づくりや、多様な人がかかわる活動を支える拠点づくりを重視し、様々な取り組みを行っている。東京アートポイント計画に参加する団体が集まる「事務局による事務局のためのジムのような勉強会（通称：ジムジム会）」では、広報やウェブサイト制作などの実務的な課題を共有し、事業を進めるなかで得た知見を学び合うなど、実際のネットワーキングの機会となっている。また、「Tokyo Art Research Lab（TARL）」では、アートプロジェクトを実践する中で見えてきた現場の課題に応じたプログラムやコンテンツの開発、ウェブサイトなどプラットフォームの運営などを通じて、アートプロジェクトを実践する人々に向けた学びの場を開き、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指し実践を続けている。

東京アートポイント計画の3つの特徴



研究・開発の成果を広く社会にひらく

「まち」をフィールドに人々の営みに寄り添い、アートを紹介して問いを提示するアートプロジェクトを紐解くため、活動から見てきたトピックをもとにゲストを招き、事例紹介やディスカッションを通じて新たな「ことば」を紡ぐイベント「Artpoint Meeting」を定期的開催している。また、アートプロジェクトの実践の中から生まれる現場の声をもとに、事業の記録や評価を見据えた運営手法を研究・開発し、その成果をまとめた冊子や映像などの資料をTARLウェブサイトにて無料で公開している。事業の中で生まれた成果やメソッドを広く社会に開くことで、アートプロジェクトの実践を促進し、文化創造拠点の形成に取り組んでいる。

広報活動・発信メディア

○Tokyo Art Research Lab（TARL）ウェブサイト <https://tarl.jp/>

東京アートポイント計画が運営するアートプロジェクトの担い手のためのプラットフォームとして、様々なプロジェクトや関わってくださったひとびとを紹介している。資料室では、東京アートポイント計画やTokyo Art Research Labで制作したアートプロジェクトの企画・運営や研究のための資料を無料で公開。書籍、広報物、ウェブサイト、映像、音などがある。資料の一部は取り寄せも可能。

[公開資料数] 357点

○Tokyo Art Research Lab YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/tarl302>

アートプロジェクトに関する講座やプロジェクトの記録映像を公開している。

[チャンネル登録者数] 3,430人

[動画数] 128本

○東京アートポイント計画 note <https://note.com/tokyoartpoint/>

アートプロジェクトの舞台裏での試行錯誤や、現場の記録を発信中。

[フォロワー] 3,405人

○東京アートポイント計画 Facebook <https://www.facebook.com/tokyoartpointproject/>

[フォロワー] 3,407人

○東京アートポイント計画 X（旧Twitter）https://x.com/tarl_office

[フォロワー] 1,774人

○メールニュース「Artpoint Letter」

毎月1回、実施しているプロジェクトや関連プログラム、コラム、レポートなどの情報を配信している。Tokyo Art Research Lab（TARL）ウェブサイトのTOPページ最下部（<https://tarl.jp/>）から購読の申し込みが可能。

[配信者数] 3,784人

○「それ、もしかしたらアートプロジェクトの出番かも？」<https://tarl.jp/archive/artproject-kamo-book/>

アートを「関係をつくるための行為」として捉えてみることで、従来とは異なる視点やアプローチがひらけるのではない。そんな気づきをもとに、東京アートポイント計画の一環として取り組んだアートプロジェクトや、各地でのユニークな事例を取りあげ、ストーリー仕立てで解説した冊子。地域の現場に向き合うためにそのような方法があるのかを、東京アートポイント計画が培ってきた知見をもとにまとめた。

36

ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	東京都国立市全域
主 催	東京都、国立市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKT
参加者数	10,911人

【事業趣旨（目的）】

子育て、福祉、高齢化問題、インキュベーションなど様々な地域課題を、アートプロジェクトを通して横断的に協働する場所や交流の機会をつくり、国立市および多摩地域の人々の生活の質を高めることを目指す。「文化と芸術が香るまちくにたち」の実現を掲げ、令和元年度に開始した国立市文化芸術推進計画に基づき、市内外の文化活動や様々な分野の担い手との連携を軸とした事業展開を行う。

【実施状況】

1. 事業コーディネートの体制づくり

令和7年度はニーズ等の情報収集を引き続き行い、市内を中心とした文化や芸術に関わる団体・人との参画や連携に取り組んだ。

また、インターンを加え、各プログラムの支援や広報誌「〇ZINE」の執筆及び制作補助、情報発信のサポートなど、事業の推進に柔軟に対応できる体制を築いた。

2. 拠点形成事業「遊〇地（ゆうえんち）」

地域の様々な活動や情報のプラットフォームとなる拠点形成を目的とし、地域内の遊休施設等の活用を目指すとともに、ひとつの拠点に留まらず、市内の小さな拠点づくりやそのネットワーク形成をプログラム「遊〇地（ゆうえんち）」として展開した。

(1) 拠点運営「さえき洋品●（てん）」

JR南武線谷保駅南口駅前の2階建ての活動拠点「さえき洋品●（てん）」の運営を行った。ACKTの担当者による定例会議及び各プログラムのミーティングの会場としての使用のほか、「ただの店」や「GREEN GREETINGS」の交流拠点として活用した。

(2) 拠点プログラム「ただの店」

金銭の授受が発生しないことでその場での新たな「価値観の授受」が生まれることを目指す「ただの店」を実施した。プログラムにかかわるメンバーを今年度は「通年募集（随時募集）」として機会をひらきつつ、昨年度の出店者による活動も継続し、月に1～2回程度「さえき洋品●（てん）」を「ただの店」として地域に開放し、それぞれの企画を実施した。

開催日	プログラム名	内容	参加者（人）
5/27*	ただの店 2期 参加希望者向け説明会①	—	—
6/7	ただの店 2期 参加希望者向け説明会②	—	1
5/31, 6/28, 7/20, 8/17, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 2/15, 3/15	むすぶ店	洋服に関する困りごとの相談にのる「チェルシー洋品店」と、使わなくなった思い出の品を交換する「ものごと交換店」を実施。	52
4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 8/24, 9/27, 10/26, 11/3, 22, 1/1, 24, 2/22, 3/22	ただならぬみせ	谷保天満宮のうそ替え神事に着想を得た、国立に関わる人々の「見てみたいその話」の“彩”現を試みるアートプロジェクトを実施。	53
4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 8/10, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14, 1/11, 2/8, 3/8	ただのアトリエ	作り方や上手い・下手にとらわれず、大人も子供も自由に作って楽しむ造形あそび場。	122

※5/27参加者が想定まで集まらなかったため中止

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信／東京アートポイント計画

(3) 谷保駅南口緑地プログラム「GREEN GREETINGS」

「さえき洋品●(てん)」至近にある、市民による利用頻度の少ない「谷保駅南口緑地」を新たな交流拠点として整備し、活動を生み出していくプログラム。今年度は地域のコミュニティガーデナーと協働し、コミュニティガーデニングの手法で市民とともに継続的に公園の使い方を考えるプログラムを開催した。また、みどりを通じた「コミュニティ」や「ケア」などをテーマに、学びと実践を深めるための「勉強会」を公開で実施。外部ゲストを招いたトークと実際の作業を掛け合わせた時間とした。

開催日	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
4/19,5/17*,6/14,7/12,8/23,9/20*,12/28,1/17,3/21	GREEN GREETINGS	長阪雅子(コミュニティガーデナー)	80
11/15	GREEN GREETINGS勉強会#1「自分でつくる、まちの交縁」	河合菜保氏(シモキタ園藝部)	
2/21	GREEN GREETINGS勉強会#2「みどりとケア-ムジナの庭での実践を聞く-」	鞍田愛希子氏(ムジナの庭)	

※5/17・9/20は雨天のため中止

3. ネットワーク形成事業「Kunitachi Art Center 2025」の開催

国立市内および近辺に点在するアトリエ・ギャラリー・店舗を会場に、展示とまちを横断するプログラム。市内全域をフィールドに様々なプログラムを展開し、参加者が展示を巡り、回遊することでまちの再発見や新しい視点を得るきっかけを生み出すことを目的に実施した。

開催日	会場	プログラム名	ゲスト・参加作家	参加者数(人)
6/10,15	さえき洋品●(てん)	CAST ボランティア参加希望者説明会	—	3
7/19	さえき洋品●(てん)	CAST 参加決定後説明会	—	4
6/14,7/19,8/23,9/20	museum shop T	みんなのラーニングゼミ	田尾圭一郎(田尾企画編集室)、福嶋幸平(Gallery Yukihiro)	12
8/19,20	国立市立国立第三小学校	版画と本でお店をつくろう	田中彰(版画家)	27
10/4~19	国立市内のアトリエ・ギャラリー・店舗(全13スペース)	Kunitachi Art Center 2025	—	10,475
10/11	さくらホール	トーク「子供がまねる/まなぶ! アートの体験から考える"I'm Learning."」	田尾圭一郎(田尾企画編集室)、田中彰(参加アーティスト)、仁平茜(国立市立国立第三小学校 教員)、細田直哉(国立市幼児教育センター所長)	17
10/13	旧国立駅舎	トーク「いつもの暮らしを読み替える! アートの実装から考える"I'm Learning."」	田尾圭一郎(田尾企画編集室)、小川栄生/山口みいな(6okken)	25
10/11,12,18,19,	国立市内のアトリエ・ギャラリー・店舗	Kunitachi Art Center 2025 ツアー	小田川悠(ZEIT-FOTO kunitachi) ※10/11のみ	18
10/18	旧国立駅舎	みんなのラーニングゼミ発表会「ぼくとわたしと、あなたの"I'm Learning."」	田尾圭一郎(田尾企画編集室)、「みんなのラーニングゼミ」ゼミ生4名	10
10/11	国立駅南口駅前広場	作品ガイド「夕暮れの駅前アート鑑賞会」	福嶋幸平(Gallery Yukihiro)	5
10/18	国立駅南口駅前広場	KAC2025「ドローイングワークショップ-君の線はどんな形? からだで描く60分-」	山口みいな(6okken)	7

4. 多摩地域の広域連携に向けたリサーチ、及び公表メディアの検討

これまで国立市で取り組んできた取り組みを、多摩地域の他地域へ波及させる方向を探るべく、多摩地域の実践者などのリサーチを検討した。また、引き続き、国立市内外のアートプロジェクトの現場や、文化芸術に従事する方などへのリサーチ取材を並行して実施し、ACKTの知見を深める機会とした。フリーペーパー「〇ZINE」や公式ウェブサイトにて報告した。

5. 広報宣伝・発信

(1) 公式ウェブサイト <https://www.ackt.jp/>

ACKTの取り組みを広く発信するため、公式ウェブサイトにて適宜情報発信を行った。

- ・ニュース記事投稿数: 6件
- ・イベント記事投稿数: 9件
- ・レポート記事投稿数: 7件

(2) SNS

日々の取り組みや、リサーチ取材の報告、イベントの告知・報告などを伝えるため、「Instagram」「X（旧Twitter）」を中心に投稿し、「Facebook」による発信も行い、異なるターゲットにアプローチした。

○Instagram <https://www.instagram.com/ackt186>

投稿数：37本

フォロワー：344人（前年から推移なし）

リーチ数：2,937人

○X（旧Twitter） <https://x.com/ackt186>

投稿数：79本

フォロワー：156人（前年+2人）

○Facebook <https://www.facebook.com/ackt186>

投稿数：20本

フォロワー：114人（前年+8人）

リーチ数：2,978人

(3) ○ZINE（エンジン）

ACKTの概要や遊○地等の活動報告、リサーチ等のアウトプットの間として、フリーペーパー「○ZINE」を刊行している。今年度はVol.04を発行した。

Vol.04

発行日：令和8（2026）年3月

発行部数：1300部

37 多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	多摩エリアほか
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アートフル・アクション
参加者数	239人

【事業趣旨（目的）】

多摩地域の文化的、歴史的特性を踏まえ、その「地勢」を探ることを通して、一人ひとりが自らの暮らしを新たな視点で見つめ直すプロジェクト。ケアや教育などに関する様々なプログラムを地域で展開し、今日的な社会課題に向き合うためのコミュニティやネットワークの基盤づくりを目指している。

【実施状況】

1. 小学校でのアーティストの滞在

学校における教える側・教えられる側の関係性に、教師や生徒、保護者以外の立場の人間が滞在することで、子供たちの学校での日常に新たな気づきが生まれることを目指したアーティストの滞在事業。昭島市立光華小学校にアーティストの弓指寛治が長期滞在し、5年生とともに授業、給食、休み時間を過ごし、市内の遺構をリサーチし、子供たちと作品制作を行った。

開催日	会場	アーティスト名	参加者数（人）
4/7～12/2	昭島市立光華小学校	弓指寛治	70

2. ケアをバンクで考える／ケアをバンクに考える

講師や事務局がプログラムを設定するのではなく、参加者がプログラムを検討し、運営する場をつくることを目的に実施。参加者自身の関心や問題意識、ちょっとした喜びや違和感を持ち寄り、ケアについてコミュニケーションを重ね、それぞれの活動を立ち上げることを試みた。関心がある場所や事柄を訪ねて歩くこと、その経験によって育まれたことを、参加者同士が語ることを通して深めていった。

開催日	会場	内容	ゲスト	参加者数（人）
9/7	環境楽習館	自己紹介	花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、田中真実（認定NPO法人STスポット横浜副理事長・事務局長）	126
9/28		石牟礼道子「樺の海の記」を読む		
10/18	Art Center NEW	展示を見て手を動かす		
11/3	府中刑務所	刑務所アート展を見て話す		
11/23	エノアールカフェ	エノアールカフェを訪ねる		
11/29	環境楽習館	立ち止まって考える		
12/13	早稲田大学	イトータリーさんと出会う		
12/20	シャトー2F	造形と対話の時間		
1/10	見沼福祉農園	畑仕事をして話をする		
2/11	環境楽習館	これまでとこれから		

3. Re:Satoyama ― 昔の暮らしに学ぶ、明日のデザイン

奥多摩に蓄積されてきた生活文化の記憶を掘り起こし、現代における人々の暮らしの再設計へと繋げることを目的として実施。奥多摩町に長年暮らし、山仕事や炭焼き、農作業などに従事する人々へインタビューをしたオリジナルの映像と竹縄づくりの記録映像作品を上映した。その後、参加者同士の対話の時間を設け、言葉を交わすことで、語りがそれぞれの生活と接続され、再解釈される場が生まれた。

開催日	会場	内容	参加者数（人）
3/7	kori-mogu	上映会『竹縄のさと』『Re:Satoyama』、おはなし会	43

4. 広報宣伝・発信

(1) ウェブサイト

事業の概要を広く告知するため、公式ウェブサイトを改定・更新した。

<https://cleavingartmeeting.com/>

(2) メディア発行

○『つくることを考えてみよう 応答すること』

アーティストの弓指寛治が、昭島市立光華小学校4年2組、進級して5年2組に、生徒として滞在した記録。学校で過ごしたアーティストが見たこと、感じたこと、自身について尋ねてみたことを中心に取りまとめ、これからの子供たちが生きる社会や教育について論考を掲載した。冊子は多摩地域の小学校を中心に配布した。

・発行日：令和8（2026）年3月31日

・発行部数：1,000部

38

カロクリサイクル

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	江東区ほか
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人NOOK
協 力	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）
参加者数	3,718人（アーカイブ映像再生回数：1,751回）

【事業趣旨（目的）】

被災を経験した土地に蓄積されてきた記録物「禍祿」や、防災やレジリエンスに関わる知識や表現の技術「立ち上がりの技術」、課題等を広く共有し、活用することで、災間期とともに生き、次なる災禍に備え、災後も活用できるネットワークの形成を目指す。

予期せぬ災害後の生活で起きる様々な問題、とりわけ、思わぬ形での喪失との向き合いかたといった「災後」の暮らしに関する知見は、しばしば個人的な問題として片付けられ、他者に共有されにくいものとなる。そうした目に見えづらい個人の営みを記録し、多様なメディアを用いて表現し、様々な人々と共有することを狙いとする。

【実施状況】

1. リサーチと情報発信

(1) カロク探訪記

複数人で東京都内の様々な施設・団体を訪れ、ヒアリングや資料調査を通じて、レポート記事やエッセイを作成した。

記事はnoteにてマガジンとして掲載中：https://note.com/nook_tohoku/m/m61c715674b6f

記事ビュー数：16,380ビュー（431のスキを獲得）※2026年3月31日現在

公開日	リサーチ先	note記事
12/19	神奈川県立図書館	戦争と図書 [神奈川県立図書館「戦後80年 戦時文庫と戦時下の図書館活動」]
12/19	日本新聞博物館	報道から戦後80年を捉える [ニュースパーク（日本新聞博物館）]
3/31	昭和館	昭和の暮らしから辿る戦後80年、資料が語るもの、展示が語らないこと [昭和館]
3/31	戦傷病者資料館	兵士として生きた人々の姿を想像する [しょうけい館（戦傷病者資料館）]

(2) テレビノーク

月1回程度、カロクリサイクルの運営メンバーがリサーチや活動の内容、そこから気づいたことを話す番組を配信。活動にかかわるゲストを招き、その経験や考えをもとに語らう。放送はすべてYouTubeのNOOKチャンネルで行われた。※再生数は2026年3月31日現在

放送日	プログラム名	ゲスト	動画再生数（回）
5/25	#32 続・狛江で沖縄を伝える	高山正樹（狛江の小さな沖縄資料館）	306
6/15	#33 マーシャル諸島滞在記	一谷智子（文学研究者）	551
10/20	#34 地域で記憶をつなぐ	渡辺賢二（登戸研究所資料館 展示専門委員）	485
2/24	#35 記憶を残すアーキビストのしごと	清水ふさ子（アーキビスト、小峰研究所理事）	198
3/22	#36 どんな1年だった？	磯崎未菜、瀬尾夏美、関優花、中村大地（NOOK）	211

2. ネットワーク形成

(1) ワークショップ「記録から表現をつくる 2025」

残された記録を見る、あるいは記録をすることから新たな表現をつくるワークショップ。記録の実践者に話を聞いたり、過去の表現を見つめ、話し合うプロセスを経て、参加者自身が関心のあるテーマを設定し、記録から生まれる表現を探った。

実施日	会場	プログラム	内容	ゲスト	参加費(円)	参加者数(人)
7/19	Studio 04	第1回	顔合わせ、聞き書きワークショップを実施。ゲストのパフォーマンスを鑑賞後、石田波郷の俳句集、小野和子『忘れられない日本人』の資料を用いて作品制作に取り組んだ。	小屋竜平（ファシリテーター）、関優花（美術作家）、honninman（ミュージシャン）	一般 10,000 学生 5,000	15
7/26	都立第五福竜丸展示館	第2回	学芸員によるワークショップを体験後、館内で感じたこと、考えたことをもとに参加者が作品を制作し、発表した。	小屋竜平（ファシリテーター）、市田真理、蓮沼佑助（第五福竜丸展示館 学芸員）		
8/2,3	Studio 04	自由相談日	中間相談日。第3回に向けて、発表内容について話し合った。	小屋竜平（ファシリテーター）		
9/6		作業搬入日	第3回に向けて、それぞれの発表の準備を行った。	—		
9/7		第3回	成果発表日。これまでのリサーチの経過を展示や映像、レクチャーなど様々な方法で表現した。	小屋竜平（ファシリテーター）		

（2）記録から表現をつくる成果展『ひきつけて、みる』

過去4年間のワークショップ「記録から表現をつくる」に参加した有志11名による展覧会。震災、戦争、家族、街など多岐に渡るテーマをもとに、それぞれが記録や作品を制作し、展示した。会期中には複数の関連イベントも開催した。

開催日	会場	プログラム名	展示参加者・ゲスト	参加者数(人)
4/22～5/6	Studio 04	記録から表現をつくる成果展『ひきつけて、みる』	阿部修一郎、大木諒也、亀川ふみか、鬼神丸信濃、櫻井絵里、柴田成、関口太樹、濱井恵海、日野比奈子、藤本遥香、舟之川聖子	183
4/26		ギャラリートーク①	大木諒也、亀川ふみか、鬼神丸信濃、濱井恵海、舟之川聖子	18
4/27		トークイベント①「はなして、みる」珠洲に3日間行ったこと、みんなとおしゃべり	話す人：亀川ふみか、関口太樹、濱井恵海、日野比奈子、藤本遥香	6
4/27		トークイベント②「珠洲の風景をながめて」	話す人：中島大河、藤本遥香、阿部修一郎、瀬尾夏美	11
5/3		ギャラリートーク②	阿部修一郎、櫻井絵里、柴田成、関口太樹、日野比奈子、藤本遥香	33

（3）記録から表現をつくる成果展『むすんでひらいて—ここの記録を巡って』

過去4年間のワークショップ「記録から表現をつくる」に参加した有志8名による展覧会。震災、戦争、家族、街など多岐に渡るテーマをもとに、それぞれが記録や作品を制作し、展示した。

開催日	会場	プログラム名	展示参加者・ゲスト	参加者数(人)
2/26～3/15	Studio 04	記録から表現をつくる成果展『むすんでひらいて』	鬼神丸信濃、茶久間ふく、柴田成、柴沼千晴、田中有利、谷村梨実、中島隆誠、宮岡このか	216
2/28		ギャラリートーク	鬼神丸信濃、柴沼千晴、谷村梨実、中島隆誠	15
3/6		過去の災害の写真をウィキメディア・コモンズにアーカイブしてみよう	講師：柴田成	2
3/8		「見ることと記述すること」ワークショップ	進行：柴沼千晴 協力：涌田悠（短歌を詠むダンサー、振付家）	8
3/14		ギャラリートーク	茶久間ふく、柴田成、田中有利、宮岡このか	25
3/15		ふり茶フリーライブ	市原一七子、茶久間ふく	7

（4）カロク・リーディング・クラブ

過去の災害の記録や、それに関わる表現（映画、絵画、戯曲、手記、小説など）をみんなで囲み、それぞれが考えた・感じたことをあれこれ話してみる対話の場。第3回は『詩集 いのちの芽』を題材に語り合う場をひらいた。

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
11/3	Studio 04	カロク・リーディング・クラブ 第4回 『どこかの遠い友に—船城稔美詩集』を読む	木村哲也（国立ハンセン病資料館 学芸員）、永井玲衣（哲学者、作家）	26

（5）展覧会「歴史の蟹・戦後80年を歩く」

戦後80年の節目に、東北、沖縄、広島、台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、マーシャル諸島など、これまでに訪れた地域で聞いた戦争にまつわる語りや風景、残された記録をもとに、「戦争」と「戦後」を多角的に見つめ直すことを目的として開催した。

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信／東京アートポイント計画

開催日	会場	プログラム名	展示参加者・ゲスト	参加者数(人)
11/23～ 2/14	Studio 04	展覧会「歴史の蟹・戦後80年を歩く」	大瀧芽衣、王藝珍、大木諒也、瀬尾夏美、中村大地、磯崎未菜、関優花、小屋竜平	645
11/30		ギャラリーツアー①	—	22
12/19		カルク・リーディング・クラブ「戦争の詩を読む」	登壇者：大木諒也、大瀧芽衣、王藝珍 聞き手：永井玲衣（哲学者）	27
12/27		講演と対話の場「戦争トラウマについて考える」	ゲスト：黒井秋夫（PTSDの日本兵家族会、寄り添う市民の会代表） 司会：大木諒也	20
1/10		ギャラリーツアー②	—	32
1/11		トークセッション「残される記憶、残されていない記憶」	ゲスト：根本雅也（一橋大学大学院社会学研究科・専任講師） 聞き手：大瀧芽衣	18
1/31		トークセッション「平和教育×台湾の記憶：歴史をどう語り継ぐか」	ゲスト：黃昱翔（東京都内平和関連施設職員） 聞き手：王藝珍	22

（6）島しょかん通信

マーシャル諸島在住の三輪久美子氏、佐渡島在住の宮田恵氏による往復書簡をnoteで月1回程度、全10回で更新した。遠く離れた場所に住む同世代の2名が、それぞれの島で生活を送りながら気づいたことを記録し交換し合う往復書簡となった。

実施日	プログラム名	実施者	回数
6/21～3/30	島しょかん通信	三輪久美子、宮田恵	全10回

3. 交流拠点形成事業「Studio 04」

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の協力のもと、大島四丁目団地内のコミュニティ交流拠点として「Studio 04」を定期的に関室し、ワークショップや展覧会、配信事業などを行った。

実施月	開室日数	来室者数（人）
4月	7	86
5月	5	130
6月	11	138
7月	11	155
8月	14	148
9月	12	173
10月	14	137
11月	16	112
12月	16	228
1月	16	307
2月	12	243
3月	11	510

4. 広報・宣伝活動

※数値は2026年3月31日現在

（1）公式ウェブサイト及びSNSでの発信

○公式ウェブサイト

<http://nook.or.jp/karoku/wp/>

○X（旧Twitter） https://twitter.com/nook_tohoku

フォロワー 1,039人（前年度より+176人）

○Facebook <https://www.facebook.com/nook.or.jp>

フォロワー 460人（前年度より+34人）

○Instagram <https://www.instagram.com/nook2015/>

フォロワー 984人（前年度より+567人）

(2) 外部メディア掲載

○「語られないコロナ 無力化された個人 ステイホームの「呪い」は今も」(朝日新聞、2025年4月5日公開)
<https://www.city.koto.lg.jp/011502/kuse/koho/katsudo/catv/wide-square.html>

○Tokyo Art Beat【東京】歴史の蟹・戦後80年を歩く
<https://www.tokyoartbeat.com/events/-/Crab-of-History-Walking-through-80-Years-After-the-War/studio-04/2025-11-23>

39

KINO ミーティング

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	都内各所
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人パンタナル
参加者数	418人

【事業趣旨（目的）】

“海外に（も）ルーツをもつ人たち”を対象にして、映像制作のワークショップを展開するアートプロジェクト。自身とは異なるルーツをもつ人たちとグループを組み、互いの視点を交換し、協働しながら映像作品の制作に取り組む。その過程で生まれる新たな映像表現、新たなコミュニケーション、新たな協働関係のあり方を発見すること、そしてその手法を確立して発信することを目標としている。

【実施状況】

令和4（2022）年度から始動したKINO ミーティングは、海外に（も）ルーツをもつ人々が協働できるワークショップの設計や開発を行ってきた。令和7（2025）年度は、前年度に制作した映画作品およびメイキングムービーを軸に、これまでの活動で蓄積してきた手法や知見の検証と共有を目的とした事業を実施した。

1. 研究会

創作の現場における多文化共生の可能性や、協働から生まれるコミュニケーションのあり方について考察するため、2組のゲストを招いての研究会を行った。

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	入場者数(人)
8/2	アーツカウンシル東京	アートと多文化共生の研究会 Day1	んまつーボス	57
8/3	アーツカウンシル東京	アートと多文化共生の研究会 Day2	西尾美也	
8/11	アーツカウンシル東京	アートと多文化共生の研究会 Day3	—	

2. 外部上映会

昨年度制作した映画『オフライン・アワーズ』およびメイキング作品『オフライン・アワーズ Behind the Scene』を広く共有し、多文化共生や協働について考える機会を創出することを目的として、教育機関等を対象に上映会開催パートナーの募集を行い、4つの大学で上映会を実施した。

開催日	会場	入場者数（人）
10/22,29	東京藝術大学	31
11/7	武蔵野大学	66
11/13	東京都立大学	79
11/18	玉川大学	9

3. ドキュメンタリー制作と映画祭

昨年度の映画制作に参加したメンバーを対象に、ワークショップへの参加経験が個人にどのような影響を与えたかを検証することを目的としてインタビューを収録し、メイキングムービーと組み合わせた上映イベントを企画した。

時期	内容
4月～5月	ドキュメンタリー方針決め、日程調整
6月～7月	撮影
8月～9月	音声収録
10月～12月	素材整理、編集
1月～2月	追加撮影、編集、整音
3月1日	映画祭上映

これまでの取り組みを広く共有し、多文化的な背景をもつ人々の語りや協働から生まれる表現について考える機会の創出を目的として映画祭KINO Meeting presents: Multicultural Film Festival「語る、交差する、そして映画が生まれる。」を開催。招待作品として『人間ピラミッド』（監督：ジャン・ルーシュ）、『夏休みの記録』（監督：川

田淳)を上映し、制作者や専門家を招いたトークセッションも実施した。

日程	プログラム名	上映作品	ゲスト	人数(人)
2/28	Program A	「シネマポートレイト」 「ニュー・トーキョー・ツアー」	大橋香奈(東京経済大学コミュニケーション学部准教授)	45
	Program B	「シネマポートレイト」 「夏休みの記録」	川田淳(映像作家、『夏休みの記録』監督)	34
3/1	Program C	「シネマポートレイト」 「人間ピラミッド」	管啓次郎(詩人、明治大学理工学部教授)	45
	Program D	「シネマポートレイト」 「オフライン・アワーズ」	高谷幸(社会学者、大学教員) 川上幸之介(キュレーター、大学教員)	52

4. 広報宣伝・発信

公式ウェブサイト、SNSを中心にプログラムの最新情報や活動レポート記事を掲載し、発信した。

○公式ウェブサイト

<https://www.kino-meeting.com>

投稿数：REPORT(5件)、NEWS(4件)

○Facebook ページ

<https://www.facebook.com/KINOmeeting/>

投稿件数：13件

ページフォロワー数：177人(前年+41人)

○YouTube

<https://www.youtube.com/@kino5617>

投稿本数：1本

チャンネル登録者数：53人(前年+7人)

40

めとてラボ

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	都内各所
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人ooo
参加者数	299人

【事業趣旨（目的）】

視覚言語（日本の手話）で話そう者・難聴者・CODA（ろう者の親を持つ聴者）が主体となり、異なる身体性や感覚世界を持つ人々とともに、自らの感覚や言語を起点にしてコミュニケーションを創発する場をつくるプロジェクト。手話を通じて育まれてきた文化を見つめ直し、それらをめぐる視点や言葉をたどりながら、多様な背景を持つ人々が、それぞれの文化の異なりを認め合ったうえでどのようにコミュニケーションを交わしていくのか、そのあり方を研究・開発している。

【実施状況】

1. めとてラボの活動発信拠点「5005開放日」

「DeafSpace/ デフスペース」の考え方をもとに空間設計した、手話と視覚言語を起点としたワーキングスペース「5005（ゴーマルマルゴー）」を活用した発信とネットワーク構築のプロジェクト。異なる身体性をもつ人々どうしの思いがけない創発を生み出すために、5005を誰でも訪れられる場所としてひらき、めとてラボの活動を伝えるために映像を流したり、月によってはミニ企画を行った。

開催日	実施内容	参加者数（人）
5/30	ミニ企画「頭の中にあるイメージを伝え合ってみよう！」	22
6/22	ミニ企画「手話でビブリオバトルをしてみよう！」	8
7/4	ミニ企画「イマジナリーワークショップ ～頭の中にあるイメージを伝え合ってみよう！～」	12
8/24	ミニ企画「会話をのぞく・ひらく」	16
9/28	開室	3
10/22	イマジナリープロジェクトのメンバーが在室	4
11/21	アーカイブプロジェクトのメンバーが在室	2
12/20	デフスペースリサーチプロジェクトのメンバーが在室	3
1/17	つながろプロジェクトのメンバーが在室	4
3/7	開室	2
3/29	開室	8

2. アーカイブプロジェクト

「手話から生まれる自然な生活文化の保存」をテーマに、手話やろう者の生活文化の新たなアーカイブ手法とその活用について、リサーチやディスカッションを重ね実施しているプログラム。ろう者の家庭で撮影された「ホームビデオ」を鑑賞し、気づいたことや想像したことなどを言葉にし、共有する「ホームビデオ鑑賞会」を実施している。令和7(2025)年度は、ろう文化のアーカイブについて知見を深め、ホームビデオ鑑賞会を運営する人材を育成するべく、ゼミ生を募集し、公開型を含む勉強会を開催した。また足立区の会場での鑑賞会を行った。

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数（人）
6/21	仲町の家	ホームビデオ鑑賞会@仲町の家	—	15
9/28	5005	（ゼミ生のみ）キックオフ会	—	4
10/18	5005	場づくりについて学ぼう	松本篤（remoメンバー、AHA!世話人）	7
11/22	高架下空き倉庫（高円寺）	ホームビデオ鑑賞会@高架下空き倉庫	藤田恵一（元杉並区聴覚障害者協会会長）	40
12/20	5005	肖像権やデジタルアーカイブについて知ろう	馬淵愛（むさし府中アルキヴィオ代表）	6
1/17	5005	（ゼミ生のみ）ホームビデオ鑑賞会@リハーサル	—	—（5005開放日にて計算）
2/7	5005	ホームビデオ鑑賞会@5005	—	11

3. DeafSpace リサーチ

手話という言葉からなる身体感覚をもとに、ろう者が心地よく過ごせるよう設計された空間である「デフスペースデザイン」という概念をもとに、自らの身体感覚を耕すための「ホーム」形成に向けたデザインをリサーチするプログラム。令和7（2025）年度は、デフスペースについての理解を深めつつ、ろう者の感覚やろう文化を「可視化し伝える」ための方法を探るためのワークショップを行った。また、国内リサーチを追加で行い、これまでのリサーチを含めてその成果を冊子としてまとめ、発行した。

開催日	会場	内容	ゲスト	参加者数（人）
7/27	5005	デフスペースのある暮らしをコラージュしよう	和田令子（「みんなで楽しめる家」家主）	6
10/18	—	リサーチ 気配を感じる家	—	—

4. イマジナリー

「め」と「て」で伝えあうなかで生まれた手話、視覚言語の可能性を探求するプログラム。令和7（2025）年度は、頭の中の想像を、手や身体、顔を通した表現としてうけとり合い、視覚言語の豊かさをともに体験する実験展示「イマジナリー！」を開催したほか、手話独自の視覚的な文法である「CL表現」に着目し、新たな発想や表現を探るスタディシリーズを展開した。

開催日	会場	プログラム名	内容	ゲスト	参加者数（人）
1/30～2/3	5005	体験型展示「イマジナリー！」	視覚言語の中にある豊かさの中でともに遊ぶ、体験型・実験展示。会期中にはワークショップも実施した。	—	107
2/22	5005	めとてスタディシリーズ：森田明さんとCL表現を実践してみよう！	少人数でのグループワークを通じて表現の幅を広げながら、参加者一人ひとりのCL表現を深めていく勉強会	森田明	19

5. つなぐラボ

感覚の異なる他者との出会い方や伝え合いの工夫について考えていくラボラトリー。手話での会話を客観視するための実験を一般公開の形で実施したイベント「会話をのぞく・ひらく」を実施したほか、「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」のプログラム「キタ！千住の1010人」に企画協力として参加した。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者数（人）
8/24	5005	会話をのぞく・ひらく	参加者2～3人のグループの手話の会話を動画で撮影したのち、改めて参加者で動画を見返し、気になったところで止めて質問や感想を言い合った。	—（5005開放日にて計算）
10/12	足立区立千住スポーツ公園	コラボ企画：千住の1010人の家（「キタ！千住の1010人」）	「キタ！千住の1010人」に準備段階から参加し、リハーサルを重ねながら視覚的に楽しむことができる仕掛けを検討。上演する曲の一部に視覚的な振り付けを提案した。本番では、内容を視覚的に伝えるボードを作成したほか、メンバーが台の上に立ち、からだや手話を使った表現に挑戦した。	—（音まち千住の縁にて計算）

6. 広報宣伝・発信

(1) ウェブサイト <https://metotelab.com/>

(2) レポート記事等発信

事業で得た知見やプログラム情報を、ソーシャルメディア「note」上で発信した。

○note <https://note.com/metotelab>

投稿数：32件

フォロワー数：197人

PV数：11,504

(3) SNSでの発信

○Instagram <https://www.instagram.com/metote.lab>

フォロワー数：897人

○X（旧Twitter）<https://x.com/metotelab>

フォロワー数：136人

7. 発行物

○DeafSpace ろう者の身体感覚から考える空間

ろう者の感覚、視覚・触覚・嗅覚や独自の行動様式、そして、ろう文化などを生かすデザインである「DeafSpace Design」について、より多くの人に知ってもらい、また、ろう者が家を建てる際の参考資料としても活用してもらうため、「DeafSpace リサーチ」の取り組みのなかで得た知見等を分かりやすくまとめ、冊子を制作した。

発行日：令和8（2026）年3月25日

発行部数：600部

○めとてラボパンフレット

各プログラムの活動や広がり伝えつつ、めとてラボというプロジェクトとして見せるため、折りパンフレットを制作した。表面には、めとてラボが活動の上で大事にしている理念を記載し、裏面を各プログラムの紹介とした。シンプルで手渡ししやすい形となっている。

発行日：令和8（2026）年3月25日

発行部数：800部

41

アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「キタ！千住の1010人」

【事業概要】

事業期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	足立区各所
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
協 力	足立区立千寿小学校、足立区立第一中学校、梅田クラブ（足立区社会福祉協議会サロン）、梅田児童館、ギャラクシティ指定管理者みらい創造堂、狂言まいまい倶楽部、竹の塚劇団、三菱地所プロパティマネジメント株式会社
協 賛	朝日新聞イワキ
助 成	一般財団法人YS市庭コミュニティー財団
参加者数	8,448人

【事業趣旨（目的）】

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」は、足立区千住地域で、アートを通じた地域文化の形成と創造発信に取り組むアートプロジェクト。その一環として、気軽にだじゃれを言い合い、地域の人々と音楽を生み出していく「野村誠 千住だじゃれ音楽祭」において、国内外から音楽家や公募演奏者が集まり、一日限りのパフォーマンスを披露する参加型コンサート「キタ！千住の1010人」を実施した。区内の市民団体等、多様な協働により、1010人で演奏する音楽をつくりあげることを目指した。

【実施状況】

1. 関連企画およびワークショップ

演奏者募集や事業および本番の周知のため、区内の商業施設やイベント等で小規模パフォーマンスや楽器作りのワークショップを実施した。

日程	会場	プログラム名	来場者数(人)
5/25	JR北千住駅 南改札外（北千住駅 仲町出口）	千住だじゃれ音楽祭「キタ！千住の1010人」連携企画 ギャラクシティストリートピアノ	100
5/25	東京芸術センター前広場	千住・人情芸術祭「1DAYパフォーマンス表現街」	200
6/7,8	しょうぶ沼公園	しょうぶまつり	2,162
8/20	梅田地域学習センター レクホール	梅田クラブ納涼特別サロン	100
8/24	ポンテポルタ千住1階 中央エスカレーター横／プロロゴ広場	ポンテポルタ千住サマーキッズラボ	314
8/29	東京電機大学 東京千住キャンパス	あだち大学フェス2025 野村誠 千住だじゃれ音楽祭「キタ！千住の1010人」PRブース	106
9/17	足立区立千寿小学校 体育館	足立区立千寿小学校 全校朝会（音楽集会）PRパフォーマンス	800
1/12	ギャラクシティ 西新井文化ホール	歓喜の演 vol.24 狂言	299
3/28,29	都立舎人公園	舎人公園 千本桜まつり パフォーマンス	920

2. 参加団体とのワークショップおよびリハーサル

本番に関わる市民団体との創作や小中学校でのワークショップ、公募演奏者と各パートに分かれての本番に向けたリハーサル等を実施した。

日程	会場	プログラム名	内容	来場者数(人)
6/13,30,8/25	足立区立第一中学校	足立区立第一中学校 吹奏楽部 ワークショップ	中学生との即興演奏ワークショップや楽曲練習	71
6/14,7/29,8/28	足立区立千寿小学校	足立区立千寿小学校 ジュニアバンド ワークショップ	小学生との即興演奏ワークショップや楽曲練習	104
9/7,14,15,27,28,10/5,11	東京藝術大学 千住キャンパス	「キタ！千住の1010人」リハーサル	公募演奏者との交流や楽曲練習	571
9/11,26	足立区立第一中学校	足立区立第一中学校 アート部 ワークショップ	本番で使用する装飾品の制作	29
9/26,10/8,9	ギャラクシティ レクホール3、東京藝術大学 千住キャンパス	竹の塚劇団・狂言まいまい倶楽部 リハーサル	本番に出演する団体とのリハーサル	57

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信／東京アートポイント計画

日程	会場	プログラム名	内容	来場者数(人)
9/28	東京藝術大学 千住キャンパス	「キタ！千住の1010人」弓楽器ワークショップ	本番で使用するオリジナル楽器の演奏練習	26
9/29, 10/9	足立区立千寿小学校	足立区立千寿小学校 ジュニアバンド・足立区立第一中学校 吹奏楽部 ワークショップ	小中学生との楽曲練習等	87
2/1	東京藝術大学 千住キャンパス	「キタ！千住の1010人」参加者とのワークショップ	「キタ！千住の1010人」参加者に限定した交流と即興演奏ワークショップ	25

3. 本番

本番の演奏では、当日参加の枠も設け、事前申込者と当日演奏者、ゲストを合わせて約1,100人が演奏に加わり、国内外の作曲家によるユニークな楽曲を演奏。その場でしか生まれないパフォーマンスを行った。

日程	会場	プログラム名	内容	出演者	来場者数(人)
10/12	千住スポーツ公園	「キタ！千住の1010人」	参加型屋外コンサート	野村誠（作曲家）、アナン・ナルコン（タイ民族楽器奏者、民族音楽学者）、ウン・チョー・グウワン（テルミン奏者、作曲家、サウンドアーティスト）、メメット・チャイルル・スラムット（作曲家、フルート・オカリナ・スリン奏者）、佐久間新（ジャワ舞踊家）、菊地奏絵（フルート奏者、アーティスト）、北澤華蓮（ヴァイオリニスト）、栗原幹治（打楽器奏者）、野木青依（マリンバ奏者）、水野翔子（コントラバス、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者）、だじゃれ音楽研究会（市民音楽団体）、公募演奏者	1,900

4. だじゃれ音楽研究会の活動

活動の中核を担う市民有志の音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が定期的に集まり、リハーサルに向けた各パート練習のファシリテーションやイベントでの活動紹介など、1年を通して継続した活動を行った。

日程	会場	プログラム名	来場者数(人)
4/17, 21, 5/11, 24, 25, 6/7, 8, 15, 30, 7/15, 29, 8/19, 20, 24, 25, 28, 9/6, 7, 14, 15, 27, 28, 29, 10/5, 9, 11, 12, 11/24, 28, 12/19, 1/11, 12, 24, 2/1, 3/1, 28, 29	東京藝術大学千住キャンパスほか	だじゃれ音楽研究会活動日	577

5. 広報宣伝・発信

(1) ウェブサイト

事業の概要を広く告知するため、公式ウェブサイトを作成し、更新した。

<https://aaasenju.wixsite.com/dajaremusic>

(2) 「キタ！千住の1010人」記録映像

<https://www.youtube.com/watch?v=pyxRezbsXrQ>

(3) 外部メディア掲載

○ CINRA 断絶が深まる社会をつなぐ希望、それが「だじゃれ音楽」。

野村誠×中村佳穂が語る『キタ！千住の1010人』

https://www.cinra.net/article/202509-KITA-1010_imgwykcl

○ J-WAVE 「ACROSS THE SKY 『ARTS COUNCIL TOKYO CULTURE COLLAGE』」

千住だじゃれ音楽祭「キタ！千住の1010人」ゲスト：野村誠（2025年9月21日ラジオ放送）

<https://www.j-wave.co.jp/original/acrossthesky/culture/250921.html>

○ 千寿小学校 校長室ブログ（10月12日）

<https://8612adsenju.blog.jp/archives/10169646.html>

42

Artpoint Meeting

【事業概要】

事業期間	令和8（2026）年1月18日（日）
開催場所	YKK60ビル
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
後援	墨田区 [Artpoint Meeting #17]
協力	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会 [Artpoint Meeting #17]
運営協力	一般社団法人 藝と [Artpoint Meeting #17]
参加者数	52人

【事業趣旨（目的）】

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するプログラム。アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐ場をつくることを目指す。令和7（2025）年度は、地域の多様な人々や異なる分野をつなぎ、新たな出会いやコミュニティの交流を生み出すアートプロジェクトに必要な“つなぎ手”のはたらきの意義や可能性、地域の活動がよりよく育まれるためのかわりかたについて、トークセッションを開催した。

【実施状況】

開催日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者（人）
1/18	YKK60ビル AZ1ホール	Artpoint Meeting #17 × 隅田川 森羅万象 墨に夢 「コミュニティに伴走する、 “つなぎ手”のはたらき」	地域内外のさまざまな関係性を編み直す“つなぎ手”のはたらきの意義や可能性、地域の活動がよりよく育まれるためのかわりかたについて、具体的な実践を共有しながら議論した。	荻原康子（「隅田川 森羅万象 墨に夢」統括ディレクター）、森司（東京アートポイント計画 ディレクター）、野村政之（信州アーツカウンシル ゼネラルコーディネーター）、立石沙織（アーツカウンシルしずおか プログラムコーディネーター）、若菜ひとみ（アーツカウンシルしずおか アシスタントコーディネーター）	52

43

Tokyo Art Research Lab (TARL)

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	都内各所、オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
制作	特定非営利活動法人STスポット横浜 [地域の“つながり”づくりをスタディする]
協力	社会福祉法人大田区社会福祉協議会、池上徳持南たすけあいプラットフォーム [地域の“つながり”づくりをスタディする]
企画運営	P3 art and environment [新たな航路を切り開く]
企画制作	スタジオメガネ [多摩ニュータウンをスタディする]
参加者数	138人（動画再生回数：542回）

【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応した新たなアートプロジェクトの構想、スキルの提供や開発を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

【実施状況】

1. 新たな航路を切り開く

2011年以降に生まれたアートプロジェクトと、それらを取りまく社会状況を振り返りながら、これからの時代に応答するアートプロジェクトのかたちを考えるプログラム。人と環境の相互作用に焦点をあてながら、社会状況に応答するアートプロジェクトをつぶさに見続けてきた芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）をナビゲーターに迎えて実施した。

（1）年表

アートプロジェクトの担い手が、活動を組み立てる際の思考に資するために、社会的な動きやアートプロジェクトの動向を編集できるツールとしての年表をつくるプログラム。

令和6（2024）年度に実施した「年表を作る 2011年以降のアートプロジェクトを振り返る」の成果を引き継ぎ、ベータ版として公開した年表にさらに2010年以前の社会的な出来事、都立文化施設の変遷とアーツカウンシル東京によるアートプロジェクトの展開を示す項目を追加。また、オリジナルの年表を生成する機能を追加し、ブラッシュアップした。

ウェブサイト：<https://tarl.jp/timeline/>

（2）演習 | 自分のアートプロジェクトをつくる

アートプロジェクトの立ち上げやディレクションに関心のある方を対象に、ゼミナール形式の演習を行った。参加者は、ナビゲーターやゲストとのディスカッション、参加者同士でのワークを通して深めながら、新たなプロジェクトを生み出すための企画を構想し、発表した。

開催日	会場	プログラム名	ナビゲーター・ゲスト等	参加費（円）	参加者数（人）
10/5	アーツカウンシル東京	第1回 イントロダクションと自己紹介	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）	32,000	13
10/18		第2回 グループワークとディスカッション	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）、森司（アーツカウンシル東京）		
11/8		第3回 プレゼンテーションとディスカッション	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）、武田知也（舞台芸術プロデューサー、一般社団法人ベンチ 代表理事）		
11/15		第4回 プレゼンテーションとディスカッション	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）、小沢剛（美術家、東京藝術大学教授）		
12/6		第5回 中間発表	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）		
12/20		第6回 プレゼンテーションとディスカッション	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）、野田智子（アートマネージャー、Twelve Inc. 取締役）		
1/17		第7回 ディスカッション	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）		
1/31,2/1		第8回 最終発表	芹沢高志（P3 art and environment）、嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、和田真文（編集者）、森司（アーツカウンシル東京）		

（3）パートナーシップで公共を立ち上げる

地域課題への新しいアプローチを検討している自治体職員、自治体文化団体職員などを対象に、行政と民間の多様な主体がパートナーシップを組み、文化事業に取り組むことの可能性とその方法を学ぶ連続講座を開催した。

開催日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者（人）
7/31,8/1	アーツカウンシル東京	パートナーシップで公共を立ち上げる 2025	文化を通じた領域横断的な取り組みを行うことで、地域の課題に対して様々なアプローチを仕掛けている秋田と沖縄、東京の事例を通して、行政と民間の多様な主体がパートナーシップを組み、文化事業に取り組むことの可能性とその方法について学び、これらの手法がこれからの「公共」を立ち上げるために果たす意義について、ディスカッションを行った。	芹沢高志（P3 art and environment）、齋藤一洋（秋田市企画財政部 部長）、三富章恵（NPO法人アーツセンターあきた 事務局長）、上地里佳（沖縄アーツカウンシル）、林立騎（那覇市市民文化局文化振興課 主幹、那覇文化芸術劇場なはーと 企画制作グループ統括）、佐藤李青（アーツカウンシル東京）	29

2. 新たな航路を切り開く 特別企画 これからの航路に向けて

令和4（2022）年からスタートしたシリーズ「新たな航路を切り開く」で制作したアートプロジェクト年表の制作プロセスや機能を紹介しながら、TARL全体を振り返るトークイベントを開催。社会とアートプロジェクトの連関や変遷、広がりをもとに、これからのアートプロジェクトについてゲストとともに議論し、その様子はYouTubeでオンライン配信を行ったほか、後日アーカイブとして映像を公開した。

開催日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者（人）
2/24	アーツカウンシル東京	これからの航路に向けて	「新たな航路を切り開く」シリーズ全体をあらためて概観するとともに、tarl.jpのアートプロジェクト年表の制作プロセスや機能を紹介し、その可能性について議論した。また、各プログラムを進めるなかで見えてきた、社会とアートプロジェクトの連関や変遷、広がりをもとに、これからの時代のアートプロジェクトと、それらを支える学びの場についてディスカッションした。	芹沢高志（P3 art and environment）、萩原俊矢（ウェブディレクター）、森司（アーツカウンシル東京）、佐藤李青（アーツカウンシル東京）、小山冴子（アーツカウンシル東京）、櫻井駿介（アーツカウンシル東京）	23（オンライン配信視聴542）

3. 地域の“つながり”づくりをスタディする

アートを介した人々のかかわりや地域での交流を生み出すアートプロジェクトに取り組んできた東京アートポイント計画の手法を様々な分野へ応用するため、大田区社会福祉協議会と連携し、地域住民を中心とした“つながり”づくりの手法としてのアートの可能性を模索した。地域の状況や課題意識を共有し、リサーチや関係者へのヒアリングを通じて企画を検討、試行的なプログラムを実施した。

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信／東京アートポイント計画

開催期間日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者数(人)
3/15	徳持会館	徳持会館で劇あそび！	約1年間のディスカッションを踏まえ、試行的なプログラムとして、建て替えのため閉館する町会会館「徳持会館」を会場とした演劇ワークショップを開催した。前半では、参加者同士でグループになり、身体を動かすワークを行い、後半では、会館にあるものから五行詩をつくり、グループごとに五行詩に合わせた動きを制作、順番に披露した。	大道朋奈（俳優、ワークショップファシリテーター）	19

4. 多摩ニュータウンをスタディする

入居開始から50年以上が経ち、まちも人々の暮らしも少しずつ変化してきた多摩ニュータウンの記憶と営みをつなぎながら、文化的な視点からまちを読み直し、人々の新たな交流を生み出す回路をつくるためのリサーチやディスカッションなど（＝スタディ）を行った。また、その成果として「多摩ニュータウンガイドマップ」を制作した。

https://tarl.jp/archive/tama_guidemap/

5. ジムジム会

東京都内各地でアートプロジェクトを実施する「東京アートポイント計画」に参加する6つのプロジェクト事務局とともに、プロジェクト運営に必要なテーマを学び合うネットワーク型勉強会「ジムジム会（事務局による事務局のためのジムのよう勉強会）」を実施した。令和7（2025）年度は、東京アートポイント計画事業の共催団体や卒業団体が集い、それぞれが取り組んでいる事業の背景、現場での工夫や課題、今後に向けた展望などを共有する場をひらいた。各団体の活動が育んできた知見やノウハウを共有し、団体同士の学びと次年度以降の活動へのヒントとすることを目指した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
9/10	LIGHT UP LOBBY	第1回 福祉施設とアートとの接点から考える「共生」	NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ、府中市、株式会社チャーム・ケア・コーポレーション	25
10/18	アーツカウンシル東京	第2回 アートプロジェクトのひと区切り——共催事業6団体 事業報告会	太下義之（文化政策研究者）、小山田徹（アーティスト、京都市立芸術大学 学長）、西村佳哲（プランニング・ディレクター、リビングワールド代表）、荻原康子（「隅田川 森羅万象 隅に夢」統括ディレクター）	29

6. 東京アートポイント計画 2009→2026

事業再編に伴い令和8（2026）年3月31日に事業を終了する東京アートポイント計画およびTokyo Art Research Labについて、事業変遷を振り返る資料やオーラルヒストリーをまとめながら活動を綴じ、継承を試みるプログラムを実施した。東京アートポイント計画のこれまでの実績をまとめたほか、過去に発行したドキュメントに掲載の座談会2本をレポートとしてTARL ウェブサイトに転載。東京アートポイント計画ディレクターの森司に立ち上げから現在を振り返るインタビューを行い、掲載した。

<https://tarl.jp/projects/2026ap/>

7. 広報宣伝・発信

○メディアレターの届け方2025→2026「Words Binder 2025」

各プロジェクトで制作した報告書やドキュメントブックは、それぞれ異なる目的をもつ成果物で、多種多様な形態である。それらをまとめ、その届け方をデザインするプロジェクト。令和7（2025）年度は、東京アートポイント計画を担当してきた「事業調整課」が所管する事業「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」で制作したドキュメントブックやツールもあわせての送付とし、大容量でもコンパクトに送付できるよう、デザイナーの川村格夫とともに届け方をデザインし、外部関係者へ送付した。

44

東京都・区市町村連携事業

【事業概要】

実施期間	令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
実施場所	府中市、国分寺市、港区
主 催	東京都、府中市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京〔東京都・府中市芸術文化連携事業〕 東京都、国分寺市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京〔東京都・国分寺市芸術文化連携事業〕 東京都、港区、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場、アーツカウンシル東京）〔東京都・港区芸術文化連携事業〕
企画協力	特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ〔東京都・府中市芸術文化連携事業〕 プロジェクト・ユングラ〔東京都・国分寺市芸術文化連携事業〕
制作協力	株式会社ウィンス・インターナショナル〔東京都・港区芸術文化連携事業〕
参加者数	906人

【事業趣旨（目的）】

東京都内の区市町村と連携し、地域のニーズや自治体の政策課題に応じた文化事業を立案。NPOや文化財団等様々な文化の担い手と連携し、まちなかや文化施設等で文化事業を行うことで、より多くの人が地域のなかで芸術文化に触れる機会をつくる。

【実施状況】

都内の区市町村の文化を担当する部署の職員から、各自治体の課題や事業への参加の希望についてアンケートをとり、要望のある自治体へのヒアリングを行った。それぞれの自治体の抱える政策課題を聞き、課題に応じた事業の対象や手法を絞りこみ、区市町村の職員と専門性をもったパートナーが協働し事業実施に取り組んだ。

1. 東京都・府中市芸術文化連携事業「共生社会にふれて、みる」

府中市の地域共生社会実現に向けて取り組む文化事業として、彫刻家・久村卓が主宰する「織物BAR」を実施。誰でも気軽に参加できる織物ワークショップを通して、周りを見たり、話をしたり、様々なコミュニケーションが誘発される参加者同士の交流の場をつくった。

実施日	会場	プログラム名	アーティスト名	入場者数(人)
9/4, 6, 10/12, 24, 25	LIGHT UP LOBBY GALLERY, けやき並木通り	織物BAR in FUCHU	久村卓（美術家・彫刻家）	365

2. 東京都・国分寺市芸術文化連携事業「国分寺の〇〇探し」

(1) まちあるきワークショップ

国分寺市の魅力あるコンテンツの創出を目指して取り組む文化事業として、市内のスタジオ「ユングラ」で活動しているアーティストとまちを歩きながら「からだ」「みみ」の視点から新しい魅力を発見するワークショップを実施。参加者それぞれの感性で新たなまちの見方を発見することにつながった。

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	入場者数(人)
10/11, 11/15	国分寺市役所周辺	からだで発見！まちを歩いて、おどってみよう！	神村恵（振付家・ダンサー）、木村玲奈（振付家・ダンサー）	15
		みみで発見！まちを歩いて、おとを聞いてみよう！	土屋光（舞台音響家）、松本真結子（作曲家）	11

(2) 成果展示

ワークショップ内で制作した映像や収集した音、講師の振り返りコメントや記録映像を再構成して、市内の公共施設のオープンスペースで成果展示を行った。

開催日	会場	プログラム名	内容
2/20～2/27	cocobunji プラザ ホワイエ・まちの魅力発信コーナー	東京都・国分寺市芸術文化連携事業「国分寺の〇〇探し」成果展	ワークショップを通して制作した映像や記録素材をもとにした成果展

Ⅲ. 芸術文化の魅力創出・発信／東京アートポイント計画

3. 東京都・港区芸術文化連携事業「MINATOまちなかコンサート×GOA+」

港区が実施しているMINATOまちなかコンサートにおいて、東京芸術劇場の若手音楽家育成事業「芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（GOA）」の出身者を対象としたアーティスト・バンク制度「GOA+」の演奏者を派遣し、音楽プログラムを実施した。

開催日	会場	プログラム名	出演者・アーティスト名	入場者数(人)
2/25	東京都立青山特別支援学校 体育館	青山特別支援学校スペシャル・コンサート	木管五重奏シュエット	143
3/8	港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザミニホール	あいぶらスペシャル・コンサート	セラス サクソフォン・カルテット	62
3/14	ウォータース竹芝プラザ（芝生広場）	まちなかコンサート at 竹芝みなとフェスタ「春薫る しおかぜコンサート」	L'ami Saxophone Quartet（サクソフォン四重奏）、Blueberry Brass Quintet（金管五重奏）	310

45

芸術文化領域に関する調査分析

【事業概要】

実施期間 令和7（2025）年4月～令和8（2026）年3月
主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

国内外の文化に関するトレンドや都内文化シーン、また政策課題等に関する各種調査テーマを通じて調査分析に取り組むことで、都や財団の施策や方針づくりに役立てる。

【実施状況】

令和7（2025）年度は、都政課題の解決や施策検討に資する調査、芸術文化を取り巻く状況を把握する基礎データ収集調査という2つの方向性のもと、テーマを設けて調査を実施した。調査成果物の一部は財団ウェブサイトで公開し、広く閲覧可能にしたほか、財団職員向けの勉強会を実施して、調査成果の報告や得られた知見の共有を行った。

1. 調査

調査名	実施時期	内容
「東京文化戦略2030」の進捗確認に係る意識調査	8月～2月	「東京文化戦略2030」の進捗確認を目的とした、芸術文化団体等を対象とした芸術文化の鑑賞及び活動等に関する現状を把握する調査。
「TOKYOカルチャーデビュー」子供向け事業の成果検証および事例調査	9月～3月	子供を対象に実施される芸術文化体験事業の成果検証や実証調査、国内外の先進・先駆的事例の調査。
近現代住宅建築を対象とした文化振興に資する活用方策検討調査	4月～3月	都内所在の近現代に建てられた住宅建築の把握に向けた基礎情報収集及びそれらを文化的活用によって保存・継承する事業検討のための調査。
多摩地域の文化資源の活用に向けた調査	6月～3月	令和6（2024）年度実施の「多摩地域の文化資源に関する事前調査」の後続として、多摩地域の文化資源を活用した自治体の広域連携のニーズ、活動場所の可能性、担い手情報等を収集する調査。
芸術文化領域における環境配慮に関する調査	6月～1月	国内外の先進的な環境配慮の取組みや、当財団の現状を把握する調査。結果をもとに「東京都歴史文化財団グリーンブック～環境配慮の手引～」を策定、財団ウェブサイトで公開。
都立文化施設顧客満足度調査及び外国人来館者調査	4月～3月	財団が管理・運営する文化施設において、来館者の層や満足度、認知度等を把握するアンケート調査、および外国人来館者の割合や情報源等を収集する調査。
都内文化資源の状況等に関する定量調査	9月～1月	都内の芸術文化資源に関わる定量的なデータを継続的に収集・把握する調査。令和7（2025）年度はデスクリサーチによるリストアップを中心に実施。
韓国の文化政策調査	8月～12月	文化事業を取り巻く現状や課題、先駆的取組み事例や課題解決策の収集を通じ、海外都市の文化政策の動向把握を行う調査。令和7（2025）年度は韓国・ソウル市を対象に有識者や団体等にヒアリング・視察を実施。また、京畿文化財団開催のフォーラムに登壇・発表した。

2. 勉強会

開催日	会場	参加者数（人）	内容
12/22	アーツカウンシル東京会議室	31（財団各組織職員）	韓国の文化政策調査成果報告

46

アーツカウンシル・フォーラム 「芸術文化とクライメートアクション ～実践から見える未来～」 Climate Action with Arts & Culture: Pathways and Possibilities

【事業概要】

実施日時	令和8（2026）年1月30日17:30～20:30
実施場所	アーツカウンシル東京 会議室
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加料	無料（事前申込制）
参加者数	92人
言語	日本語および英語（同時通訳）

【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

【実施状況】

芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるアーツカウンシル・フォーラム。様々な分野の有識者と、国際都市としての芸術文化施策の在り方をめぐる議論の場の創出を目指して実施している。

令和7（2025）年度は、深刻化する気候危機を背景に、芸術文化機関が社会的使命としてどのように持続可能な社会の形成に寄与し得るのかを考察した。

国際的な気候変動の現在地を踏まえ、各国で制度整備が進む文化セクターの取り組みと現場の実践を交えながら、芸術文化分野が担うべき「クライメートアクション」（気候変動への対策）について多角的に議論を行った。

【プレゼンター】（順不同・敬称略、肩書は開催時のもの）

●フェイマッタ・コンテ（アーツカウンシル・イングランド環境責任シニア・マネジャー）

アーツカウンシル・イングランドにおいて、クリエイティブおよび文化分野の団体・実践者が環境責任を組織運営に組み込むための支援に取り組んでいる。2020年から2023年までは、Factory International の環境サステナビリティ・マネジャーを務め、全チームと連携しながら環境サステナビリティを実践に統合するための助言と推進を行った。サステナビリティ、テクノロジー開発、デジタル文化、アートの分野において15年以上の経験を持つ。これまで Phoenix Dance Theatre、Artsadmin、Invisible Dust の理事を務め、またマンチェスター広域圏の文化・クリエイティブコミュニティが気候・生態危機に取り組む支援を行うネットワーク「GMAST」のファシリテーターとしても活動してきた。

●江守 正多（東京大学 未来ビジョン研究センター 教授）

1997年に東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程にて博士号（学術）を取得後、国立環境研究所に勤務。同研究所 気候変動リスク評価研究室長、地球システム領域 副領域長等を経て、2022年より現職。東京大学大学院 総合文化研究科で学生指導も行う。専門は気候科学。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は『正しい』か？」、共著書に「地球温暖化はどれくらい『怖い』か？」、監修に「最近、地球が暑くてクマってます。」等。

●片岡 真実（森美術館 館長）

2003年より森美術館、2020年より現職。2023年4月より国立アトリサーチセンター長、2025年4月より京都芸術大学ICA京都所長を兼務。

ヘイワード・ギャラリー（ロンドン）インターナショナル・キュレーター（2007～2009年）、第9回光州ビエンナーレ共同芸術監督（2012年）、第21回シドニー・ビエンナーレ芸術監督（2018年）、国際芸術祭「あいち2022」芸術監督（2022年）。CIMAM（国際美術館会議）では2014～2022年に理事（2020～2022年に会長）を歴任。

●メリタ・ファン（マスタリー・マネジメント・コンサルティング株式会社コンサルタント）

マスタリー・マネジメント・コンサルティング株式会社コンサルタント、国立台北芸術大学大学院 芸術行政管理学科（EMAA）助教授、国家戯劇院・国家音楽庁（台湾）サステナビリティ・アドバイザー、台湾アート・サステナビリティ・アライアンス理事を務める。国立台北芸術大学主催「国際アートとサステナビリティ・フォーラム」では共同キュレーター兼サステナビリティ・アドバイザーを務めた。国立台北芸術大学院 芸術行政管理学科 修士課程修了。20年以上にわたり大規模な芸術文化イベントの企画・運営に携わる。現在は、アート分野における持続可能性の促進、温室効果ガス排出量のインベントリ作成、ISO 20121（持続可能なイベントマネジメント）への対応、ならびにサステナビリティレポーティングのコンサルティングに注力している。

【モデレーター】

●堀内 奈穂子（NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]）

エジンバラ・カレッジ・オブ・アート現代美術論修士課程修了。2008年より、AITにてレジデンス・プログラムや展覧会、シンポジウム、企業プログラム、教育プログラムに係わるプログラムの企画に携わる。2016年より、子どもや若者、多様な人々が集い、アートや表現を通じた学びのプロジェクト「dearMe」を開始。アートとケアをつなぐ講座やワークショップ、シンポジウムのほか、近年はAITのグリーンチームの一人として気候危機と芸術に関する勉強会なども企画する。

47

区市町村等職員向け文化行政講座

【事業概要】

実施日	①令和7（2025）年6月23日（月）、②12月4日（木）、③令和8（2026）年2月6日（金）
実施場所	①新宿NSビル NSスカイカンファレンス ルーム3+4、②アーツカウンシル東京会議室、③住友不動産新宿グランドタワー ペルサール新宿グランド Room A+B
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	209人（会場参加・オンライン参加含む）

【事業趣旨（目的）】

文化行政の基礎知識や東京都歴史文化財団が持つノウハウ等を区市町村等職員と共有することで、地域における課題解決に繋げることを目的とする。また、都や区市町村が展開する地域での文化事業を通じて、住民が芸術文化に気軽に触れることができる環境を整える。

【実施状況】

開催日	会場	プログラム名	講師・登壇者	内容	参加者数 (人)
6/23	新宿NSビル NSスカイカン ファレンス ルーム3+4	第1回（基礎編）	鬼木和浩（横浜市にぎわいスポーツ文化局文化芸術創造都市推進部文化振興課長（主任調査員））	講座テーマ「物語で体験する！自治体文化行政」 自治体の文化行政に必要な知識やノウハウをテーマに、自治体文化行政の意義や目的、人々へもたらす価値についての講義や意見交換を実施した。	101
12/4	アーツカウンシル東京会議室	第2回（実践編）	講師：中田一会（〈こここ〉編集長） 聞き手：佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）	講座テーマ「“個”と“個”が交わる場—文化と福祉の新しいつながり」 文化行政に携わる職員が福祉と文化の協働可能性への理解を深め、地域に根差した実践につなげることを目的として、共生社会をテーマとした多様な実践例を紹介した。	46
2/6	住友不動産新宿グランドタワー ペルサール新宿グランド Room A+B	第3回（実践編）	講師：源由理子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授） 聞き手：佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）	講座テーマ「芸術文化事業の評価とは何か」 様々な文化事業で実践可能な評価方法について、基礎から説き起こし、初歩的な疑問に答える内容とした。講座内では実際にロジックモデルを作成するワークショップも実施した。	62

※参加者数は、会場参加・オンライン参加含む
※第1回・第3回は同日に東京都区市町村ネットワーク会議を開催

48

広報・プロモーション

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開するアーツカウンシル東京の取組や役割を発信することにより、機構の認知・理解の促進、プレゼンスの向上を図る。主催・共催事業については、プレスリリース配信などメディアに向けた情報発信、ウェブサイトやSNSなどのオウンドメディアを活用した情報発信にて個々の実施団体が中心となっていく広報の助力となる活動を行う。

【実施状況】

1. 戦略的広報の企画・実施

東京都歴史文化財団の取組、アーツカウンシル東京の取組や役割、実施事業に関する理解の促進、芸術文化への興味関心を広く一般へ喚起するため、広報課題を整理し、委託PR会社とともに様々な広報施策を実施した。

(1) ラジオ番組提供

4月1日～3月31日の1年間、J-WAVE「ACROSS THE SKY」内10分間コーナー「ARTS COUNCIL TOKYO CULTURE COLLAGE」（毎週日曜日10：40～10：50放送）にて、アーツカウンシル東京の事業や東京都歴史文化財団各館の事業を紹介（全52回放送）。radiko（1週間視聴）やPodcast（Apple Podcasts、Spotify、Google Podcasts、Amazon Music）でのアーカイブ視聴も可能にし、毎週約20万人（推計）の聴取数を維持した。

放送日	紹介事業名	出演者	所属等
4/6	戦後西ドイツのグラフィックデザイン モダニズム再発見	西美弥子	東京都庭園美術館 学芸員
4/13	東京文化会館 リラックス・パフォーマンス ～世代、障害をこえて楽しめるコンサート～	三ツ橋敬子	指揮者
4/20	TACT FESTIVAL 2025	YASSY	トロンボーン奏者
4/27	特別展「江戸東京博物館コレクション～江戸東京の暮らしと食べ物～」、こどもの日イベント	眞下祥幸	江戸東京たてもの園 学芸員
5/4	総合開館30周年記念 鷹野隆大 カスババーこの日常を生きてのびるためにー	鷹野隆大 遠藤みゆき	写真家 東京都写真美術館 学芸員
5/11	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025	ロバート キャンベル	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025アンバサダー 日本文学研究者
5/18	総合開館30周年記念 TOP コレクション 不易流行	石田哲朗、山崎香穂	東京都写真美術館 学芸員
5/25	岡崎乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here	藪前知子	東京都現代美術館 学芸員
6/1	サウンドウォーク・コレクティブ & バティ・スミス コレスポンデンス	権祥海	東京都現代美術館 学芸員
6/8	東京都江戸東京博物館スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博 大正ロマン浅草編」	沓沢博行	東京都江戸東京博物館 学芸員
6/15	都美セレクション グループ展 2025	瀧良介	東京都美術館 学芸員
6/22	ネクスト・クリエイション・プログラム 映画と夏の7日間	是枝裕和	映画監督
6/29	建物公開2025 時を紡ぐ館	斉藤音夢	東京都庭園美術館 学芸員
7/6	東京都庭園美術館×江戸東京たてもの園 共催シンポジウム「歴史的建造物をまもる・つなぐ・いかすー3D Digital Archive Project」	福井久美子	アーツカウンシル東京 企画部企画課企画係
7/13	アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.4 「未知なる世界と出会うー英国アール・ブリュット作家の現在（いま）」	小野佳奈	東京都渋谷公園通りギャラリー 学芸員
7/20	舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」 芸劇オータムセレクション ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』	名和晃平	彫刻家
7/27	総合開館30周年記念 ルイジ・ギッリ 終わらない風景	山田裕理	東京都写真美術館 学芸員
8/3	つくるよろこび 生きるためのDIY	藤岡勇人	東京都美術館 学芸員
8/10	サマーナイトミュージアム2025	飯塚珠実	アーツカウンシル東京 企画部企画課連携係
8/17	ネクスト・クリエイション・プログラム チームアップ! オペラ「泣いた赤おに」、東京文化会館オペラBOX「泣いた赤おに」	宮里直樹	テノール歌手
8/24	TOKAS Project Vol. 8 「絡まりのプロトコル」	大島彩子	トーキョーアーツアンドスペース 学芸員
8/31	総合開館30周年記念 TOP コレクション トランスフィジカル	遠藤みゆき	東京都写真美術館 学芸員
9/7	笹本晃 ラボラトリー	笹本晃	アーティスト
9/14	TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム『TRAIN TRAIN TRAIN』	栗栖良依	アートプロデューサー
9/21	千住だじゃれ音楽祭「キタ！千住の1010人」	野村誠	千住だじゃれ音楽祭ディレクター、作曲家

IV. 事業運営の基盤強化

放送日	紹介事業名	出演者	所属等
9/28	開館30周年記念展 日常のコレオ	原田美緒	東京都現代美術館 学芸員
10/5	Music Program TOKYO シアター・デビュー・プログラム『彼女のアリア』	生田みゆき	演出家
10/12	2025年度 全国共同制作オペラ 東京芸術劇場シアターオペラ vol.19 ドニゼッティ／歌劇『愛の妙薬』	杉原邦生	演出家、舞台美術家、KUNIO主宰
10/19	TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム ろう者と聴者が遭遇する舞台作品「黙るな 動け 呼吸しろ」	島地保武	ダンサー・振付家
10/26	野平一郎プロデュース フェスティバル・ランタンボレル Festival de l'Intemporel ～時代を超える音楽～	野平一郎	東京文化会館 音楽監督、作曲家、ピアニスト
11/2	START Box	尾形凌	アーティスト
11/9	武蔵野の歴史と民俗～「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち～、夜間特別開園 紅葉とたてもののライトアップ	丸山はるか	江戸東京たてもの園 学芸員
11/16	Shibuya StreetDance Week 2025	UNO	Shibuya StreetDance Week 2025 アンバサダー、ダンサー
11/23	総合開館30周年記念 ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ	田坂博子	東京都写真美術館 学芸員
11/30	アール・ブリュット2025巡回展 既知との遭遇 自伝的プリコラージュの世界へようこそ！	河原功也	東京都渋谷公園通りギャラリー 学芸員
12/7	シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]「リニューアル オープニングイベント SIDE CORE 特別展『新道路』」	松下徹、西広太志	2022年度CCBTアーティスト・フェロー、アーティスト・コレクティブ SIDE CORE
12/14	歌劇『ブラームス マゲローネのロマンス by ティーク』	岩田達宗	演出家
12/21	第23回東京音楽コンクール 優勝者コンサート	三界達義	第23回東京音楽コンクール 木管部門 第1位、クラリネット奏者
12/28	永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル ―― ハイジュエリーが語るアール・デコ	方波見瑠璃子	東京都庭園美術館 学芸員
1/4	東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」	峰岸優香	東京都美術館 学芸員
1/11	Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 受賞記念展「湿地」	石川達紘	東京都現代美術館 学芸員
1/18	ソル・ルウィット オープン・ストラクチャー	楠本愛	東京都現代美術館 学芸員
1/25	シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]「アート・インキュベーション・プログラム 2025年度CCBTアーティスト・フェロー 成果発表」	上田麻希	2025年度CCBTアーティスト・フェロー、嗅覚アーティスト
2/1	恵比寿映像祭2026 あなたの音に Polyphonic Voices Bathed in Sunlight―日花聲音―	邱于瑄、田坂博子	東京都写真美術館 学芸員
2/8	ボンクリ・フェス2026	藤倉大	ボンクリ・フェス アーティストリック・ディレクター、作曲家
2/15	東京都美術館開館100周年記念 スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき	中江花菜	東京都美術館 学芸員
2/22	ふれあうやきもの	秋間敬代	東京都渋谷公園通りギャラリー 学芸員
3/1	ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 8「地について」	岩垂なつき	トーキョーアーツアンドスペース 学芸員
3/8	ミッション∞インフィニティ 宇宙+量子+芸術	森山朋絵	東京都現代美術館 学芸員
3/15	たてもの園フェスティバル	生田真菜	江戸東京たてもの園 学芸員
3/22	東京文化会館 リラックス・パフォーマンス～世代、障害をこえて楽しめるコンサート～	園田隆一郎	指揮者
3/29	W. ユージン・スミスとニューヨーク ロフトの時代	室井萌々	東京都写真美術館 学芸員

※所属は収録時点

(2) 広報研修の実施

広報スキル・マインドの向上を図るため、広報担当者向けに、危機管理広報およびインバウンド広報についての研修を2種計2回行い広報担当者のスキルアップを図った。

実施日	研修名	講師	実施方法	参加数 (人)
12/1	危機管理広報研修	株式会社電通PRコンサルティング・小野真世	対面・オンライン	35
1/16	インバウンド広報研修	株式会社ナビタイムジャパン・藤澤政志	対面・オンライン・アーカイブ	59

(3) メディアアプローチ

「オールウェルカムTOKYOキャンペーン」及び「令和8（2026）年度都立文化施設の展覧会・公演ラインアップ記者説明会」において、メディアリスト作成、取材案内作成・配信等を実施したほか、「ネクスト・クリエイション・プログラム」「鑑賞サポートツール拡大」「オールウェルカムTOKYOキャンペーン」「ネクスト・クリエイション・プログラム こどもファッションプロジェクト」「Welcome（ウェルカム） Youth（ユース）2026」「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」等にてメディアプロモートを行った。

概要	件数 (件)	事業
メディアリスト作成	2	・「オールウェルカムTOKYO記者懇談会・交流会」 ・「令和8（2026）年度都立文化施設の展覧会・公演ラインアップ記者説明会」
ニュースリリース作成 ・配信	6	・「ネクスト・クリエイション・プログラム」(6/13) ・「サマーナイトミュージアム2025」(7/31) ・「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」第一弾（10/23） ・「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」第二弾（2/25） ・「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」(3/18) ・「アート・ま・わる」(3/31)
ニュースリリース添削	2	・「サマーナイトミュージアム2025」(7/31) ・「ネクスト・クリエイション・プログラム ファンタジスタ〜アートとデザインで切り拓く未来のキャンパス〜」(10/28)
ニュースレター作成 ・配信	1	・「鑑賞サポートツール拡大」(6/30)
取材案内作成・配信	4	・「オールウェルカムTOKYO記者懇談会・交流会」(8/15) ・「オールウェルカムTOKYO取材誘致」(10/31) ・「こどもファッションプロジェクト取材誘致」(12/8) ・「令和8（2026）年度都立文化施設の展覧会・公演ラインアップ記者説明会」(1/22)
メディアプロモート	48	・「ネクスト・クリエイション・プログラム」 ・「鑑賞サポートツール拡大」 ・「オールウェルカムTOKYO取材誘致」 ・「ネクスト・クリエイション・プログラム こどもファッションプロジェクト取材誘致」 ・「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」第二弾 ・「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」
取材対応	11	・「ネクスト・クリエイション・プログラム」 ・「鑑賞サポートツール拡大」 ・「オールウェルカムTOKYO取材誘致」 ・「ネクスト・クリエイション・プログラム こどもファッションプロジェクト取材誘致」 ・「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」第二弾 ・「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」
記者懇談会 記者説明会	2	・「オールウェルカムTOKYO記者懇談会・交流会」 (会場：東京都美術館) (8/25) 23媒体25名 ・「令和8（2026）年度都立文化施設の展覧会・公演ラインアップ記者説明会」 (会場：東京都美術館) (2/2) 32媒体39名

(4) 戦略広報

戦略事業の広告出稿を実施した。ターゲットを意識してマスを対象とした場合は、ラジオスポットCMなど、ターゲット設定を行う場合は、タイアップ広告やSNS広告など、個別に対象を絞り、各事業の訴求を効果的に行った。

掲載メディア	掲載日	本数 (本)	制作種・広告配信詳細
アーツカウンシル東京 ラジオスポットCM	4/6~3/29	1	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
アートノト ラジオスポットCM	4/13~10/26	1	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
サマーナイトミュージアム2025 ラジオスポットCM	8/17~9/21	1	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
オールウェルカムTOKYO ラジオスポットCM	9/21~12/28	1	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」 ラジオスポットCM	11/2~3/29	3	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
シビック・クリエイティブ・ベース東京〔CCBT〕 ラジオスポットCM	12/7~3/22	2	J-WAVE「ACROSS THE SKY」内 30秒スポットCM
たてもの園ナビ (インバウンド向け)	3月発行	1	東京トラベルガイド10言語版（日/英/簡/繁/韓および仏/独/西/伊/泰は英語対応）へ広告
「Welcome（ウェルカム）Youth（ユース）2026」 動画広告	3/1~3/31	1	YouTube、X（旧Twitter）、Instagram広告
来館促進キャンペーン ラジオスポットCM	3/18~3/31	1	J-WAVE 20秒スポットCM98本送出
オールウェルカムTOKYO 動画広告	8/28~10/31	1	Meta（Facebook,Instagram）、X（旧Twitter）広告 15秒動画

2. オウンドメディアでの情報発信

オウンドメディアでの情報発信力を強化、認知拡大及びフォロワーの増加を目指した。

(1) アーツカウンシル東京の公式ウェブサイトの運営（日本語・英語対応）

令和7（2025）年度にリニューアルを実施。8月よりユーザビリティ、アクセシビリティを高めた仕様に更新し、迅速で正確な基本情報の発信に努めた。

IV. 事業運営の基盤強化

ページビュー数の減少は、リニューアル移行期によるアクセスの不安定さや、ユーザビリティを鑑み、ユーザーがアクセスしたページ内に情報を一元化表示させることでサイト内回遊を減らしたことも影響していると考えられる。

また、これまでブログ記事として制作していた主催事業や取組についての取材レポートやニュース記事などのコンテンツ制作を引き続き実施し、「シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]」の施設移転紹介、「START Box」の新施設「白鬚」開設紹介等のレポートを9本制作。今年度よりアートカウンシル東京の公式ウェブサイト掲載のほか、公益財団法人東京都歴史文化財団の公式ウェブサイト (<https://www.rekibun.or.jp>) にも掲載し、閲覧場所を増やしアートカウンシル東京の最新情報や活動成果等を魅力的に伝えることができた。

○公式ウェブサイト <https://www.artscouncil-tokyo.jp>

公式ウェブサイトの運営ほか（日・英対応）		前年比
ページビュー数	1,110,231	83%
ユーザー数	395,951	113%
セッション数	579,434	102%
プレスリリース発行数	108本	103%

（2）アートカウンシル東京アカウント SNS の発信

X（旧 Twitter）、Facebook は汎用的に活用し、主催・共催事業の情報紹介に加え、助成採択団体の事業紹介、募集誘導等の発信を行った。また、Instagram、LINE では、月ごとのイベント情報をまとめて告知するなど、メディアの特性を鑑みた投稿を実施。効果的に幅広い広報支援ができた。

SNS オウンドメディア	投稿数（本）	フォロワー数（人）
X（旧 Twitter）	718	14,154
Facebook	628	18,260
Instagram	61	5,433
LINE	39	441
YouTube（限定公開含む）	49	3,648

3. 広報物制作の発行

アートカウンシル東京の活動趣旨や実施事業全体を広く周知するため、事業案内を制作（6月に1,000部納品、2月に1,000部増刷）。令和7（2025）年度は、年度ごとの事業を紹介する冊子型から、組織紹介のみを掲載したリーフレット型に変更した。

広報物制作の発行	部数（部）
事業案内	2,000

発行 2026 年 9 月

編集 アーツカウンシル東京企画部企画課企画係

制作 株式会社丸井工文社

※掲載クレジットの名称、所属、肩書き等は 2025 年時点のものになります。

※無断転載禁止

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

〒102-0073

東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階・8階

TEL：03-6256-8430

E-MAIL：info@artscouncil-tokyo.jp

URL：www.artscouncil-tokyo.jp

